

334-92

井原儀著

最新日本地理資料

東京 大同館發兌

44.6.22
四三

凡例

- 一、本書は、中等程度の各種學校及び小學校に於ける日本地理の教授資料に供せんが爲めに、編纂したるものなり。
- 二、前述の目的に據りて、本書を編纂せりといへども、また他方には、研究の程度を異にする各種學校の日本地理参考書或は受験用書に適せしめたり。されば平易なる文章を以て、これを綴り、大小の活字を用ゐて、その研究程度を區別し、読み難き地名には、假名を附して、これを説明せり。要するに本書は、總べて假設の問題を解釋する組織となしたれば、往々、同一事實の再び他の項に記載せられたる所ありと知るべし。
- 三、本書記載の要旨を擧ぐれば、率ね次の如し。

(1) 讀者をして直に地理學上の重要事實を知了せしめんと欲し、文中に番號、圈點などを附し、また、屢、一覽表を示せり。

- (2) 讀者の學力或は研究上の方針如何に因りて記載事項の分量を折衷取捨し易からしめんが爲めに、文中、大小の活字を使用せり。
- (3) 本書は、紙數を減少して、成るべく多くの事實を記載したれば、自ら修飾の文字を省略せり。
- (4) 本書には、行政上、府縣に區分せらるゝ本州、四國、九州地方を日本本部とし、臺灣、十州、南樺太、朝鮮地方と區別したるは、行政及び統計上これと比較し難き場合多ければなり。
- (5) 本書には、一般に地方誌よりも、總論を詳説せりといへども、材料を得がたき朝鮮、南滿洲、臺灣、南樺太、十州地方は、比較的多くの事實を記載せり。
- (6) 實業は、國家富強の要素なれば、特にこれを詳説せり。
- (7) 本書中、西曆の紀元を用ゐたるは、外國の事情を研究するに就きて、便利多ければなり。神武紀元の元年は、基督紀元の紀元前六六〇年なりと知るべし。
- (8) 溫度は、計算上、便なるの故を以て、現今普く學界に採用せらるゝ攝氏 (Celsius) の寒暖計を以てこれを示せり。若しこれを華氏 (Fahrenheit) 寒暖計の溫度に改めんと欲すれば、次式に據りて計算すべし。

$$(\text{華氏の溫度數}) = (\text{攝氏の溫度數}) \times \frac{9}{5} + 32^{\circ}$$

- (9) 本書に記載せる統計上の數字は、官廳、會社等の刊行せる統計報告書に據れり。
- (10) 地理科は、他の諸學科と密接の關係を有するが故に、これ等と相聯絡せしめて、これを教授或は研究すれば、その興味を増進するのみならず、一念起れば他念従ひて生じ、念々相續して、零碎することなし。されば本書には、成るべく他の諸學科との聯絡を保たしめたり。

四、參考の爲めに、地理學上に用ゐらるゝ外國の度量衡と本邦の度量衡との略比較數量を次に掲載せり。

哩 (Mile).....一四町四五間七寸三九二七 (一七六〇碼)	耗 (Mikmetre).....三厘三毛
鎖 (Chain).....一一間三寸八四二五	碼 (Yard).....三尺一分七四五 (三呎)
哩 (Mile).....一六町九分七厘五毛	呎 (Foot).....一尺五厘八毛 (一二吋)
節 (Knot).....八間三尺 (一哩の二分の一)	吋 (Inch).....八分三厘八毛
尋 (Fathom).....六尺三分	度 (Degree).....平均二八里八町 (一一一杆)
米 (Metre).....三尺三寸	噐 (Acre).....四段二四步
杆 (Kilometre).....九町一〇間	方呎 (Square foot).....一方尺〇一一六八

凡 例

立方呎(Cubic feet)……一立方尺〇一七六
 方碼(Square yard)……九方尺一〇五一六
 立方米(Cubic metre)三五立方尺九二
 方杆(Square Kilometre)一〇〇町八段三畝一〇步
 方哩(Square mile)……一方里の約六分の一
 重……………
 二七〇貫九四六匁(二三四〇封度)
 二六九三斤四二六(二三四〇封度)
 二四二貫九一六匁(二〇〇〇封度)
 二五二斤
 噸(Ton) 輕……………
 普通……………四〇立方尺七〇二

擔(Bicor)……………一〇〇斤
 封度(Pound) 重……一二〇匁九五八〇四
 輕……九九匁五分(一六オンス)
 オンス(Ounce)……………八匁二分九四二七(輕)
 瓦米(Gram)……………二分六六六七
 基(Kilogram)……………二六六匁六七
 哥(Gross)……………一四四個

五、地理歴史を研究せんと欲するものは、既刊の拙著及び校閲書五十八種の中、資料となるべき帝國物產地誌、世界上古史、世界中古史、世界近世史などを参照すべし。

明治四十四年神武天皇祭日

井原儀識

最新日本地理資料 目次

第一編 地文誌……………

第一章 帝國の位置及び廣袤……………

- 一、帝國の位置
- 二、帝國の四極
- 三、帝國の境界
- 四、帝國四邊の海洋及び近隣諸國の名稱
- 五、日本といへる名稱の起源
- 六、日本の國號起源
- 七、帝國の形狀
- 八、帝國の三大變
- 九、帝國の廣袤
- 一〇、帝國の面積
- 一一、帝國と四隣諸國との面積の比較
- 一二、帝國と歐洲強國との面積の比較
- 一三、朝鮮の位置境界面積
- 一四、帝國に於ける六大島
- 一五、日本本部に於ける五中島
- 一六、日本本部に於ける二列島
- 一七、日本本部に於ける二群島
- 一八、朝鮮に於ける著名の島嶼
- 一九、列島と群島との區別
- 二〇、日英兩國の比較

第二章 帝國の海岸及び海流……………

目次

九

- 一、領海
- 二、海岸線、海岸、近海
- 三、海岸線と文明との關係
- 四、帝國の海岸線
- 五、帝國中海岸線の發達せる地域
- 六、本州の太平洋面と日本海面との比較
- 七、表日本と裏日本との比較
- 八、帝國の著名なる海灣
- 九、帝國に於ける著名なる半島
- 一〇、帝國に於ける著名の岬角
- 一一、帝國に於ける著名の海峡
- 一二、帝國に於ける著名なる海灘
- 一三、帝國の附近に於ける深 seabed
- 一四、帝國近海の水深
- 一五、海流と潮流との區別
- 一六、帝國の近海を流るゝ海流
- 一七、海流の影響
- 一八、海流と氣候との關係
- 一九、海流と水産物との關係
- 二〇、帝國の近海中霧深き所
- 二一、帝國に於て潮汐干満の差著るしき所
- 二二、帝國に於ける著るしき潮流

第三章 帝國の地勢及び山川

- 一、帝國の地勢
- 二、帝國に大河長流少き理由
- 三、帝國に大低原少き理由
- 四、帝國に急流多き理由
- 五、帝國の二大山系
- 六、樺太及び日本崑崙の兩山系
- 七、本州の中央高地
- 八、北

- 日本及び南日本
- 九、北日本と南日本との比較
- 一〇、日本内帶(裏日本)及び日本外帶(表日本)
- 一一、北日本及び南日本の重要山脈
- 一二、帝國に於ける重要山脈
- 一三、帝國の骨子を成す山脈
- 一四、帝國諸山脈の系統
- 一五、朝鮮の山脈
- 一六、帝國の三大火山脈
- 一七、帝國の主要なる火山脈
- 一八、帝國の火山脈の分布
- 一九、帝國の火山力
- 二〇、帝國の著名なる火山
- 二一、帝國の著るしき高山
- 二二、帝國の大低原
- 二三、帝國の大低原と生業との關係
- 二四、帝國の重要なる原野
- 二五、帝國の六大斜面と重要なる河川
- 二六、帝國の長流
- 二七、流程五十里以上の河川
- 二八、帝國の重要河川
- 二九、帝國の三急流
- 三〇、日本本部に於ける航路百里以上の河川
- 三一、同百里以下五十里以上の河川
- 三二、本州に於ける流域五百方里以上の河川
- 三三、五萬町歩以上の灌漑地を有する河川
- 三四、帝國に於ける著名なる運河
- 三五、帝國に於ける大湖の分布
- 三六、帝國に於ける周圍十里以上の湖沼
- 三七、帝國に於ける面積

五十方籽以上の湖沼 三八、帝國の著名なる高地湖 三九、帝國の著名なる淡水湖 四〇、帝國の著名なる鹹湖 四一、帝國の温泉 四二、帝國の間歇泉 四三、温泉及び間歇泉。

第四章 氣候と天産物

一、天氣及び氣候 二、氣候の差異を生ずる原因 三、大陸的氣候(内地的气候)及び海洋的氣候(島嶼的气候) 四、帝國の氣候 五、帝國各部の氣温 六、帝國の雨量 七、帝國の多雨地方 八、帝國の少雨地方 九、雨量と地勢との關係 一〇、帝國的天産物。

第二編 地方誌

第一部 日本本部

第一章 關東地方

(甲) 總論

一、關東地方の地勢 二、關東地方の山脈 三、關東地方の重要なる河川 四、關東地方に於ける著名の湖沼 五、關東地方

の著るしき温泉 六、關東地方の海岸 七、關東地方の交通 八、關東地方に於ける主要なる海底電線 九、關東地方に於ける主要なる燈臺所在地 一〇、關東地方の氣候 一一、關東地方の重要農産物 一二、關東地方の養蠶地方 一三、關東地方の重要鑛業地 一四、關東地方の重要水産物 一五、關東地方の織物業地 一六、關東地方に於ける醬油及び酒の産地 一七、關東地方の區劃 一八、關東地方の府縣廳所在地 一九、關東地方の市制地 二〇、關東地方に於ける人口五萬以上の都會 二一、關東地方に於ける外國領事館所在地。

(乙) 各論

○東京府

一、東京府の地勢海岸 二、豆南七島(伊豆七島) 三、小笠原群島 四、東京府の重要産物及び産地 五、東京市 六、東京府の工業地 七、東京府の史蹟。

○神奈川縣

- 一、 神奈川縣の地勢
- 二、 箱根
- 三、 神奈川縣の重要産物及び産地
- 四、 神奈川縣の都邑
- 五、 神奈川縣の勝地
- 六、 神奈川縣の史蹟

○千葉縣……………五三

- 一、 千葉縣の海岸
- 二、 千葉縣の地勢
- 三、 千葉縣の重要産物及び産地
- 四、 千葉縣に於ける著名の水産業地
- 五、 千葉縣の都邑
- 六、 千葉縣下の著るしき海水浴場地
- 七、 千葉縣下の著名の史蹟

○埼玉縣……………五六

- 一、 埼玉縣の地勢
- 二、 埼玉縣の重要産物及び産地
- 三、 埼玉縣の都邑
- 四、 埼玉縣下の重要鐵道

○群馬縣……………五七

- 一、 群馬縣の地勢
- 二、 群馬縣の重要産物及び産地
- 三、 群馬縣の都邑
- 四、 群馬縣の商工業地
- 五、 群馬縣の史蹟
- 六、 群馬縣の著名なる温泉地

○栃木縣……………六〇

- 一、 栃木縣の地勢
- 二、 日光
- 三、 栃木縣の重要産物及び産地
- 四、 栃木縣の都邑
- 五、 栃木縣下の鐵道

○茨城縣……………六三

- 一、 茨城縣の地勢
- 二、 茨城縣の海岸
- 三、 茨城縣の重要産物及び産地
- 四、 茨城縣の都邑
- 五、 茨城縣下の史蹟

第二章 奥羽地方(東北地方)……………六六

(甲) 總論……………六六

- 一、 奥羽地方の地勢
- 二、 奥羽地方の山脈
- 三、 奥羽地方に於ける重要な河川
- 四、 奥羽地方に於ける著名なる湖沼
- 五、 奥羽地方の著るしき低原
- 六、 奥羽地方の著るしき温泉
- 七、 奥羽地方の海岸
- 八、 奥羽地方の交通
- 九、 奥羽地方に於ける主要なる海底電線及び燈臺
- 一〇、 奥羽地方の氣候
- 一一、 奥羽地方の主要なる蠶業地
- 一二、 奥羽地方の主要なる織物産地
- 一三、 奥羽地方の主要なる工業地
- 一四、 奥羽地方の主要なる鑛山

- 一五、奥羽地方の馬の主産地
- 一六、奥羽地方の區劃
- 一七、奥羽地方の縣廳所在地
- 一八、奥羽地方の市制地
- 一九、奥羽地方に於ける人口五萬以上の都會。

(乙) 各論

- 福島縣.....七四
 - 一、福島縣の地勢及び海岸
 - 二、福島縣の重要産物及び産地
 - 三、福島縣の都邑。

○宮城縣

- 一、宮城縣の地勢
- 二、宮城縣の海岸
- 三、宮城縣の重要産物及び産地
- 四、宮城縣の都邑。

○岩手縣

- 一、岩手縣の地勢及び海岸
- 二、岩手縣の重要産物及び産地
- 三、岩手縣の都邑。

○青森縣

- 一、青森縣の地勢
- 二、青森縣の海岸
- 三、青森縣の重要産物

及び産地 四、青森縣の都邑。

○秋田縣

- 一、秋田縣の地勢及び海岸
- 二、秋田縣の重要産物及び産地
- 三、秋田縣の都邑。

○山形縣

- 一、山形縣の地勢
- 二、山形縣の重要産物及び産地
- 三、山形縣の都邑。

第三章 中本州地方

(甲) 總論

- 一、中本州地方の地勢
- 二、本州中部高地
- 三、中本州地方の山脈
- 四、中本州地方に於ける一萬尺以上の重要なる山岳
- 五、中本州地方に於ける重要なる河川
- 六、中本州地方の著名なる湖沼
- 七、中本州地方の著るしき低原
- 八、中本州地方の高原
- 九、中本州地方の著るしき盆地
- 一〇、中本州地方に於ける著るしき温泉
- 一一、中本州地方の海岸
- 一二、中本州地方の交通

- 一三、中本州地方の重要な燈臺所在地
- 一四、中本州地方に於ける重要な海底電線
- 一五、中本州地方の氣候
- 一六、中本州地方の著名なる工業地
- 一七、中本州地方に於ける水産業地
- 一八、中本州地方に於ける著るしき米産地
- 一九、中本州地方に於ける著るしき蠶業地
- 二〇、中本州地方に於ける著名の鑛業地
- 二一、中本州地方の區劃
- 二二、中本州地方の縣廳所在地
- 二三、中本州地方の市制地
- 二四、中本州地方に於ける人口五萬以上の都會
- 二五、中本州地方に於ける開港場

(乙) 各論

○山梨縣

- 一、山梨縣の地勢
- 二、甲府盆地
- 三、富士川
- 四、富士山
- 五、山梨縣の重要産物及び産地
- 六、山梨縣の都邑

○静岡縣

- 一、静岡縣の地勢及び海岸
- 二、濱名湖
- 三、静岡縣の重要産物及び産地
- 四、静岡縣の都邑
- 五、静岡縣下の著るしき舊蹟

- 六、静岡縣下の著るしき勝地
- 七、静岡縣下に於ける著るしき温泉

○愛知縣

- 一、愛知縣の地勢及び海岸
- 二、愛知縣の重要産物及び産地
- 三、愛知縣の都邑
- 四、愛知縣下の著るしき舊蹟

○岐阜縣

- 一、岐阜縣の地勢
- 二、岐阜縣の重要産物及び産地
- 三、岐阜縣の都邑

○長野縣

- 一、長野縣の地勢
- 二、長野縣の雨量少き理由
- 三、淺間山の高山
- 四、長野縣に於ける三峻阪路
- 五、長野縣下に於ける一萬尺以上の高山
- 六、長野縣に於ける名高き温泉
- 七、長野縣に於ける六大平地
- 八、木曾地方
- 九、木曾山林
- 一〇、長野縣の重要産物及び産地
- 一一、長野縣の都邑

○新潟縣

- 一、新潟縣の地勢
- 二、新潟縣の海岸
- 三、佐渡島
- 四、新潟縣の重要産物及び産地
- 五、新潟縣の都邑
- 六、信濃川に沿へる名邑

○富山縣

- 一、富山縣の地勢
- 二、立山
- 三、富山縣の重要産物及び産地
- 四、富山縣の都邑

○石川縣

- 一、石川縣の地勢及び海岸
- 二、石川縣の重要産物及び産地
- 三、石川縣の都邑

○福井縣

- 一、福井縣の地勢及び海岸
- 二、福井縣の重要産物及び産地
- 三、福井縣の都邑

第四章 近畿地方

(甲) 總論

- 一、近畿地方の地勢
- 二、近畿地方に於ける主要なる山川
- 三、

- 近畿地方の海岸
- 四、近畿地方に於ける著るしき温泉
- 五、近畿地方の交通
- 六、近畿地方の著るしき燈臺所在地
- 七、近畿地方の主要なる海底電線
- 八、近畿地方の氣候
- 九、近畿地方の重要工業地
- 一〇、近畿地方の名高き水産業地
- 一一、近畿地方の區劃
- 一二、近畿地方の府縣廳所在地
- 一三、近畿地方の市制地
- 一四、近畿地方に於ける人口五萬以上の都會
- 一五、近畿地方の開港場
- 一六、近畿地方に於ける外國領事館所在地

(乙) 各論

○滋賀縣

- 一、滋賀縣の地勢
- 二、琵琶湖
- 三、滋賀縣の重要産物及び産地
- 四、滋賀縣の都邑
- 五、滋賀縣下の著るしき史蹟

○京都府

- 一、京都府の地勢
- 二、京都府の海岸
- 三、京都府下の三運河
- 四、京都府の重要産物及び産地
- 五、京都府の都邑
- 六、京都府下に於ける主要なる鐵道

○奈良縣……………一三五

- 一、奈良縣の地勢
- 二、吉野山地
- 三、奈良縣の重要産物及び産地
- 四、奈良縣の都邑
- 五、奈良縣下の著るしき史蹟
- 六、奈良縣に於ける著るしき名所。

○三重縣……………一三八

- 一、三重縣の地勢及び海岸
- 二、三重縣の重要産物及び産地
- 三、三重縣の都邑。

○和歌山縣……………一四〇

- 一、和歌山縣の地勢
- 二、和歌山縣の海岸
- 三、和歌山縣の重要産物及び産地
- 四、和歌山縣の都邑。

○大阪府……………一四二

- 一、大阪府の地勢
- 二、大阪府の史蹟
- 三、大阪府の海岸
- 四、大阪府の重要産物及び産地
- 五、大阪府の都邑
- 六、大阪府下に於ける主要なる鐵道。

○兵庫縣……………一四六

- 一、兵庫縣の地勢
- 二、兵庫縣の海岸
- 三、兵庫縣の重要産物及び産地
- 四、兵庫縣の都邑。

第五章 中國地方……………一五〇

(甲) 總論……………一五〇

- 一、中國地方の地勢
- 二、中國地方の河川湖沼
- 三、中國地方の海岸
- 四、瀬戸内海
- 五、中國地方の交通
- 六、中國地方に於ける重要なる海底電線
- 七、中國地方の氣候
- 八、中國地方の重要なる工業地
- 九、中國地方に於ける著名の鑛産地
- 一〇、中國地方の區劃
- 一一、中國地方の縣廳所在地
- 一二、中國地方の市制地
- 一三、中國地方に於ける人口五萬以上の都會
- 一四、中國地方の開港場。

(乙) 各論……………一五六

- 鳥取縣……………一五六
- 一、鳥取縣の地勢
- 二、鳥取縣の海岸
- 三、鳥取縣の重要産物及び産地
- 四、鳥取縣の都邑。

○島根縣……………一五七

- 一、島根縣の地勢
- 二、島根縣の海岸
- 三、隠岐島
- 四、島根縣の重要産物及び産地
- 五、島根縣の都邑

○岡山縣……………一六〇

- 一、岡山縣の地勢
- 二、岡山縣の海岸
- 三、岡山縣の重要産物及び産地
- 四、岡山縣の都邑

○廣島縣……………一六三

- 一、廣島縣の地勢
- 二、廣島縣の海岸
- 三、廣島縣の重要産物及び産地
- 四、廣島縣の都邑

○山口縣……………一六六

- 一、山口縣の地勢
- 二、山口縣の海岸
- 三、山口縣の重要産物及び産地
- 四、山口縣の都邑

第六章 四國地方……………一七〇

(甲) 總論……………一七〇

- 一、四國地方の地勢
- 二、四國地方の山脈
- 三、四國地方の二

大高山 四、四國地方の重要なる河川 五、四國地方の低原 六、

四國地方の海岸 七、四國地方の著名なる島嶼 八、四國の交

通 九、四國地方の主要なる海底電線 一〇、四國地方の主要

なる燈臺所在地 一一、四國地方の氣候 一二、四國地方の重

要工業地 一三、瀬戸内海地方の製鹽業盛なる理由 一四、十

州鹽田 一五、四國地方の區劃 一六、四國地方の縣廳所在地

一七、四國の市制地 一八、四國地方に於ける人口五萬以上の都會

(乙) 各論……………一七六

○德島縣……………一七六

- 一、德島縣の地勢
- 二、德島縣の海岸
- 三、德島縣の重要産物及び産地
- 四、德島縣の都邑

○香川縣……………一七八

- 一、香川縣の地勢
- 二、香川縣の海岸
- 三、香川縣の住民
- 四、香川縣の重要産物及び産地
- 五、香川縣の都邑

○愛媛縣……………一八〇

- 一、愛媛縣の地勢
- 二、愛媛縣の海岸
- 三、愛媛縣の重要産物及び産地
- 四、愛媛縣の都邑

○高知縣……………一八二

- 一、高知縣の地勢
- 二、高知縣の海岸
- 三、高知縣の重要産物及び産地
- 四、高知縣の都邑

第七章 九州地方……………一八四

(甲) 總論……………一八四

- 一、九州地方の地勢
- 二、九州地方の山脈
- 三、九州地方の三大高山
- 四、九州地方に於ける著名の火山
- 五、九州地方の三大低原
- 六、九州地方の重要なる河川
- 七、九州地方の海岸
- 八、九州地方の島嶼
- 九、九州地方の主要なる鐵道
- 一〇、九州地方の主要なる航路
- 一一、九州地方に於ける主要なる燈臺所在地
- 一二、九州地方の主要なる海底電線
- 一三、九州地方の氣候
- 一四、九州地方の主要なる工業地
- 一五、九州地方の主要なる工業地
- 一六、九州地方の主要なる畜產地
- 一七、九州地方の區劃

- 一八、九州地方の縣廳所在地
- 一九、九州地方の市制地
- 二〇、九州地方に於ける人口五萬以上の都會
- 二一、九州地方に於ける區制地
- 二二、九州地方に於ける開港場

(乙) 各論……………一九三

○福岡縣……………一九三

- 一、福岡縣の地勢
- 二、福岡縣の海岸
- 三、福岡縣の重要産物及び産地
- 四、福岡縣の都邑

○佐賀縣……………一九七

- 一、佐賀縣の地勢
- 二、佐賀縣の海岸
- 三、佐賀縣の重要産物及び産地
- 四、佐賀縣の都邑

○長崎縣……………一九九

- 一、長崎縣の地勢
- 二、長崎縣の海岸
- 三、長崎縣の島嶼
- 四、長崎縣の重要産物及び産地
- 五、長崎縣の都邑

○熊本縣……………二〇一

- 一、熊本縣の地勢
- 二、阿蘇山
- 三、五箇莊
- 四、球磨川
- 五、

熊本縣の海岸 六、熊本縣の重要産物及び産地 七、熊本縣の都邑

○大分縣……………二〇六

一、大分縣の地勢 二、別府温泉 三、大分縣の海岸 四、大分縣の重要産物及び産地 五、大分縣の都邑

○宮崎縣……………二〇九

一、宮崎縣の地勢 二、霧島山 三、宮崎縣の海岸 四、宮崎縣の重要産物及び産地 五、宮崎縣の都邑

○鹿兒島縣……………二一一

一、鹿兒島縣の地勢 二、鹿兒島縣の海岸 三、櫻島 四、種子ヶ島 五、夜久島 六、川邊十島 七、奄美諸島 八、鹿兒島縣の重要産物及び産地 九、鹿兒島縣の都邑

○沖繩縣……………二一六

一、沖繩縣島嶼の區分 二、沖繩縣の地勢及び海岸 三、沖繩縣の五港 四、沖繩縣の氣候 五、沖繩縣の動植物 六、沖繩縣の風俗 七、沖繩縣の重要産物及び産地 八、沖繩縣の都邑

第二部 臺灣地方……………二二〇

第一章 總論……………二二〇

- 一、臺灣地方の沿革 二、臺灣地方の地勢 三、臺灣地方の山脈 四、臺灣山脈 五、新高山 六、大屯山 七、臺灣の重要なる河川 八、臺灣の海岸 九、澎湖群島 一〇、臺灣島に於ける主要なる鐵道 一一、臺灣地方の主要なる航路 一二、臺灣地方の主要なる燈臺所在地 一三、臺灣地方に於ける主要なる海底電線 一四、臺灣地方の氣候 一五、臺灣地方の氣温 一六、臺灣地方の雨量 一七、臺灣地方に於ける夏冬季の區別 一八、臺灣地方の動植物 一九、臺灣地方の重要産物及び産地 二〇、臺灣の重要貿易品 二一、臺灣地方の開港場 二二、臺灣に於ける外國領事館所在地 二三、臺灣地方の住民 二四、臺灣地方の區劃 二五、臺灣地方に於ける人口五萬以上の都會

第二章 各論

○北臺灣

- 一、北臺灣の地勢
- 二、北臺灣の海岸
- 三、北臺灣の都邑

○中臺灣

- 一、中臺灣の地勢
- 二、中臺灣の海岸
- 三、中臺灣の都邑

○南臺灣

- 一、南臺灣の地勢
- 二、南臺灣の海岸
- 三、南臺灣の都邑

○東臺灣

- 一、東臺灣の地勢
- 二、東臺灣の海岸
- 三、東臺灣の都邑

○澎湖群島

- 一、澎湖群島の地勢
- 二、澎湖群島の生業
- 三、媽宮(媽公)

第三部 十州地方

第一章 總論

- 一、十州地方の位置
- 二、十州地方の廣袤
- 三、十州地方の沿革
- 四、十州地方の地勢
- 五、十州地方の山脈
- 六、蝦夷山脈

七、千島火山脈

八、十州中央高地

九、十州島に於ける那須火山脈

一〇、十州地方の七高山

一一、十州地方の河流

一二、十州の七大河

一三、石狩川

一四、天鹽川

一五、十州地方の湖沼

一六、十州の六大湖

一七、十州の六大低原

一八、十州の著名なる鑛泉

一九、十州島の海岸

二〇、十州西部の海岸

二一、十州東部の海岸

二二、千島の海岸及び島嶼

二三、南千島と北千島

二四、十州地方の海流

二五、十州島の鐵道

二六、十州地方の航路

二七、十州地方に於ける主要なる燈臺

二八、十州地方に於ける主要なる海底電線

二九、十州地方の氣候

三〇、十州地方の氣温

三一、十州地方に於ける攝氏寒暖計五度以下の地方

三二、十州地方の雨量

三三、十州地方と略同緯度の外國都市の温度

三四、十州地方の重要農産物及び産地

三五、十州地方の重要畜産物及び産地

三六、十州地方の重要林産物及び産地

三七、十州地方の重要鑛産物及び産地

三八、十州地方の著名なる石炭産地

三九、十州地方の産地

水産業 四〇、十州地方の重要水産物及び産地 四一、十州地方の工産物 四二、十州地方の住民 四三、アイヌ族 四四、十州地方の區劃 四五、十州地方の區制地及び支廳 四六、十州地方に於ける人口五萬以上の都會 四七、十州地方に於ける開港場。

第二章 各論

二六〇

○西十州

二六〇

一、渡島の都邑 二、後志の都邑 三、膽振の都邑 四、日高の都邑 五、石狩の都邑 六、天鹽の都邑。

○東十州

二六四

一、北見の都邑 二、根室の都邑 三、釧路の都邑 四、十勝の都邑。

○千島列嶋

二六六

一、國後島 二、色丹島 三、擇捉島 四、得撫島。

第四部 南樺太

二六七

第一章 總論

二六七

一、南樺太の位置 二、南樺太の廣袤 三、南樺太の沿革 四、南樺太の地勢 五、南樺太の重要な河川 六、南樺太の重要な湖沼 七、南樺太の低原 八、南樺太の海岸 九、南樺太附近の海流 一〇、南樺太の交通 一一、南樺太地方の重要な海底電線 一二、南樺太の氣候 一三、南樺太の重要産物及び産地 一四、南樺太の石炭産地 一五、南樺太の森林 一六、南樺太の區劃 一七、南樺太の住民。

第二章 各論

二七六

一、南樺太の都邑。

第五部 朝鮮

二七八

第一章 總論

二七八

一、朝鮮の位置 二、朝鮮の四極 三、朝鮮の廣袤 四、朝鮮の沿革 五、朝鮮の地勢 六、北朝鮮の地勢 七、中朝鮮の地勢 八、南朝鮮の地勢 九、南朝鮮の大低原 一〇、朝鮮

に於ける主要なる山脈 一一、朝鮮に於ける著るしき山 一二、朝鮮に於ける著るしき温泉 一三、朝鮮の七大河 一四、朝鮮の各斜面に於ける重なる河川 一五、朝鮮の三大低原 一六、朝鮮の三大農業地 一七、鴨綠江 一八、圖們江 一九、漢江 二〇、洛東江 二一、錦江(鎮江) 二二、大同江 二三、榮山江 二四、朝鮮の海岸 二五、朝鮮の近海 二六、朝鮮の島嶼 二七、朝鮮の三大島 二八、朝鮮の三列島 二九、朝鮮の三群島 三〇、朝鮮の東西海岸の比較 三一、朝鮮の主要なる普通道路 三二、朝鮮の主要鐵道 三三、京城より主要なる都會に至る距離 三四、朝鮮地方に於ける主要なる航路 三五、朝鮮に於ける著るしき燈臺所在地 三六、朝鮮に於ける海底電線 三七、朝鮮の氣候 三八、朝鮮の氣温 三九、朝鮮の雨量 四〇、朝鮮の農業 四一、朝鮮の重要農産物及び産地 四二、朝鮮の畜産物及び産地 四三、朝鮮の養蜂業 四四、朝鮮の重要工産物及び産地 四五、朝鮮の工業 四六、朝鮮の林業

四七、朝鮮の三大森林 四八、朝鮮の森林に於ける有用植物 四九、朝鮮に於ける著名の森林 五〇、朝鮮の水産業 五一、朝鮮の七大水産物 五二、朝鮮の三大漁業 五三、朝鮮の製鹽業 五四、朝鮮の重要水産物及び産地 五五、朝鮮の鑛産物及び産地 五六、朝鮮の内地商業 五七、朝鮮の定期市 五八、朝鮮の各道に於ける重要なる商業地 五九、朝鮮の重要貿易品 六〇、朝鮮の貿易 六一、朝鮮の開港場 六二、朝鮮に於ける外國領事館所在地 六三、朝鮮の住民 六四、朝鮮の種族 六五、朝鮮に於ける階級制度 六六、朝鮮の宗教 六七、朝鮮の教育 六八、朝鮮の政治 六九、朝鮮の中央政府 七〇、朝鮮の地方政府 七一、朝鮮の區劃 七二、朝鮮の各道廳所在地 七三、朝鮮各道に於ける人口の割合 七四、朝鮮に於ける人口五萬以上の都會

第二章 各論

○南朝鮮

三三〇

三三〇

- 一、慶尙南道の位置
- 二、慶尙南道の重要産物及び産地
- 三、慶尙南道の都邑
- 四、慶尙北道の位置
- 五、慶尙北道の重要産物及び産地
- 六、慶尙北道の都邑
- 七、全羅南道の位置
- 八、全羅南道の重要産物及び産地
- 九、全羅南道の都邑
- 一〇、全羅北道の位置
- 一一、全羅北道の重要産物及び産地
- 一二、全羅北道の都邑
- 一三、忠清南道の重要産物及び産地
- 一四、忠清南道の都邑
- 一五、忠清北道の位置
- 一六、忠清北道の重要産物及び産地
- 一七、忠清北道の都邑

○中朝鮮

三三〇

- 一、江原道の位置
- 二、江原道の重要産物及び産地
- 三、江原道の都邑
- 四、京畿道の位置
- 五、京畿の重要産物及び産地
- 六、京畿道の都邑
- 七、黄海道の重要産物及び産地
- 八、黄海道の都邑

○北朝鮮

三三五

- 一、平安南道の重要産物及び産地
- 二、平安南道の都邑
- 三、平安北道の重要産物及び産地
- 四、平安北道の都邑

- 安北道の重要産物及び産地
- 五、平安北道の都邑
- 六、咸鏡南道の位置
- 七、咸鏡南道の重要産物及び産地
- 八、咸鏡南道の都邑
- 九、咸鏡北道の位置
- 一〇、咸鏡北道の重要産物及び産地
- 一一、咸鏡北道の都邑

附録 南滿洲地方

三三三

第一章 滿洲總論

三三三

- 一、滿洲(東三省)の位置
- 二、滿洲の面積及び區劃
- 三、南滿洲及び北滿洲
- 四、東三省の首府
- 五、滿洲の地勢
- 六、滿洲の山脈
- 七、滿洲の河川
- 八、滿洲の低原
- 九、滿洲の氣候
- 一〇、滿洲の重要産物及び産地
- 一一、滿洲の鐵道
- 一二、東清鐵道
- 一三、南滿洲鐵道
- 一四、京奉鐵道
- 一五、滿洲地方の航路
- 一六、滿洲の住民
- 一七、滿洲に於ける日本領事館の所在地
- 一八、日清條約上開かるべき滿洲の都市
- 一九、滿洲に於ける我が警務署の所在地
- 二〇、滿洲と歴史

第二章 南滿洲鐵道地方

三四一

- 一、南滿洲本線鐵道地方の都邑(除關東州)
- 二、盛京省及び吉林省に於ける著るしき都邑
- 三、吉長及び吉會兩鐵道地方の都邑
- 四、間島地方
- 五、安奉線鐵道地方の都邑

第三章 關東州總論

三四七

- 一、關東州の位置
- 二、關東州の廣袤
- 三、關東州の沿革
- 四、關東州の地勢
- 五、關東州の海岸
- 六、關東州の島嶼
- 七、關東州の氣候
- 八、關東州の重要產物及び產地
- 九、關東州の貿易
- 一〇、關東州の開港場
- 一一、關東州の住民
- 一二、關東州の政治
- 一三、關東州の區劃

第四章 關東州各論

三五二

- 一、關東州の都邑

第三編 人文誌

三五五

第一章 産業

三五五

- 一、帝國農業の一斑
- 二、帝國重要農產物の產額
- 三、帝國各部の耕地
- 四、帝國の耕地と農業者との割合
- 五、内地の農産

- 六、帝國の重要農產物及び產地
- 七、帝國の養蠶業
- 八、帝國の五大養蠶業地方
- 九、帝國著名の繭產地
- 一〇、帝國の飼畜業
- 一一、帝國の重要產物及び產地
- 一二、帝國の養雞業
- 一三、帝國の養蜂業
- 一四、帝國の水産業
- 一五、帝國の水産業の盛なる理由
- 一六、帝國の三大水産業地
- 一七、帝國著名の水産業地
- 一八、帝國の重要水産物及び產地
- 一九、帝國の製鹽業
- 二〇、帝國著名の鹽產地
- 二一、帝國の林業
- 二二、帝國の著名の森林と有用材
- 二三、森林の効用
- 二四、帝國の重要林產物
- 二五、帝國の鑛業
- 二六、帝國の五大鑛產物及び產地
- 二七、帝國の重要鑛產物及び產地
- 二八、帝國に於ける著名の金鑛山
- 二九、帝國に於ける著名の銀鑛山
- 三〇、帝國に於ける著名の銅鑛山
- 三一、帝國に於ける著名の鐵鑛山
- 三二、帝國に於ける著名の鉛鑛山
- 三三、帝國に於ける著名の炭坑
- 三四、帝國に於ける著名の石油坑
- 三五、帝國に於ける著名の硫黃鑛山
- 三六、帝國に於ける著名の安質母尼及び滿俺鑛山
- 三

七、帝國の工業 三八、帝國の紡績業 三九、帝國の蠶絲業
 四〇、世界の二大養蠶國 四一、帝國の織物業 四二、帝國の
 八大織物産地 四三、帝國に於ける著名の織物産地 四四、帝
 國に於ける絹織物の種類と産地 四五、帝國に於ける木綿織物の
 種類と産地 四六、帝國に於ける絹綿交織の種類と産地 四七、
 帝國に於ける毛織物の産地 四八、帝國に於ける麻織物の種類及
 び産地 四九、帝國に於ける燐寸及び軸木製造業 五〇、帝國
 に於ける醸造業 五一、帝國に於ける酒醬酒の産地 五二、帝
 國の製糖業 五三、帝國に於ける植物性油類の種類及び産地
 五四、帝國の樟腦製造業 五五、帝國の罐詰業 五六、帝國の
 陶窯業 五七、帝國のセメント煉瓦の主産地 五八、帝國の漆
 器業 五九、帝國の金屬器業 六〇、帝國の玻璃業 六一、帝
 國の車輛製造業 六二、帝國の造船業 六三、帝國の主要なる
 造船業地 六四、帝國の抄紙業 六五、帝國に於ける紙の種類
 及び産地 六六、帝國の蔦蓆業 六七、帝國に於ける蠟表莫産

華筵の主産地 六八、帝國の麥稈及び經木眞田業 六九、帝國
 に於ける麥稈及び經木眞田の産地 七〇、帝國の製革業 七一、
 帝國の石鹼及び顔料の主産地 七二、帝國の木蠟業 七三、帝
 國に於ける工業用藥品の主産地 七四、帝國に於ける人造肥料業
 七五、帝國の出版業。

第二章 商業

一、内地商業と貿易との區別 二、帝國の商業機關 三、帝國
 の金融機關 四、帝國に於ける著名の銀行所在地 五、帝國の
 二大内地商業地及び重要取引品 六、帝國各地方に於ける重要商
 業地 七、帝國の外國貿易 八、帝國最近の貿易額 九、帝
 國貿易額と歐米列國貿易額との比較 一〇、帝國の開港場 一
 一、帝國の税關所在地 一二、帝國の二大開港場とその重要貿易
 品 一三、帝國に於ける十大開港場とその重要貿易品 一四、帝
 國に於ける一千万圓以上の取引貿易港 一五、帝國の八大重要輸
 出品及び取引國 一六、帝國に於ける一千万圓以上の輸出品及び

- 取引國 一七、帝國の九大重要輸入品及び取引國 一八、帝國に於ける一千萬圓以上の輸入品及び取引國 一九、帝國の重要貿易國及び輸出入額 二〇、帝國と五百萬圓以上の貿易國 二一、帝國の重要輸出國と重要輸出品 二二、五百萬圓以上の輸出國と重要輸出品 二三、帝國の重要輸入國と重要輸入品 二四、五百萬圓以上の輸入國と重要輸入品

第三章 交通

交通

- 一、帝國の普通道路 二、國道、府縣道、里道の區別 三、帝國に於ける鐵道 四、帝國に於ける百哩以上の鐵道 五、帝國に於ける各種鐵道 六、世界に於ける著るしき鐵道國の狀況 七、帝國に於ける車輛 八、帝國に於ける船舶 九、歐米各列國の汽船數と日本の汽船數との比較 一〇、帝國の四大汽船會社 一一、日本郵船會社の重なる外國汽船航路 一二、日本郵船會社の重なる內國汽船航路 一三、大阪商船會社の重なる外國汽船航路 一四、大阪商船會社の重なる內國汽船航路 一五、東洋汽船會社の

第四章 住民

住民

- 外國汽船航路 一六、日清汽船會社の汽船航路 一七、内地主要なる諸港間の航路里程 一八、横濱港より外國著名の港に至る航路里程 一九、浦鹽斯德、日本重要港間の航路里程 二〇、長崎、清國重要港間の航路里程 二一、淡水、清國重要港間の航路里程 二二、帝國の通信業 二三、帝國の郵便電信電話事業 二四、世界各國の郵便電信事業と日本のそれとの比較

- 一、帝國國民の種族 二、大和民族の特質 三、帝國國民の階級 四、帝國臣民の義務 五、帝國の人口 六、世界の四大人口稠密國 七、我が國民の重なる移住地 八、我が國に於ける人口の稀薄地方 九、六大島及び朝鮮の人口 一〇、我が内地各府縣に於ける人口の多少 一一、帝國に於ける人口十萬以上の都會 一二、帝國に於ける人口十萬以下五萬以上の都會

第五章 教育

教育

- 一、帝國に於ける教育の現状 二、帝國に於ける初等教育 三、

帝國に於ける中等教育 四、帝國に於ける高等教育 五、帝國の軍事教育 六、帝國の女子高等教育 七、帝國に於ける實業教育 八、帝室博物館及び圖書館 九、帝國の宗教一斑 一〇、神道及び神社 一一、神社の階級 一二、官國幣社の區別 一三、官幣大社 一四、官幣中社 一五、官幣小社 一六、別格官幣社 一七、國幣中社 一八、國幣小社 一九、帝國に於ける佛教 二〇、帝國に於ける佛教の宗派と本山 二一、我が國に於ける佛教各宗派の盛なる地方 二二、帝國に於ける基督教 二三、帝國に於ける基督教の分派 二四、帝國に於ける基督教の傳來。

第六章 軍備

一、帝國の軍備 二、帝國陸海軍の現状 三、世界諸強國の陸軍常備兵員 四、世界諸強國の軍艦噸數 五、兵役の種類 六、陸軍常備團隊の配備地 七、帝國の海軍區 八、帝國の軍港及び海軍要港 九、帝國に於ける排水量一萬噸以上の軍艦

第七章 政治

一、帝國の國體 二、我が皇室と臣民との關係 三、國粹 四、帝國の國粹 五、帝國の政治機關 六、帝國の立法部 七、帝國の司法部 八、帝國の行政部 九、帝國の財政 一〇、帝國の國債及び地方債 一一、帝國の市制地及び人口 一二、帝國の區制地及び人口 一三、帝國に於ける人口二萬五千以上の町村等 一四、帝國鐵道の制 一五、畿内八道八十五國の名稱 一六、帝國の外交 一七、安政の舊條約と明治の新條約 一八、帝國外交の變遷 一九、近時の東洋に於ける諸同盟 二〇、外國駐劄の外交官 二一、外國に於ける帝國公館の所在地 二二、帝國の條約國 二三、在日本外國公館の所在地

最新日本地理資料

目次終

最新日本地理資料

井原儀著

第一編 地文誌

第一章 帝國の位置及び廣袤

(一) 帝國の位置

我が帝國はアジア(Asia)洲の東部、北太平洋の北西部に於て、北東より斜に南西に向ひ、約一二〇〇里の間相連れる大小數百の島嶼より成る日本列島、樺太、北海道、臺灣とを除けるものを日本本部といふと、アジア大陸の東部に位する朝鮮半島及びこれに附屬せる島嶼とより成る。

(二) 帝國の四極

- (1) 極東……東經一五六度三二分……千島列島中の占守島の東端。
- (2) 極西……同 一一九度二〇分……澎湖群島中の花嶼の西端。

- (3) 極南……北緯二一度四八分……臺灣島南岬岩礁の南端。
- (4) 極北……同 五〇度五六分……千島列島中の阿頼度島の北端。

(三) 帝國の境界。

(四) 帝國四邊の海洋及び近隣諸國の名稱。

(東面)……太平洋(大東洋)を隔て、北アメリカ合衆國 (United States of America) 及びイギリス領北アメリカ (British North America) のカナダ (Canada) と相對す。その間約四五〇〇哩。

(西面)……北太平洋の支海たる日本海を隔て、ロシア領アジア (Asiatic Russia) に屬するシベリア (Siberia) の沿海州と、黄海、東支那海、東海、臺灣海峡を隔て、清國の支那本部と相對し、長白山脈、鴨綠江、圖們江(豆滿江)とによりて清國滿洲(東三省)と相接す。(南面)……渺茫たる太平洋を控へ、東南約三四〇〇哩に北アメリカ合衆國のハワイ (Hawaii) 或はサンドウィッチ (Sandwich) 諸島あり。小笠原群島の南約五〇〇哩にオセアニア (Oceania) 洲のマリアナ (Mariana) 或はラドロナ (Ladron) 諸島あり。臺灣の南約二〇〇哩に北アメリカ合衆國領フィリピン (Philippine) 群島の呂宋 (Luzon) 島あり。その間の海峡をバシー (Bashi) 海峡と名づく。

(北面)……オホーツク (Okhotsk) (北海)海を控へ、約三哩の千島海峡(クリル海峡)を隔て、ロシア領アジアのカムチャトカ (Kamchatka) 半島の南端ロバトカ (Lopatka) 岬と相對す。間宮海峡、韃靼海峡によりてアジア大陸と離る。樺太(サハリン Sugliuliu) 島は北緯五〇度の線を以て、日露兩國の境界となす。

(五) 日本といへる名稱の起源。

日本とは、朝鮮といへる國號の起源と同じく、日出の義にしてアジア洲の他の國よりも東方日出の方に位するが故に、名づけられたるものなり。推古天皇(西曆 593—628)の時より稱へ來たりしが、一般にこれを呼ぶに至りしは、奈良朝(710—781)以後なり。

(六) 日本の國號の異稱。

我が國の異稱は古來頗る多しといへども、今その二三を示さば、次の如し。

- (1) 倭の國……我が國最初の皇都ありし大和の國名によりて稱せらる。
- (2) 大八洲の國……大彌島(大なる多くの島の義にして、我が帝國が數多の島嶼より成るが故に名づく。また本州、佐渡、隱岐、淡路、四國、九州、壹岐、對馬の八島を大八州といへるものあり。

(3) 豐葦原瑞穂の國……我が國古來土地肥えて、米穀の産に富むが故なり。

(4) 蜻蜓國……我が國の形の蜻蜓に似たりとて名づけられたるものなり。

(5) ジッパン(Japan)……支那音にて日本をジッポンといへるが訛りたるものにして、

伏見天皇の永仁六年(1113)頃より西洋諸國の人の呼ぶ所となれり。されども我が國民のこれを使用するもの少し。

(七) 帝國の形状。

(八) 帝國の三大彎。

我が國は、古來蜻蜓州と稱へ來たりしが、北東より南西に向ひ、約一二〇〇里の間に延長する細長き火山列島國にして、東洋の花彩列島或は東アジアの防波隄と稱せられ、自ら三大彎を成す。

(1) 第一彎(北彎)……千島列島、十州島(北州島)より成るもの。

(2) 第二彎(中彎)……本州島、四國島、九州島より成るもの。

(3) 第三彎(南彎)……琉球列島、臺灣島より成るもの。

(九) 帝國の廣袤。

(一〇) 帝國の面積。

(一一) 帝國と四隣諸國との面積の比較。

(一二) 帝國と歐洲強國との面積の比較。

我が國は、約一二〇〇里の間に延長する細長き國なるが故に、幅廣き所にては、百里を超ゆる所少なく、狭き所は、三十里内外なり。その面積は、約四、三三九三方里にして、ロシア本國の約八分の一、イギリスの二倍餘に當たり、ドイツ(Deutschland)フランス(France)よりも大なり。

ロシア領シベリア……帝國の約二十倍。

清國(支那)……帝國の約十七倍。

イギリス領北アメリカ……帝國の約十三倍半。

北アメリカ合衆國……帝國の約十三倍。

フランス領インドシナ……帝國よりは稍小。

北アメリカ合衆國領ハワイ……帝國の約四十分の一。

(一三) 朝鮮の位置境界面積。

朝鮮は、アジア大陸の東部に位する狭長なる半島にして、東經一二四度一八分(鴨綠江三角洲の西端)より同一三〇度五四分(嶺島の東端)に至り、北緯三三度一二分(濟州島の南端)に起りて、同四三度二分(咸鏡北道の北端)に盡く。

東は、日本海に面し、西は黄海に臨み、北は長白山脈、鴨綠江及び圖們江、豆滿江によりて、清國滿洲及びロシア領アジアの沿海州に連り、南は朝鮮海峡を隔て、對馬と相對す。

面積は、約一、四一、二三方里にして、本州島一、四四九二方里よりは、稍小なり。

(二四) 帝國に於ける六大島

- (1) 本州……………一、四四九二方里
- (2) 十州(北州)……………五〇五六方里
- (3) 臺灣……………二、三、一、八方里
- (4) 九州……………二、三、一、一方里
- (5) 南樺太……………二、二、〇、八方里
- (6) 四國……………一、一、五、一方里

(二五) 日本本部に於ける五中島

- (1) 佐渡……………五、六、方里
- (2) 對馬……………四、三、方里
- (3) 淡路……………三、六、方里

(4) 隱岐……………二、一、方里

(5) 壹岐……………八、方里

(二六) 日本本部に於ける二列島

- (1) 千島列島(三三島)……………一〇、三、三方里
- (2) 琉球列島(五五島)……………一、五、六、方里

(二七) 日本本部に於ける二群島

- (1) 澎湖群島(六三島)……………一、四、方里
- (2) 小笠原群島(二三島)……………四、方里

(二八) 朝鮮に於ける著名の島嶼

朝鮮の近海は、頗る島嶼に富めども、西海面及び南海面を多しとす。殊に南西海面の島嶼多き所を朝鮮多島海と稱す。

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) 濟州島……………南海面 | (3) 三群島 |
| (2) 巨濟島……………同上 | (1) 隔音群島……………西海面 |
| (3) 江華島……………西海面 | (2) 西草群島……………同上 |
| (1) 西北列島……………西海面 | (3) 新伊爾群島……………同上 |
| (2) 元山列島……………同上 | |
| (3) 双子列島……………同上 | |

その他西海面の豊島は、日清戦争を以て、南海面の巨文島は、對馬と共に朝鮮海峡の要害を以て、東海面の鬱陵島(松島)は、水産業地を以て著はる。

(一九) 列島と群島との區別。

- (1) 列島……數多の火山島より成りて、殆んど一直線に並列するものをいふ。例へば千島三十二列島、琉球五十五列島の如し。
- (2) 群島……數多の島嶼の不規則に群集するものをいふ。例へば澎湖六十三群島、小笠原二十三群島の如し。

(二〇) 日英兩國の比較。

- (1) 日本本部は、アジア洲の東部に位置する北温帯の島嶼國なり。
- (2) 日本本部は、北太平洋の北西部に在り。
- (3) 日本の近海には、日本海流(黒潮)對馬海流(以上暖流)、千島海流(親潮)來滿海流、樺太海流(以上寒流)あり。
- (1) 英國は、ヨーロッパ洲の西部に位置する北温帯の島嶼國(面積日本の二)なり。
- (2) 英國は、北大西洋の北東部に在り。
- (3) 英國の近海には、メキシコ灣流(暖流)といへる海流あり。

- (4) 日本本部は、六大島及び數百の島嶼より成る狭長なる列島國なり。
- (5) 日本本部は、陷沒的大陸島國なり。
- (6) 日本は、アジア洲中、面積の割合に海岸線最も發達す。
- (7) 日本本部は、火山、地震、温泉多きこと、世界に著はる。
- (8) 日本は、東洋屈指の實業國、海陸軍國なり。
- (9) 日本には、石炭(東洋第一)、銅(世界第五)、硫黃(世界第三)の鑛産多し。
- (10) 日本は、世界第四の人口稠密國なり。

- (4) 英國は、二大島及び數百の島嶼より成る群島國なり。
- (5) 英國は、浸蝕的大陸島國なり。
- (6) 英國は、海岸線に富めること、世界に著はる。
- (7) 英國には、火山、地震、温泉少し。
- (8) 英國は、世界第一の實業國、海軍國なり。
- (9) 英國は、世界第二の鐵、石炭産出國なり。
- (10) 英國は、世界第三の人口稠密國なり。

第二章 帝國の海岸及び海流

(一) 領海。

國際上、海洋は、某國の海岸より三哩以内を某國の領海と定めらる。我が國は、海洋に接する部分多きを以て、領海の面積もまた多し。

(二) 海岸線、海岸、近海。

水陸の相接する境界線を海岸線といひ、陸地の方面に於ける小部分を海岸といひ、海洋方面の小部分を近海といふ。

(三) 海岸線と文明との關係。

海岸線の能く發達する國は、自ら良好なる港灣に富みて、運輸交通上至便を極め、商業貿易を盛ならしめ、文明を發揮するのみならず、軍事上また頗る重要なるものなり。ヨーロッパは、世界六大陸中、面積の割合に海岸線最もよく發達して、宇内にその文明を輝かし、イギリスは、海岸に出入多くして、世界第一の文明國を爲すが如し。要するに海岸線の發達すると否とは、その國の文明を左右すること、最も大なるものとす。

(四) 帝國の海岸線。

日本本部は、日本海面に凹陥して、太平洋面に凸起すれども、前者は、出入に乏しく、後者は、屈曲に富み、一と三との割合をなす。朝鮮は、日本海面よりも、黃海面に屈曲す。要するに我が國の海岸線延長は、約八四〇〇里(朝鮮は約七〇〇里)に及び、面積約五方里に對して、海

岸線一里の割合をなす。

(五) 帝國中海岸線の發達する地域。

我が國の中、面積の割合に、海岸線最もよく發達するは、九州(周一里八)にして、四國(四里五)、本州(二里九)、臺灣(九里一)、十州(五里八)、南樺太、朝鮮(七里〇)、これに次ぐ。殊に九州の西海岸は、本邦中最も海岸の屈曲に富める所とす。四國及び本州は、北面に屈曲多く、臺灣及び朝鮮は、西面に、十州は南西面に、南樺太は、南面に出入多し。

(六) 本州の太平洋面と日本海面との比較。

(七) 表日本と裏日本との比較。

表日本(太平洋面)

裏日本(日本海面)

(1) 海岸屈曲に富み、半島港灣多く、運輸交通自在なり。

(1) これに反す。

(2) 傾斜の度、緩にして、大低原、沙濱及び遠淺多し。

(2) これに反す。

(3) 數多の島嶼を有す。

(3) これに反す。

(4) 火山脈少し。

(4) これに反す。

- (5) 海岸には隆起地多し。
- (6) 近海には、タスカローラ (Tuscaloosa) 海床 (深さ約二、八) 駿河灣 (深さ約六、〇〇尺) の如き深海部あり。
- (7) 日本海流黒潮暖流及び千島海流親潮寒流あり。
- (8) 三稜州を有する大河多く、概ねその流緩にして南流す。
- (9) 海上風波比較的静穏なり。
- (10) 湖汐干満の差少し。
- (11) 夏季雨量多し。
- (12) 人口多し。
- (13) 産業發達す。

- (5) 海岸には沈降地多し。
- (6) 近海には、深海部少し。
- (7) 對馬海流(暖流)、來滿海流、樺太海流(寒流)あり。
- (8) これに反す。
- (9) 冬季海上風波荒し。
- (10) これに反す。
- (11) 冬季雨量多し。
- (12) これに反す。
- (13) これに反す。

(八) 帝國の著名なる海灣。

- (1) 太平洋面……根室灣(十) 内浦灣(同) 函館灣(同) 陸奥内海(本) 仙臺灣(同) 東京灣(同) 相模灣(同) 駿河灣(同) 三河灣(同) 伊勢内海(同) 土佐灣(四)
- (2) 瀬戸内海面……大阪灣(本) 兒島灣(同) 廣島灣(同) 豫設灣(四) 大分灣(九)
- (3) 支那東海面……大村灣(九) 千々岩灣(同) 有明海(同) 八代灣(同) 鹿兒島灣(同)
- (4) 黃海面……西朝鮮灣(朝) 江華灣(同) 牙山灣(同)
- (5) 日本海面……石狩灣(十) 富山灣(本) 七尾灣(同) 敦賀灣(同) 若狹灣(同) 宮津灣(同) 油谷灣(同) 博多灣(九) 唐津灣(同) 伊萬里灣(同) 迎日灣(朝)
- (6) オホーツク海面……多來加灣(樺) 亞庭灣(同)

(九) 帝國に於ける著名なる半島。

- (1) 本州……斗南半島 津輕半島 牡鹿半島 房總半島 三浦半島 伊豆半島 渥美半島 知多半島 志摩半島 紀伊半島 兒島半島 室津半島 島根半島 丹後半島 男鹿半島

(2) 九州…………… 國東半島 佐賀關半島 肝屬半島 薩摩半島 宇土半島
島原半島 彼杵半島 松浦半島

(3) 四國…………… 高繩半島

(4) 臺灣…………… 恒春半島

(5) 朝鮮…………… 黃海半島 泰安半島 右水營半島

(6) 十州…………… 渡島半島 積丹半島 花咲半島 知床半島

(7) 南樺太…………… 能登呂半島 中知床半島 北知床半島

(一〇) 帝國に於ける著名の岬角

(1) 本州…………… 大間岬 尻矢岬 犬吠岬 大東岬 野島岬 富津岬
觀音崎 三崎 石廊崎 御前崎 伊良湖崎 幡豆岬
安乘崎 潮岬 向津具岬 日御崎 地藏崎 地蔵崎 經ヶ岬
立石岬 越前岬 綠剛岬 珠洲岬 船作崎 龍飛岬
部崎 鶴望崎 都井崎 佐多岬 開聞岬
坊ノ岬 野母岬 鐘ヶ岬

(2) 九州…………… 蒲生田岬 室戸岬 野間岬 野母岬 鐘ヶ岬 佐田岬 大角鼻 三崎
知床岬 納沙布岬 襟裳岬 繪柄岬 惠山岬 沙首岬
白神岬 白絲岬 辨慶岬 積丹岬 雄冬岬 宗谷岬

(3) 四國…………… 浦生田岬 室戸岬 野間岬 野母岬 鐘ヶ岬 佐田岬 大角鼻 三崎

(4) 臺灣…………… 富貴角 三貂角 南岬 南西岬

(5) 朝鮮…………… 長山角 納沙布岬 襟裳岬 繪柄岬 惠山岬 沙首岬

(6) 十州…………… 知床岬 納沙布岬 襟裳岬 繪柄岬 惠山岬 沙首岬
白神岬 白絲岬 辨慶岬 積丹岬 雄冬岬 宗谷岬

(7) 南樺太…………… 中知床岬 北知床岬 西能登呂岬

(一一) 帝國に於ける著名の海峡

千島海峡 擇捉海峡 國後海峡 宗谷海峡 間宮海峡(樺根) 根室海峡
津輕海峡 平館海峡 浦賀海峡 紀淡海峡 鳴門海峡 明石海峡
來島海峡 穩戶瀬戸 大島瀬戸 豊豫海峡 長豊海峡 大隅海峡
早崎海峡 平戸海峡 壹岐海峡 對馬海峡 朝鮮海峡 濟州海峡
臺灣海峡 澎湖水道 パン海峡

(一二) 帝國に於ける著名なる海灘

鹿島灘 房州沖 相模灘 遠州灘 熊野灘 紀州灘 播磨灘 水島灘 備後灘
伊豫灘 周防灘 土佐沖 日向灘 七島灘 天草灘 松浦潟 玄海灘 壱灘
石見灘 海府浦

(一三) 帝國の附近に於ける深海床。

北海道を距ること東方約三百里の北太平洋中にタスカロラ海床(明治七年發見深さあり。駿河灣の深き所は、約六六〇〇尺にして、我が陸地に最も近き最深海部たり。鳴門海峡には、約六六〇尺の深海部あり。

(一四) 帝國近海の水深。

我が國附近の海洋中、最も深きは、太平洋にして、北東部には、タスカロラ海床(深さ約二八〇〇尺)あり。富士火山脈の通ずる所は、稍淺しといへども、駿河灣には、深さ約六六〇〇尺の深海部あり。鳴門海峡には、深さ約六六〇尺の深海部あり。太平洋に次ぎて深きは、日本海にして約七〇〇〇尺の海床あり。オホーツク海、黄海、東支那海これに次ぐ。

(一五) 海流と潮流との區別。

(1) 海流……貿易風海水の溫度及び比重の差、地球の自轉などの爲めに、一定の方向に流るゝ海水をいひ、暖流及び寒流の二種あり。

(2) 潮流……海水は、日月の引力によりて、定期の漲落をなす。これを潮汐といふ。潮汐の干満によりて、海水の進退するを、潮流といふ。

(一六) 帝國の近海を流るゝ海流。

(甲) 暖流……

(1) 日本海流(黒潮)……北赤道流の一派にして、臺灣の東を過ぎ、九州、四國、本州の南東海岸附近を流れ、犬吠岬(夏季)或は金華山(冬季)附近より北、アメリカ洲に向ひて東流す。八丈島と御倉島との間に於て、黒瀬川の名あり。

(2) 對馬海流……宮古島附近に於て、日本海流より分流し、日本海を経て、オホーツク海に入り、知床半島の近海に至りて消滅す。

(乙) 寒流……

(1) 千島海流(親潮)……カムチャトカ半島の近海より來たり、千島列島及び十州の南東海岸、本州の北東海岸を洗ひ、金華山附近に於て消滅す。

(2) 樺太海流……オホーツク海の北西部より起りて、樺太島の東海岸を洗ひ、十州の北東部近海に至りて盡く。

(3) 來滿海流……オホーツク海の北西部より來たり、樺太島の西海岸近海を流過し、朝鮮の東海岸近海に至りて消滅す。

(二七) 海流の影響。

(二八) 海流と氣候との關係。

(二九) 海流と水産業との關係。

海流には、暖流及び寒流あり。暖流の流るゝ所は、鯉、鮭、鰻等の魚族を伴ひ、雨量を増

し、氣温を上昇せしむ。寒流の洗ふ所は、臘虎、昆布等の水産物に富み、雨量少く、氣温を低減す。例へば秋田、岩手兩縣の同緯度の海岸に於て、氣温を検するに、秋田縣の海岸が却て岩手縣の海岸よりも溫暖にして、その水産物を異にするを見るべし。これ前者の近海には、對馬暖流流れ、後者の近海には、千島寒流流るゝが故なり。

(二〇) 帝國の近海中霧深き所

暖寒二海流の相會合する所は、屢濃霧を生ず。殊に北海道根室附近の海上は、霧深くして、船舶の交通を妨ぐ。土言にてこれをガスといふ。津輕海峽等これに次ぐ。

(二一) 帝國に於て潮汐干満の差著しき所

日本本部に於ける潮汐干満の差は、表日本(太平洋面)に多くして、裏日本(日本海面)に少し。前者は、通例七尺乃至八尺なれども、後者は一尺乃至二尺に過ぎず。一局部より論ずる時は、九州の西方島原灣の十八尺を最多とし、佐渡二見灣の一尺を最少とす。

朝鮮の東海岸は、二尺内外なれども、南西海岸は、九尺より十二尺に及び、西海岸の淡江の河口附近に於ては、三十三尺に達す。蓋し我が國の中、潮汐干満の差最も大なる所なり。

(二二) 帝國に於ける著るしき潮流

潮流は、潮汐の干満によりて生ずる海水の運動にして、鳴門海峽は、一時間約三里、長豊海峽(下關海峽)は約一里半の速力を以て流る。豊豫海峽(早吸瀬戸)、來島海峽の如きもまた流勢頗る速く、交通上に及ぼす影響少からざるなり。

第三章 帝國の地勢及び山川

(一) 帝國の地勢

(二) 帝國に大河長流少き理由

(三) 帝國に大低原少き理由

(四) 帝國に急流多き理由

日本本部は、東北より南西に延びたる狹長の列島國にして、三箇の變形より成り、大陸面(日本海面)に凹陷して、大洋面(太平洋面)に凸起す。國土の細長きが上に、脊梁山脈をなす樺太及び日本崑崙の兩山系と數多の火山脈とを有するを以て、山地高原に富み、低原は、全面積の約九分の一に過ぎず。蓋し我が國に於て廣き低原、大河長流少く、急流多き所以なり。

我が國に於ける火山の總數は、殆んど二百に達し、世界火山總數の約四分の一を占

むるを以て、全土の約五分の一は、火成岩より成り、従ひて火成湖もまた甚だ多し。

朝鮮は、北部及び東部に高く、南部及び西部に低し。北韓の山脈は、率ね東西走し、南韓には、南北走する聯脈あり。河流は、その山脈の走向に準じて流走す。低原は、西部及び南部に多くして、東部及び北部には、山地多し。

(五) 帝國の二大山系。

(六) 樺太及び日本崑崙の兩山系。

(七) 本州の中央高地。

樺太山系(日本北彎)及び日本崑崙山系(日本南彎)の兩山系は、殆んど弓狀をなして縦貫し、我が日本本部の地體を構成す。樺太山系は、樺太島に起り、十州島を経て、本州島の中央部に達し、清國崑崙山系の餘派にして、九州、四國、中國等を過ぎ來たれる日本崑崙山系と相接合す。この兩山系の接合する甲、駿信越地方は、本州中、幅最も廣く、地勢最も高峻を極む。これを本州中央高地といひ、富士火山脈この接合點に噴起して、遠く南洋に赴く。

(八) 北日本及び南日本。

樺太及び日本崑崙の兩山系の相接合する所に噴起せる富士火山脈以北の地を北

日本といひ、その以南の地を南日本といふ。

(九) 北日本と南日本との比較。

北日本

- (1) 地體は、樺太山系より成る。
- (2) 河流及び低原の大なるもの多し。
- (3) 東海岸に近く千島海流(親潮)あり。
- (4) 港灣島嶼少し。
- (5) 溫度低く、雨量少し。
- (6) 人口少く、文化後る。
- (7) 文明の大中心は、東京市なり。

南日本

- (1) 地體は、日本崑崙山系より成る。
- (2) これに反す。
- (3) 南海岸に近く日本海流(黒潮)あり。
- (4) これに反す。
- (5) これに反す。
- (6) これに反す。
- (7) 文明の大中心は、大阪市なり。

(一〇) 日本内帶(裏日本)及び日本外帶(表日本)。

- (1) 日本内帶(裏日本)……日本海に面し、凹陥して内面をなす側。
- (2) 日本外帶(表日本)……太平洋に面し、凸起して外面をなす側。

(一一) 北日本及び南日本の重要山脈。

(一二) 帝國に於ける重要山脈。

(一三) 帝國の骨子をなす山脈。

(一四) 帝國の諸山脈の系統。

(一五) 朝鮮の山脈。

(甲) 樺太山系(北日本)。

- (一) 外帶山脈……
 - (1) 東部樺太山脈(振戸山等)
 - (4) 北上山脈(早池峯)

- (7) 關東山脈(大山)

- (二) 内帶山脈……
 - (1) 分水山脈(岩手山)

- (2) 出羽山脈(岩木山)

- (3) 越後山脈(朝日岳)

(乙) 日本崑崙山系(南日本)。

- (一) 外帶山脈……
 - (1) 赤石山脈(赤石山)
 - (4) 九州南部山脈(祖母山)

- (2) 紀伊山脈(高野山)

- (3) 四國山脈(石鎚山)

- (二) 内帶山脈……
 - (1) 木曾山脈(惠那山)
 - (4) 鈴鹿山脈(鈴鹿山)

- (2) 飛騨山脈(穗高山)

- (3) 寶達山脈(寶達山)

- (5) 中國山脈(蛭山)

- (6) 筑紫山脈(九州北山)

(丙) 臺灣の山脈。

- 臺灣山脈(新高山)

(丁) 朝鮮の山脈。

- (一) 北韓山脈……
 - (1) 長白山脈(白頭山)
 - (4) 妙香山脈(妙香山)

- (2) 江南山脈(三稱嶺)

- (3) 狄輸山脈(狄輸嶺)

- (三) 中韓山脈……
 - (1) 慈悲山脈(九月山)

- (2) 馬鬼嶺山脈(馬鬼嶺)

- (3) 車嶺山脈(鳥嶺)

- (三) 南韓山脈……
 - (1) 大白聯脈(金剛山)
 - (4) 葱嶺山脈

- (2) 小白聯脈(曾異山)

(一六) 帝國の三大火山脈。

(1) 富士火山脈……樺太及び日本崑崙兩山系の接合點に噴起し、南走して、豆南七島硫黄諸島、マリアナ諸島に通ずる火山脈にして、富士山、三原山等これに屬す。

(2) 千島火山脈……露領カムチャトカ半島より起り、千島火山列島を経て、十州島の中央部に達する火山脈にして、阿寒岳、十勝岳等これに屬す。

(3) 霧島火山脈……臺灣、琉球列島より北走して、九州南部に來たり、北西走し、肥前半島に通ずる火山脈にして、大屯山、開聞岳、霧島山等これに屬す。

(一七) 帝國の主要なる火山脈。

(一八) 帝國の火山脈の配布。

- (甲) 北日本……
- (1) 千島火山脈(阿寒山)
 - (2) 那須火山脈(中央火山脈とも、マツカ)
 - (3) 岩木火山脈(羽前火山脈とも)
 - (4) 寒風火山脈(羽前火山脈とも、寒風山)
 - (1) 富士火山脈(妙高山、宮)
 - (2) 立山火山脈(立山、御)
 - (乙) 南日本……
 - (3) 白山火山脈(白山、三)
 - (4) 阿蘇火山脈(阿蘇山、煙)
 - (5) 霧島火山脈(湯島岳、霧島山、大屯山等)

(一九) 帝國の火山力。

我が國に於ける火山の總數は、殆ど二百に達し、世界に於ける火山總數の約四分の一を占め、世界屈指の大火山國たり。故に全土の約五分の一は、火山岩より成り、火成湖もまた頗る多し。我が國の火山脈は、世界の二大火山系中、最も激しき太平洋火山系に屬し、内帯(日本海面)に多くして、外帯(太平洋面)に少し。阿蘇の舊噴口は、直徑五里半、箱根の舊噴口は、直徑四里半に及び、世界中比類なき大噴口とす。著名なる火山には、有珠岳、駒ヶ岳、渡島富士、淺間山、白根山、吾妻山、那須山、霧島山等あり。

(二〇) 帝國の著名なる火山。

- (1) 十州…… 檜前山(約三千三百尺) 有珠岳(約二千三百尺) 駒ヶ岳(渡島富士、約三千六百尺)

- (2) 本州…… 吾妻山(約六千五百尺) 那須山(約六千二百尺) 白根山(下野約八千二百尺) 淺間山(約八千二百尺)

三原山(約二千四百尺)

- (3) 九州…… 阿蘇山(約五千五百尺) 霧島山(上)

(二一) 帝國の著るしき高山。

- (1) 一萬尺以上……
- (1) 新高山(二、三〇二〇尺)
 - (2) 富士山(二、三三八七尺)
 - (3) シルビア山(二、三八九尺)
 - (4) 赤石山(二、〇二四尺)
 - (5) 白嶺(二、〇二二尺)
 - (6) 鎗ヶ岳(信濃、飛騨、一、〇二〇四尺)
 - (7) 御岳(信濃、一、〇二二八尺)
 - (8) 大蓮華山(二、〇〇〇尺)
 - (9) 蓮華山(九六八三尺)
 - (1) 白馬岳(九九二〇尺)
 - (2) 駒ヶ岳(甲斐、信濃、九九〇五尺)
 - (3) 蓮華山(九六八三尺)
 - (4) 八ヶ岳(九六六七尺)
 - (5) 鎗ヶ岳(越中、九五〇〇尺)
 - (6) 乘鞍ヶ岳(信濃、飛騨、九一〇九尺)
 - (7) 乘鞍ヶ岳(越中、九〇〇〇尺)
 - (1) 寶永山(八九一八尺)
 - (2) 白頭山(八九一〇尺)
 - (3) 四阿山(八九〇七尺)
 - (4) 妙高山(八七九〇尺)
 - (5) 金峯山(甲斐、八五四九尺)
 - (6) 立山(八五〇〇尺)
 - (3) 八千尺……
 - (7) 立科山(八三四九尺)
 - (8) 淺間山(八二三〇尺)
 - (9) 白根山(下野、八二〇〇尺)
 - (10) 男體山(下野、八一九五尺)
 - (11) 甲武信ヶ岳(八二二尺)

(二二) 帝國の大低原。

- 關東低原(州本) 臺灣低原(樹)
- 濃尾低原(州本)
- 石狩低原(州)
- 畿内低原(州本)
- 筑後低原(州九) 越後低原(州本)
- 十勝低原(州十)
- 釧路低原(州十)
- 淡江低原(鮮朝)
- 錦江低原(上同) 洛東江低原(上同)

(二二) 帝國の大低原と生業との關係。

- (1) 本州
 - 津輕低原(農業)
 - 仙北低原(農業)
 - 能代低原(牧畜)
 - 馬淵低原(牧畜)
 - 庄内低原(農業)
 - 北上低原(同上)
 - 阿武隈低原(養蠶)
 - 越後低原(農業工業)
 - 關東低原(農業工業)
 - 濃尾低原(工業)
 - 越中低原(農業)
 - 畿内低原(農業工業)
 - 吉備低原(工業)
- (2) 四國
 - 阿波低原(農業)
 - 高知低原(同上)
- (3) 九州
 - 筑後低原(農業)
 - 筑前低原(農業工業)
 - 肥後低原(農業)
- (4) 臺灣
 - 淡水低原(農業工業)
 - 西臺灣低原(農業)
- (5) 十州
 - 石狩低原(農業)
 - 十勝低原(農業)
 - 釧路低原(同上)
 - 根室低原(牧畜業)
- (6) 南樺太
 - 幌内低原(林業)
 - 鈴谷低原(農業)

- (7) 朝鮮
 - 洛東江低原(農業)
 - 大同江低原(農業)
 - 錦江低原(農業)
 - 漢江低原(農業)

(二四) 帝國の重要なる原野。

(1) 高原	
富士裾野(駿河) 三九一〇〇	御牧原(信) 四六〇〇〇
念場原(斐) 九三〇〇	野尾原(後) 四一〇〇
八ヶ岳裾野(斐) 七七〇〇	小谷原(大) 四一〇〇
北方原野(後) 七七〇〇	地藏原(後) 三九〇〇
鶴見野(後) 五四〇〇	日出生野(後) 三七〇〇
中野原(上) 五〇〇〇	阿蘇野(後) 三五〇〇
牧ノ原(江) 一五〇〇〇	短臺谷地(前) 三六〇〇〇
三方ヶ原(江) 九三〇〇	日野原(斐) 三三〇〇
磐田ヶ原(江) 六九〇〇	中野原(後) 三〇〇〇
大野原(駿) 四六〇〇	那須野(下) 二六〇〇
	鹽野原(前) 一一〇〇
	武藏野原(武) 一七〇〇〇
	野邊山原(信) 一二〇〇
	鹽谷野(下) 一一〇〇
	淺尾原(斐) 二六〇〇
	赤城原(上) 二六〇〇
	上ノ臺(後) 二七〇〇
	波野原(肥) 二九〇〇
	遠笠野(伊) 三一〇〇
	久住野(後) 三二〇〇

(二五) 帝國の六大斜面と重要なる河川(里數は流路の長さを示す)。

(一) 海斜面

- (1) 十州……常呂川(三五) 湧別川(三〇) 紋別川() 網走川()
- (2) 南樺太……幌内川(八三) 留多加川(五五) 内淵川(四〇) 鈴谷川(二八)

(二) 日本海斜面

- (1) 本州……
 - 信濃川(九四) 最上川(五五) 江ノ川(五〇) 阿賀川(四二)
 - 御物川(三八) 庄川(三七) 由良川(三五) 能代川(三四)
 - 神通川(三二) 九頭龍川(二八) 黒部川(二五) 岩木川(二三)
 - 庄内川(二二)
- (2) 十州……石狩川(九二) 天鹽川(七七) 尻別川(三六)
- (3) 朝鮮……岡們江(九〇) 洛東江(七〇)

(三) 太平洋斜面

- (1) 本州……
 - 利根川(八二) 木曾川(七六) 北上川(六二) 天龍川(五四)
 - 阿武隈川(五〇) 荒川(武)(四五) 大井川(四四) 新宮川(四一)
 - 富士川(四二) 日高川(四〇) 相模川(三五) 紀ノ川(三三)
 - 多摩川(三二) 那珂川(三一) 鳴瀬川(三一) 矢作川(三〇)
 - 久慈川(二九) 宮川(二九) 馬淵川(二六) 有田川(二六)
 - 榊田川(二五)
- (2) 四國……吉野川(六〇) 渡川(四五) 那賀川(三六) 仁淀川(三三)

(四) 瀬戸内海斜面

- (1) 本州……
 - 旭川(三七) 吉井川(三四) 岩國川(三二) 太田川(三〇)
 - 高梁川(二八) 加古川(二三) 芦田川(二三) 千種川(二一)
 - 淀川(二〇)
- (2) 九州……大野川(二六)
- (3) 四國……肱川(二二)

(五) 東支那海斜面

- (1) 九州……筑後川(三五) 川内川(三二) 球磨川(二九) 緑川(二四)
- (2) 臺灣……淡水川 大肚川 下淡水川

(六) 黄海斜面……朝鮮

- 鴨綠江(一四〇) 大同江(七〇) 漢江(七〇) 錦江(七〇)
- 榮山江 清川江

(二六) 帝國の長流。

(二七) 流程五十里以上の河川。

- 鴨綠江(朝鮮) 信濃川(本州) 石狩川(十州) 豆満江(朝鮮) 幌内川(南樺太)
- 利根川(本州) 木曾川(同上) 大同江(朝鮮) 漢江(同上) 洛東江(同上)

北上川(本州六二) 吉野川(四國六〇) 最上川(本州五五) 留多加川(南樺太五五) 天龍川(同上四)

阿武隈川(同上五〇) 江ノ川(同上五〇)

(三八) 帝國の重要河川。

鴨綠江 信濃川 石狩川 利根川 木曾川 大同江 漢江
洛東江 北上川 吉野川 淀川 荒川(武) 筑後川 淡水川

(三九) 帝國の三急流。

富士川(甲斐駿河四一里) 球磨川(肥後二九) 最上川(羽前五五)

(三〇) 日本本部に於ける航路百里以上の河川。

利根川(三一七) 信濃川(一七八) 淀川(一六八) 北上川(一五三) 阿賀ノ川(一四九)
荒川(武二二六) 最上川(一一七) 木曾川(一一四)

(三一) 同百里以下五十里以上の河川。

石狩川(九二) 天龍川(九〇) 御物川(八五) 天鹽川(七七) 新宮川(七四)
吉野川(六〇) 紀ノ川(五八) 能代川(五八) 九頭龍川(五七) 庄川(五〇)
江ノ川(五〇)

(三二) 本州に於ける流域五百方里以上の河川。

利根川(二〇二) 信濃川(七九五) 北上川(六九五) 木曾川(五九〇) 淀川(五四五)
阿賀ノ川(五四一)

(三三) 五萬町歩以上の灌漑地を有する河川。

利根川(一一七六七七) 信濃川(七六二二) 淀川(七〇三二五) 最上川(五七三二六)
北上川(五六九〇〇) 木曾川(五二五七九)

(三四) 帝國に於ける著名なる運河。

貞山堀(陸前鹽釜より阿武隈川口に至る約八里半) 琵琶湖疏水運河(近江琵琶湖畔より山城京都市に通ずる約七里)
鴨川新運河(山城京都市より伏見に通ずる二里餘) 堀川(筑前遠賀川より洞海に通ずる約二里)

(三五) 帝國に於ける大湖の分布。

- (一) 本州(一〇)
 - 琵琶湖(周圍六〇里) 霞ヶ浦(三四) 濱名湖(二三) 八郎湖(二〇) 印旛沼(一八)
 - 猪苗代湖(一六) 十和田湖(一六) 中海湖(一六) 安道湖(一二) 小河原沼(一二)
- (二) 十州(五)
 - 猿瀨湖(二三) 風蓮湖(一七) 屈斜路湖(一二) 網走湖(一一) 支笏湖(一〇)
- (三) 南樺太(二)
 - 多來加湖(二三) 富内湖(二〇)
- (三六) 帝國に於ける周圍十里以上の湖沼。
 - 琵琶湖(六〇) 霞ヶ浦(三四) 濱名湖(二三) 猿瀨湖(二三) 多來加湖(二三)

八郎湖(二〇) 富内湖(二〇) 印旛沼(一八) 風蓮湖(一七) 猪苗代湖(一六)

十和田湖(一六) 中海湖(一六) 屈斜路湖(一二) 宍道湖(一二) 小河原沼(一一)

網走湖(一一) 支笏湖(一〇)

(三七) 帝國に於ける面積五十方秆以上の湖沼。

琵琶湖(六八六) 八郎湖(二八六) 霞ヶ浦(一八七) 猿湖(一五二) 猪苗代湖(一〇八)

小河原沼(一〇七) 北 浦(九八) 屈斜路湖(八七) 宍道湖(八四) 十和田湖(七八)

支笏湖(七六) 洞爺湖(七五) 濱名湖(六六) 能取湖(五九) 風蓮湖(五三)

(三八) 帝國の著名なる高地湖。

中禪寺湖(海拔四四二〇尺) 諏訪湖(二五七四尺) 蘆ノ湖(三三二〇尺)

猪苗代湖(一八〇〇尺) 十和田湖(一三二〇尺)

(三九) 帝國の著名なる淡水湖。

琵琶湖 印旛沼 猪苗代湖 十和田湖 屈斜路湖 支笏湖

(四〇) 帝國の著名なる鹹湖。

濱名湖 猿湖 八郎湖 中海湖 厚岸湖

(四一) 帝國の温泉。

(四二) 帝國の間歇泉。

我が國は、世界屈指の温泉國にして、その數無慮一千餘に上り、殊に名高きもの四百餘あり。その約三分の一は、硫黄泉なり。これ我が國は、世界屈指の火山國なればなり。これ等の温泉中、有馬の如く非火山地方に在るものあれども、その大部は、火山地方に在す。往々熱海の如く水の沸騰點以上の温度を有するものあり。熱海、鬼首登別、大屯山は、間歇泉を以て聞え、箱根、修善寺、草津、伊香保、鹽原、和倉、有馬、道後、別府、北投等は、靈泉を以て著はる。

(四三) 温泉及び間歇泉。

(1) 温泉……その所在地一ヶ年の平均温度よりも、尙ほ高温なる水を湧出する泉。

(2) 間歇泉……地熱の爲めに泉水の甚だしく熱せらるゝ際、汽化したるものゝ時を定めて、空中に高く噴騰するもの。

第四章 氣候と天産物

(一) 天氣及び氣候。

(1) 天氣……一定の場所に於て、一定の短き時間内の氣界の有様を總合せるもの

にして、東京に中央氣象臺を設け、各地方に測候所を置きて、日々これを觀測す。

(二) 氣候の差異を生ずる原因。

緯度の高低 土地の高低(高さ百米につき攝氏一度を増す) 水陸の分布 風の方向 山脈の位置 海流の走向 地質の構造 森林河川等の有無。

(三) 大陸的氣候(内地的气候)及び海洋的氣候(島嶼的气候)。

(1) 大陸的氣候……大陸の内部地方に於けるが如く、雨量少く、寒暑の差甚だ大なる氣候。

(2) 海洋的氣候……沿海地方或は島嶼に於けるが如く、海水の影響を受けて、雨量に富み、常に中和せる温度を有する氣候。

(四) 帝國の氣候。

(1) 氣温……我が國の大部は、北温帯の海洋中に位するを以て、海洋的氣候(朝鮮は大に屬し、氣候率ね温和なれども、地形南北に長く、緯度殆んど三十度の間に亘ると、アジア大陸を距る距離、山脈、海流、季候風等の關係によりて、各地氣候を異にす。樺太落合の一ヶ年平均温度攝氏〇度七を以て、帝國の最寒地とし、臺灣恒春の二十

四度五を以て、帝國の最暖地とすれども、大部の平均温度は十二度内外なり。

(2) 風向及び雨量……夏季には、南東風多くして、表日本の最多雨期をなし、冬季は、北西風多くして、裏日本の最多雨期をなす。梅雨期(六月十一二日頃より七月十一二日頃まで)には、雨多く、九月(二十廿日及び頃)の頃には、屢暴風雨あり。要するに帝國中雨量多き地は、琉球、臺灣地方にして、朝鮮の東北部に最も少し。

(五) 帝國各部の氣温。

我が國に於て一ヶ年平均二十度以上の氣温を有するは、臺灣、琉球地方とす。臺灣には晝夜温度の差大なれども、恒春(帝國の最暖地)の二十四度五を最暖とし、臺北の二十一度を最寒とす。九州、四國及び本州の沼津、駿河、安房地方は、率ね十五度内外を示す。朝鮮は、釜山地方の十三度を最暖とし、城津地方の八度を最寒とす。されども、年中寒暖の差及び晝夜温度の差、極めて大にして、大陸的氣候に屬し、冬季漢江以北の河水率ね氷結す。北海道にては、函館の七度九を最暖とし、沙那の四度を最低とす。樺太にては、真岡の三度を最暖とし、落合(帝國の最寒地)の〇度七を最寒とす。

(六) 帝國の雨量。

帝國の雨量は、梅雨期に最も多けれども、概して南日本に多くして、北日本及び朝鮮

に少し。また表日本は、夏季に多くして、裏日本は、冬季に多し。朝鮮を除き、帝國一ヶ年の平均雨量は、約千六百耗(世界の最多雨地たる英領)にして、琉球臺灣地方を帝國の最多雨地となす。朝鮮の平均雨量は、平均約九百八十耗にして、城津地方を帝國の最寡雨地となす。朝鮮にては、雨雪の日數、一ヶ年の三分の一を越ゆるは、元山地方あるのみにして、その他は、一ヶ年率ね百日内外に過ぎず。

(七) 帝國の多雨地方。

- (1) 南九州、琉球、臺灣地方(一ヶ年約三八〇) (2) 南四國地方(約二七〇)
 - (3) 加能越地方(約二五〇) 乃至二千耗
- 北越後殊に高田地方は、帝國第一の深雪地なり。

(八) 帝國の少雨地方。

- (1) 北朝鮮、城津、平壤地方(一ヶ年約五百) (2) 南樺太及び東十州地方(約七百)
- (3) 京城、仁川、木浦地方(約八九) (4) 信州地方(約九百)
- (5) 瀬戸内海地方(約一) 千耗

(九) 雨量と地勢との關係。

(1) 雨量は、沿海地に多く、内地に至るに従ひて減す。

(2) 雨量は、山脈の方向及び有無によりて増減す。

(3) 雨量は、風の方向及び種類によりて増減す。

(4) 雨量は、熱帶地方に多くして、寒帶地方には少し。

(一〇) 帝國の天産物。

帝國の各地に於ける氣候雨量地味等異なるが故に、生物の種類もまた頗る多し。南部には、榕樹、林投樹、檳榔樹、鳳梨、香蕉、椰子樹、水牛、信天翁、綠蟻、龜等の動植物あり。中部には、松、杉、牛、馬、鯉、鱈等の動植物あり。北部には、蝦夷松、琪楠樹、白楊、膾膾、獸海豹、臘虎、鯨等の動植物あり。朝鮮には、新羅松、明大魚、牛、驢、犬等の動植物に富む。

礦物の種類もまた多く、石炭(世界第八位)の産出額は、東洋第一と稱せられ、銅(世界第五位)、硫黃(世界第三位)、安質母尼(世界第三位)、金(世界第十位)、銀(世界第九位)、石油(世界第七位)の産また頗る多し。朝鮮は、砂金、鐵、無煙炭に富む。されども日本本部に鐵の産出少きを以て缺點とす。

第二編 地方誌

第一部 日本本部

第一章 關東地方

(甲) 總論

(一) 關東地方の地勢

北部及び西部には、率ね樺太山系に屬する阿武隈、越後、關東、房總の四山脈及び那須、富士の兩火脈ありて、山地をなし、東南部には、帝國最大の關東低原ありて、利根川(八二)等數多の河川これを潤ほし、灌溉運輸の便多し。

(二) 關東地方の山脈

- (1) 阿武隈山脈……………北東部……………八溝、筑波、山等。
- (2) 越後山脈……………北部……………清水峠等。
- (3) 關東山脈……………西部……………甲武信岳、大山等。
- (4) 房總山脈……………南東部、房總半島……………鹿野山、清澄山、鋸山等。

(5) 那須火山脈……………北部……………那須山、日光山、淺間山等。

(6) 富士火山脈……………南西部……………箱根山等。

(三) 關東地方の重要な河川

阪東太郎と稱せらるゝ關東の最大河、利根川(八二)は、流域千餘方里、灌溉の地域十一萬七千餘町歩を有し、その廣大なること帝國に冠たり。荒川(四五、下流)相模川(三五、馬入)多摩川(三三、下流)那珂川(三一)久慈川(二九)これに次ぎ、關東の六大川と稱せられ、みな太平洋斜面に注ぐ。

(四) 關東地方に於ける著名の湖沼

湖水には、火成湖にして高地湖たる中禪寺湖(海拔四千四百餘尺、周圍五里)蘆湖(尺周圍五百餘)等の外、率ね利根川の附近に存し、河跡湖或は海跡湖をなす。帝國第三の大湖霞ヶ浦(面積二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百)

(五) 關東地方の著るしき温泉

關東地方の温泉は、率ねみな火山地方に存在す。殊に相模の箱根十二湯(硫黄泉及最も著はれ、上野の伊香保(炭酸)草津(酸性硫)下野の鹽原(鹽類泉及)那須(酸性硫)湯本(硫黄)これに次ぐ。

(六) 關東地方の海岸

東部は概して屈曲少く、利根川の口に近く、犬吠岬あり。その北方を鹿島灘といひ、南を九十九里濱の沖といひ、共にその海岸は、帝國著名の沙丘地をなす。南部は、出入に富み、房總及び三浦の大半島ありて、東京灣(横濱開港(横須賀)相模灣を形成し、大東岬、野島崎、富津洲、本牧岬、觀音崎、三崎等あり。富津洲と觀音崎との間を浦賀海峡といひ、砲臺を設く。日本海流(黒潮暖流)は、南東海岸の近海を流る。

(七) 關東地方の交通

關東地方の交通系は、東京市及び横濱開港を二大中心として四通八達す。

(甲) 陸路

(1) 主要なる普通道路………東京市を中心とす。

東海道………南西方東海道諸國に向ふ。

千葉街道………東方千葉地方に向ふ。

甲州街道………西方甲斐地方に向ふ。

奥州街道………北東方奥州地方に向ふ。

中山道………北西方上信地方に向ふ。

濱街道………北東方常磐地方に向ふ。

(2) 主要なる鐵道

東海道本線(新橋—神戸) 横須賀線(大船—横須賀) 中央本線(昌平橋—甲府) (鹽尻—名古屋間)

川越鐵道(國分寺—川越) 青梅鐵道(立川—日向和田) 横濱鐵道(東神奈川—八王子)

東北本線(上野—青森) 高崎線(大宮—高崎) 山手線(赤羽—品川) (池袋—田端)

常磐線(日暮里—岩沼) 兩毛線(小山—高崎) 水戸線(小山—友部)

日光線(宇都宮—日光) 信越線(高崎—新潟) 總武線(兩國橋—銚子)

房總線(千葉—大原) 東金線(大網—東金) 東武鐵道(淺草—伊勢崎)

上武鐵道(熊谷—波久禮) 佐野鐵道(越名—葛生) 上野鐵道(高崎—下仁田)

龍崎鐵道(龍崎—佐貫) 成田鐵道(佐倉—成田) (我孫子—成田—佐原間) 水戸鐵道(水戸—太田)

(3) 主要なる電氣鐵道

東京電氣鐵道(主として市内) 横濱電氣鐵道(主として市内)

玉川電氣鐵道(澁谷—多摩川) 京濱電氣鐵道(品川—神奈川)

江ノ島電氣鐵道(藤澤—江島) 小田原電氣鐵道(國府津—湯本)

川越電氣鐵道(川越—大宮) 伊香保電氣鐵道(伊香保—澁川)

高崎電氣鐵道(高崎—澁川) 前橋電氣鐵道(前橋—澁川)

(4) 小田原熱海の間には、輕便鐵道の設あり。

(乙) 水路………横濱開港を中心とす。

(1) 日本郵船會社。

歐洲線(橫濱—アンベルス)

濠洲線(橫濱—メルボルン)

香港シアトル線(橫濱經由)

橫濱上海線

橫濱北清線(橫濱—牛莊)

橫濱大連線

橫濱小笠原線(橫濱—硫黃島)

神戸小樽東廻線(橫濱經由)

(2) 大阪商船會社。

橫濱打狗線

橫濱大連線

(3) 東洋汽船會社。

南米線(香港—バルパライソ)

香桑線(香港—桑港)

(4) その他東京灣汽船會社、内國通運會社等の近海航路及び利根川、隅田川、霞ヶ浦、北浦等の河湖航路の諸線あり。

(八) 關東地方に於ける主要なる海底電線。

東京より横濱の東田島村、小笠原島、グアム(Guam)島、ハワイを経て北アメリカ合衆國のサンフランシスコ(San Francisco 桑港)に通ずる海底電線あり。犬吠岬には、無線電信局の設あり。

(九) 關東地方に於ける主要なる燈臺所在地。

犬吠岬(總下)

野島崎(房安)

富津洲(總上)

本牧岬(武藏)

觀音崎(相模)

三崎(同上)

(一〇) 關東地方の氣候。

房總及び三浦半島地方は、氣候溫暖にして、九州地方と略同温度の地あり。北部山地は、稍寒冷を覺ゆ。雨量は、適度にして、農産豐なり。

(一一) 關東地方の重要農産物。

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 米……………千葉(百萬石以上)、埼玉、茨城。 | 蒟蒻芋……………茨城 |
| 麥……………埼玉(第一國)、茨城(第二) | 甘藷……………埼玉、茨城 |
| 大豆……………茨城(日本第一)、埼玉(同第二) | 落花生……………千葉 |
| 大麻……………栃木(第一國) | 干瓢……………栃木 |
| 煙草……………茨城(第一國)、栃木(第二國)、神奈川 | 茶……………埼玉、茨城 |

(一二) 關東地方の養蠶地方。

群馬、埼玉の兩縣最も盛にして、繭生絲等の産額頗る多く、前者は、長野縣に次ぎて、帝國第二を占め、後者は、第四位に在り。栃木縣、東京府これに次ぐ。

(一三) 關東地方の重要鑛業地。

銅……………朽木(秋田縣に次ぎ、日本本部第二)茨城
石炭、金、寒水石、花崗石……………茨城

硫黃……………群馬朽木

(二四) 關東地方の重要水産物。

關東地方の中、水産業最も盛なるは、千葉縣にして、北海道及び朝鮮に次ぎ、日本本部第一たり。茨城縣、東京府、神奈川縣これに次ぐ。

鮪……………千葉(日本本部第一)、茨城
鮪、鰹……………千葉
鰹、鯨魚……………千葉
鰹及び鯨節……………千葉、茨城
鹽……………千葉
鮑……………千葉
柔魚、鯛……………神奈川
海苔……………東京(帝國第一)

(二五) 關東地方の織物業地。

群馬(帝國第四)、朽木(同第六)、埼玉(同第七)、東京(同第十)の四府縣最も著はれ、諸種の織物製造業盛なり。桐生、足利、八王子、伊勢崎、秩父、大宮、高崎、所澤、飯能、川越、結城、八丈島等を著名の機業地となす。

(二六) 關東地方に於ける醤油及び酒の産地。

醤油の醸造は、千葉縣(帝國第一)に最も盛にして、野田、銚子、佐原をその主産地とす。茨城縣

の土浦等これに次ぐ。酒の主産地は、茨城縣の石岡、千葉縣の佐原等なり。

(二七) 關東地方の區劃。

(二八) 關東地方の府縣廳所在地。

關東即ち關八州は、東海道の東部六國(相模、武藏、安房、上總、下總、常陸)及び東山道中部の二國(上野、下野)即ち兩毛地方の稱にして、これを一府(東京)六縣に分つ。

府縣名	管轄	面積	一方里の人口	府縣廳所在地
東京	武藏の一部、伊豆七島、小笠原群島、硫黃島	一三八 <small>方里</small>	二、二一〇五	東京市
神奈川	武藏の一部、相模	一五〇	七八三三	横浜市
埼玉	武藏の大部	二四九	五二五六	浦和市
千葉	上總の大部、下總の大部	三三五	四一七五	千葉町
茨城	下總の一部、常陸	三九八	三二六二	水戸市
群馬	上野	三九四	三四三五	前橋市
朽木	下野	四二六	二二九三	宇都宮市

(二九) 關東地方の市制地。

- (1) 東京(二八、六)
- (2) 横濱(三九、四)
- (3) 横須賀(七、〇)
- (4) 宇都宮(四、七)

(5) 前橋(四、五)

(6) 高崎(三、九)

(7) 水戸(三、八)

(三〇) 關東地方に於ける人口五萬以上の都會

(1) 東京市(二一八、六)

(2) 横濱市(三九、四)

(3) 横須賀市(七、〇)

(三一) 關東地方に於ける外國領事館所在地

東京(七)

イタリア

スウェーデン

ノルウェー

ブラジル

チレ

アルヘンチナ

清

オランダ

ギリシア

イギリス

ロシア

スウイス

フランス

ポルトガル

ドイツ

イスパニア

横濱(一九)

ベルギー

デンマーク

ノルウェー

イヌバニア

オーストリア

ペルー

ブラジル

チレ

アルヘンチナ

北米合衆國

メキシコ

清

(乙) 各論

○東京府

(一) 東京府の地勢海岸

西部には關東山脈(山雲取)連りて、土地高きも、その他は帝國無双の關東低原に屬して、

荒川(四五)の下流隅田川及び東京水道の供給川たる多摩川(三二)これを潤はして、東京灣に注ぐ。遙か南西の太平洋中には、富士火山脈に屬する豆南七島(七)硫黄諸島と小笠原群島(三)とあり。

(二) 豆南七島(伊豆七島)

豆南七島(伊豆七島)は、伊豆半島の南方に羅列する大島、利島、新島、三宅島、神津島、御倉島、八丈島の七島をいひ、富士火山脈に屬する火山列島なり。最大島大島には活火山三原山、七島中の最良港、波浮港(火口)ありて、椿油、島節の産あり。極南の八丈島には、飯釜(八丈)ありて八丈絹を産し、大島と共に島廳あり。八丈島と御倉島との間は、黒潮の流、明にして、黒瀬川の名あり。

(三) 小笠原群島

小笠原群島(三)は、豆南七島の南に位し、東京市を距ること二百餘里、文祿二年(1593)小笠原貞頼の發見に係り、父島(大村に島)、母島、賀島の三群に分たれ、二見港(父)と横濱港との間、汽船の便あり。本群島は、氣候溫暖にして、臺灣の如く鳳梨、香蕉、椰子樹等の熱帶性植物生長し、信天翁等多く、近海よりは、海龜を産す。群島の南西に硫黄諸島、南東に南鳥島(明治三十五年八月破裂)ありて、共に富士火山脈に屬す。

(四) 東京府の重要産物及び産地。

東京府下は、工業最も盛にして、東京市及び八王子これが大中心たり。水産業これに次ぐ。

- (1) 工産……洋紙、書籍印刷物(以上東京市)、玻璃器、石鹼、工業用藥品、莫大小、草、煉瓦、人造肥料(以上東京市○大阪)、セメント、燐寸、紡績絲、麥酒(以上東京市)、織物(八王子)、生絲(八王子)、椿油(大)、(地方)
- (2) 水産……淺草海苔(大森地方帝國の約三)、島節(帝國第一)、(分の二を占め第一)
- (3) 鑛産……石灰(地方)、(地方)

(五) 東京市。

東京市(二一八、六)は、隅田川に跨りて、ロンドン(London)、ニューヨーク(New York)、パリ(Paris)に次げる世界第四の大都會なり。天正十八年(1590)徳川家康、太田道灌の故城に據りて、江戸幕府(1603—1867)を開きし以來、漸次盛大に赴きしが、明治元年東京と改稱し、翌年帝國の首府となれり。市を分ちて十五區(麹町、神田、日本橋、京橋、芝、麻布、赤坂、四谷)とし、地勢上、俗にこれを山手、下町の二部に分つ。この地は、政治文教の大中心なるを以て、宮城、内閣以下の諸省、國會議事堂、大審院、控訴院、師團司令部(近衛及)を始めとし、英、獨、佛、奧、伊、露

米の七大使館、その他條約國の公使館、日本銀行、日本郵船會社等あり。教育機關には、陸海軍の大學校、帝國大學、第一高等學校、高等師範、高等工業、高等商業等の諸學校あり。その他、皇室博物館、動物園、靖國神社(別格官幣社、維新の士を祭る)、日枝神社(官幣中社、祭神大山祇神)、増上寺(關東宗十八檀)、泉岳寺(曹洞宗)、淺草寺(天台宗)、護國寺(真言宗)、四大公園(上野、淺草、日比谷、芝)、向島(カハラ)の名勝あり。鐵道、電氣鐵道等四通八達し、交通自在を極む。書籍印刷物の刊行盛にして、玻璃器、石鹼、工業用藥品、莫大小、煉瓦、皮革、人造肥料、セメント、燐寸、紡績絲、麥酒等を産す。

(六) 東京府の工業地。

- (1) 東京市(二一八、六)……府の南東部に位す。隅田川に跨る日本帝國の首府にして、商工業の盛なること北日本第一たり。書籍出版業、印刷業の盛なること帝國無比にして、玻璃器、石鹼、工業用藥品、莫大小、煉瓦、皮革、人造肥料、セメント、燐寸、紡績絲、麥酒等を産す。
- (2) 八王子(二、七)……府の南西部に位する第二の都邑にして、中央本線鐵道に沿ひ、養蠶業盛なるが故に桑都の名あり。關東三大機業地(桐生、足利)の一にして、袴地、男帶地の産出多きこと帝國に冠たり。
- (3) 大森(一、三)……府の南西部、東京灣に面し、淺草海苔(帝國總産額の二)の産出極めて多し。

(4) 青梅……府の北西、青梅鐵道に沿へる郡邑にして、石灰の取引多し。青梅綿は、この地の名稱を附したるものなり。

(5) 八丈島……府の南西、太平洋中に在る養蠶業地にして、八丈絹を産す。

(七) 東京府の史蹟

(1) 東京市(二一八、六)……上野には、もと寛永寺(天台宗)ありし所、彰義隊の名と共に著はれ、關東淨土宗の總本山たる増上寺と共に徳川氏の靈廟あり。高輪の泉岳寺(曹洞宗)には、赤穂義士の墓あり。宮城は、もと太田道灌の居城にして、徳川幕府のありし所。櫻田門は、井伊直弼遭害の所なり。

(2) 池上本門寺……府の南西に在る關東日蓮宗の本山にして、日蓮入寂の地なり。

(3) 矢口渡の址……府の南西、新田神社(祭神、新田義興)附近に在り。新田義興が足利基氏の謀に陥りて死せし地なり。

(4) 國分寺……東京市の西部、川越鐵道と中央本線鐵道との接續地にして、もと武藏の國府ありし府中と相接し、國分寺あり。府中には、大國魂神社(官幣小社、祭神、武藏大國魂神)及び分倍原古戰場あり。

○ 神奈川縣

(一) 神奈川縣の地勢

北西部には、富士火山脈に屬する箱根山、關東山脈に屬する大山(雨降神あり)あり。箱根山上には、火口原湖たる蘆湖(海抜二三二〇尺の高地湖)あり。箱根十二湯その附近に散在す。馬入川(三、五)以東には、低原多く、三浦半島は、東京灣と相模灣とを分つ。

(二) 箱根

箱根山は、富士山火脈の死火山にして、駒ヶ岳の中央火山、金時山等の外輪山あり。その舊噴火口は、直徑約四里半にして、阿蘇山のそれと共に世界に著はる。火口原に在る高地湖を蘆湖(海抜二三二〇尺、周囲五里)といひ、その水流れて早川となる。湖邊に離宮、關址、箱根神社あり。地獄谷の硫汽孔、湯本、塔澤等の十二湯ありて、浴客常に絶えず。箱根舊街道に沿ひて、後北條氏五代の墓ある早雲寺あり。寄木細工、杉材を産し、國府津との間電車の便あり。

(三) 神奈川縣の重要産物及び産地

(1) 工産……絹、手巾(北部、帝國の二)、經、木、眞田(南西部小)、漆器(横濱、地方)、陶器(同)、寄木細工(湯、木)、麥酒(横濱)。

(2) 農産……煙草(秦野)、粟(關東、第二)、梅干(小田原、地方)、果實(川崎、附近)。

(3) 林産……杉材(箱根、地方)。

- (4) 鑛産……根府川石(部南四)。
- (5) 水産……鯛(三崎附近)、鹽辛(小田原地方)、海苔(川崎附近)。

(四) 神奈川縣の都邑。

- (1) 横濱市(三九四)……東京灣の西岸に位する帝國第四の都會、第一の開港場(五港)にして、本邦輸出額の過半を占め、生絲の輸出最も多し。近年附近の地より盛に輸出向の漆器、陶器、絹手巾、麥酒を産出す。縣廳、正金銀行、外國領事館、税關、内外汽船會社本支店等あり。
- (2) 横須賀市(七〇)……東京灣の南西岸横須賀支線鐵道の終點に位して、第一海軍鎮守府(軍港)、海軍工廠、海軍機關學校、大船渠あり。
- (3) 浦賀(一七)……浦賀海峽に臨み、造船業盛なり。嘉永六年(1853)ペルリ(Perry)の率ゐし米艦の來たりし地を以て著はれ、久里濱にその上陸紀念碑あり。南西の三崎には、臨海實驗所の設あり。
- (4) 鎌倉(一〇)……三浦半島の頸部に位する關東屈指の勝地にして、昔時武家政治、關東文學の大中心たりし所なり。鶴ヶ岡八幡宮(國幣神社祭)、鎌倉宮(官幣神社祭)、建長寺、圓覺寺(共に鎌倉五山の禪宗)、長谷の大佛、幕府の址及び北條氏の邸址等あり。金澤の

稱名寺(真言宗、金澤文庫ありし所)、稻村ヶ崎、七里濱、龍口寺(日蓮宗)、江ノ島等に程近し。

- (5) 小田原(一九)……縣の南西、屢海嘯を生ずる相模灣に面す。後北條氏の據りし所に於て、梅干、鹽辛を産し、二宮神社(二宮尊徳を祭る)あり。國府津、湯本との間に電氣鐵道、熱海との間に經便鐵道あり。

(五) 神奈川縣の勝地。

- 川崎(平間寺は世に川崎の大師と稱せらる)、鎌倉(海水浴あり)、金澤(八景の勝地にありて、杉田梅林に近し)、逗子及び葉山(海水浴あり)、鶴沼及び大磯(同上)、箱根(温泉あり)、大山(大山祇神を祭る雨降神社ありて、夏日登山者多し)。

(六) 神奈川縣の史蹟。

- (1) 鎌倉、金澤、浦賀、小田原、箱根(説明前に在り)。
- (2) 藤澤……時宗の本山清淨光寺(俗に遊行寺)あり。鎌倉、江ノ島と電車の便あり。附近の平塚に英國アームストロング會社の火藥製造所あり。
- (3) 石垣山……小田原の南西に在り。豊臣秀吉の後北條氏を攻めし時陣せし所なり。
- (4) 石橋山……小田原の南西に在りて、源頼朝の大庭景親等と戦ひし所なり。

○ 千葉縣

(一) 千葉縣の海岸。

(七) 千葉縣下の著名の史蹟

- (1) 國府臺……縣の西、江戸川(利根川)の畔に在り。もと下總の國府のありし所にして、里見義弘と後北條氏康氏綱との交戦地なり。今、野戰砲兵旅團をここに置く。
- (2) 曾我野……千葉町の南に在り。昔時足利義明の小弓御所ありし所なり。
- (3) 白濱……安房の南端に位し、里見氏の興りし所なり。附近に安房神社(官幣大社、命玉あり)あり。
- (4) 小湊……安房の東北部に在り。日蓮の生れし誕生寺あり。

○埼玉縣

(一) 埼玉縣の地勢

西部は秩父山地(元明天皇の時銅を産出せし所、地質學研)にして、關東山脈の甲武信岳、武甲山、三峯山(三峯神社あり)等あり。荒川(下流は隅田川)これより出で、利根川等と共に東部の低原(關東低原)を潤ほす。

(二) 埼玉縣の重要産物及び産地

- (1) 工業……織物(川越、所澤、飯能、秩父地方の絹織、東北部)生絲(川越、秩父地方)鐵器(川口)煉瓦(京大、阪大)

- (2) 農産……小麦(中部、日本)大豆(同上、朝鮮、北海道)米(東部)甘藷(川越)
- (3) 林産……木材及び木炭(秩父地方)

(三) 埼玉縣の都邑

- (1) 浦和(〇、九)……縣の南部、縣廳所在地にして、木綿産地の中心なり。
- (2) 大宮(一、三)……縣の南部、東北本線と高崎線鐵道の接續地にして、鐵道院大工場、氷川神社(官幣大社、祭神)あり。秩父の大宮は、秩父絹、眞綿の集散多し。
- (3) 川越(二、六)……縣の南部、工業及び農業地の中心にして、縣下第一の商業地なり。川越絹、二子織、茶甘藷の取引多く、縣下の巨刹喜多院(天台)あり。この地と大宮との間に電氣鐵道を通す。
- (4) 熊谷(一、七)……縣の北部、本莊(一、〇)と共に生絲、繭の集散地なり。また熊谷は、上武鐵道の起點、櫻の名所として著はれ、熊谷寺(熊谷直實の墓あり)あり。その南西、吉見に百穴あり。古代土人の遺跡とす。

(四) 埼玉縣下の重要鐵道

- 東北本線(上野—青森) 高崎線(大宮—高崎) 東武鐵道(淺草—伊勢崎)
- 上武鐵道(熊谷—波久禮) 川越鐵道(國分寺—川越、川越大宮間には電車を通す)

○群馬縣

(一) 群馬縣の地勢。

東南一部分の關東低原に屬する外は、幸ね山地にして、那須火山脈連り、上野三山赤城、榛名、妙義は、風景絶佳を以て著はれ、伊香保(伊香保)、炭酸泉、草津(酸性硫黄泉)等の温泉多し。妙義山の西北、信濃との界に日本武尊の事蹟とアプト式鐵道(二十六哩)の設あるとを以て名高き碓氷峠あり。利根川(八二の支流には吾妻川、渡良瀬川等あり)。

(二) 群馬縣の重要産物及び産地。

群馬縣は、關東第一の機業地にして、栃木縣、埼玉縣、東京府と共に、織物生絲の産出多し。

(1) 工産……絹織物(桐生、伊勢崎、高崎、中野、産額帝國第四)、生絲(富岡、高崎、前橋、桐生、伊勢崎、群馬地方、帝國第二)、モスリン織(館林、赤城塗(前橋)地方)。

(2) 農産……繭(帝國、煙草(沼田)、麥(東南)地方)。

(3) 鐵産……黒鉛及び硫黄(共に西)。

(三) 群馬縣の都邑。

(四) 群馬縣の商工業地。

(1) 桐生……縣の南東部、渡良瀬川の畔に位する北日本第一の機業地にして、羽二重、

絹子、紅梅織、紹織の産出 。

(2) 伊勢崎……縣の南部、銘仙の本場にして、生絲、繭の取引多く、兩毛線及び東武鐵道の接續地たり。その東方太田附近には新田、徳川兩氏に關する古蹟多し。就中、太田の大光院(後重山、新田、寺俗に太田の香龍と)金龍寺(新田、眞良、高山神社(山正之)その名遠近に高し)。

(3) 前橋市(四、五)……縣の南部、利根川の畔に在り。縣廳所在地、生絲、繭の集散地にして、兩毛線鐵道の便あり。また伊香保に電氣鐵道を通す。

(4) 高崎市(三、九)……縣の南部、高崎線、兩毛線、信越線、上野鐵道の集合點に當たり、交通の大中心たるのみならず、生絲、繭、絹織の集散盛なり。

(5) 富岡(一、〇)……縣の南西部、上野鐵道に沿へる帝國屈指の製絲業地にして、附近に上野三古碑の一たる多胡碑あり。

(6) 館林(一、〇)……縣の南東部、モスリン織を産し、足利と共に關東屈指の躑躅の勝地なり。

(五) 群馬縣の史蹟。

(1) 多胡碑……縣の南西、富岡の東に在り。下野の國造碑、陸前の多賀城碑と共に帝國

の三古碑と稱せらる。

(2) 白井城址……高崎市の北、利根川の流域に在り。白井長尾氏の城居せし所なり。

(3) 碓氷峠……縣の西境に在り。日本武尊の事蹟を以て著はる。

(4) 徳川卿……縣の東南部、利根川の畔に在り。世良田徳川氏の城居せし所なり。附近に新田氏一族に關する古蹟多し。

(六) 群馬縣の著名なる温泉地。

伊香保 草津 四萬 碓部

〇 栃木縣

(一) 栃木縣の地勢。

北及び西部は、山地にして、那須火山脈に屬する活火山たる那須山、死火山男體山、白根山(山麓に硫黄泉あり)等あり。那須火山の附近には、那須の七湯(酸性硫黄泉)、鹽原(硫黄泉あり)、横谷(紅葉の勝地)の温泉、殺生石等あり。その南方の廣大なる低原を那須野ヶ原(日本三古碑の一なり)といふ。三島氏の開墾と共に名高し。男體山等所謂日光山地には、高地湖の中禪寺湖、中宮祠湖あり。その南西に庚申山の勝地ありて、帝國第一の銅山足尾と近し。鬼怒川、渡良瀬川(共に利根川の支流)の流域には、低原多し。

(二) 日光。

日光町(一〇)……は、縣の北西部、日光線鐵道の終點に在りて、大谷川の畔に日光東照宮(別格官幣社、祭神徳川家康)及び徳川家光の靈廟、大猷院、二荒山神社(國幣中社、祭神豐城入彦命)あり。東照宮の結構壯麗なること、帝國無比にして、内外人の來詣するもの常に絶えず。その西方に死火山男體山等ありて、白根山(硫黄泉、湯元温泉あり)と相接し、日光山地と稱せられ、景勝の地多し。男體山下の中禪寺湖(中宮祠湖とも、海抜四二〇尺、周圍五里)の高地湖あり。その水流れ、關東の壯瀑たる華嚴の瀧(直下七十五丈、幅四十八尺)となり、下流大谷川となる。大谷川の縦谷には、絶景多く、奇勝を以て著はる。庚申山、帝國第一の銅山足尾と程近し。

(三) 栃木縣の重要産物及び産地。

- (1) 鑛産……銅(帝國第一の銅山足尾、總産額は秋田縣に次ぎ帝國第二)、石材(佐野地方)。
- (2) 工産……織物(足利、栃木地方の絹、綿、麻織、群馬縣に次ぎ關東)、生絲(足利、栃木地方)、陶器(宇都宮)。
- (3) 農産……野州麻(鹿沼地方、帝國第一)、野州煙草(茂木、烏山地、帝國第三)、蕎麥(足利、栃木地方)、干瓢(宇都宮)。
- (4) 林産……薪炭(那須地方)。

(四) 栃木縣の都邑。

(1) 宇都宮市(四七)……縣の殆んど中部、鬼怒川の畔に在り。日光線及び東北本線兩鐵

道の分岐點に當たり、縣廳第十四師團司令部あり。寛政の三奇人の一士蒲生君平は、この地の人なり。附近より干瓢を産す。

(2) 足利(三、八)……縣の南西部。渡良瀬川の畔に在りて、絹及び綿織の産出多く、生絲繭の集散地なり。足利學校址、長林寺(足利長尾氏菩提所)、鑊阿寺(菩提所)等ありて、兩毛線及び東武鐵道の便あり。

(3) 佐野(一、二)……縣の南西部。佐野鐵道と兩毛線鐵道との交叉點に當たりて、附近に石材産地、唐澤山神社(別格別當社、祭あり)あり。

(4) 栃木(二、六)……縣の南部。繭及び麻の取引多く、附近の地より織物を産す。

(5) 小山……縣の南部。兩毛線、水戸線、東北線三鐵道の會合點にして、交通上の要地なり。

(6) 鹿沼(一、二)……縣の殆んど中部。野州麻の本場にして、日光と共に製麻工場あり。

(7) 足尾(二、八)……縣の西部。帝國第一の銅山あり。

(8) 日光(一、〇)……説明前に在り。

(五) 栃木縣下の鐵道

信越線(高崎—新潟)

高崎線(大宮—高崎)

上野鐵道(高崎—下仁田)

兩毛線(高崎—小山)

佐野鐵道(爲生—越名)

東北本線(上野—青森)

水戸線(小山—友部)

日光線(宇都宮—日光)

○茨城縣

(一) 茨城縣の地勢

阿武隈山脈の通する北部地方の外は、率ね低地にして、關東低原に屬し、帝國の最大河にして、運輸灌漑の便多き利根川(版東太郎と稱せられ、流程八二里、航路二一七里)を始めとし、那珂川(三、一)久慈川(二、九)等の河川あり。南東部には、海跡湖たる霞ヶ浦(周圍三四三、〇、面積一、北浦(周圍八九方、面積一、二、八、九〇尺)の上には、筑波神社、觀測所ありて、風景絶佳なり。

(二) 茨城縣の海岸

海岸は、屈曲に乏しく、北部に平潟、中部に久慈、湊町(一、三)の小港あり。助川、大洗(國幣前社)磯濱(一、三)には、海水浴場の設あり。南部鹿島灘の濱は、沙丘地を以て著はれ、鹿島神社(官幣大社、祭あり)あり。

(三) 茨城縣の重要産物及び産地

(1) 農産……大豆(西南部、日本)、小麥(久慈川地方、日)、煙草(眞壁、猿島地方、帝國第一)、蒟蒻芋(同上)

地方(帝)米(千葉縣に次ぎ關東第一)茶(那珂、茨城、栗(關東第一))

(2) 水産……鯉、鱈、鮭(共に鹿島灘、湊、平)、水戸節(湊町)

(3) 鑛産……金、銀、銅、石炭(共に東北)、花崗石(筑波山、寒水石(久慈川))

(4) 工産……織物(結城紬、下)、酒(國、醬油(浦))

(四) 茨城縣の都邑

(1) 水戸市(三、八)……縣の東部、那珂川の下流に沿ひ、河口に近き湊町(一、三)及び磯濱(一、

三)地方と汽船、汽車の便あるのみならず、常磐線(海岸線)太田鐵道の接合點に當たりて、運輸交通自在なり。徳川三家の一、水戸侯(徳川頼房始封約(三十五萬石)の舊城址、常磐公園(梅林を以て開ゆ)、弘道館址、常磐神社(別格官幣社、徳川)等ありて、水戸煙草を産し、藤

田東湖間宮林藏は、この地方の出なり。

(2) 結城(一、二)……縣の西北部、鬼怒川の畔に在り。もと結城、小山諸氏の據りし所にし、結城紬、結城木綿を産す。

(3) 太田……縣の北部、久慈川に沿ひ、太田鐵道の終點に當たりて、煙草、蒟蒻、芋、寒水石の集散多く、近傍の瑞龍山に水戸侯累代の墳塋あり。

(4) 石岡(一、三)……霞ヶ浦の西岸に位して、酒の産多し。

(5) 土浦(一、三)……霞ヶ浦の西岸に在る醬油の産地なり。

(五) 茨城縣下の史蹟

(1) 古河(一、三)……縣の南西部、利根川の畔に在り。新郷は、足利氏の古河御所ありし所なり。

(2) 岩井……縣の西南、利根川と鬼怒川との間に在り。守谷と共に平將門の據りし所なり。

(3) 關城址……縣の南部、大寶沼の北方、河内に北畠親房の據りし關城址あり。

(4) 小田……筑波山の南、小田氏累代城居せし所なり。

(5) 結城及び水戸……説明前に在り。

(6) 西山……太田の近傍に在りて、徳川光圀の退隱せし所なり。

(7) 勿來關址……縣の北東隅、平潟港の西に在り。白河關と共に奥羽地方の南關たりし所にして、源義家の故事を以て名高し。

(8) 鹿島……縣の南東部、北浦の東邊に在り。鹿島神宮(官幣大社、神武靈祖神)ありて、風景佳なり。

第二章 奥羽地方(東北地方)

(甲) 總論

(一) 奥羽地方の地勢

阿武隈川、北上川、馬淵川、岩木川、能代川、御物川、最上川の流域及び沿海地方の外は、率ね樺太山系に属する山地にして、東部には北上、阿武隈の兩山脈あり、西部には出羽山脈、岩木火山脈、鳥海火山脈、越後山脈、寒風火山脈、彌彦火山脈あり、中部に在りて、奥羽地方の分水嶺をなすものを奥羽分水嶺、那須火山脈(中央火山脈)といふ。この地方には、南北走する山脈多きを以て、所々に狭長なる低原(北上低原、阿武隈低原、能代低原、仙北低原)の如し、(會津盆地)をなし、河流の走向もまたこれに従ふ。

(二) 奥羽地方の山脈

- (1) 北上山脈……………東部……………姫神山、早池峯等。
- (2) 阿武隈山脈……………東部……………靈山等。
- (3) 出羽山脈……………西部……………
- (4) 岩木火山脈……………西部……………岩木山、鳥海山、羽黒山、湯殿山、月山等。

(5) 越後山脈……………西部……………朝日岳、飯豊山等。

(6) 寒風火山脈……………西部……………寒風山等。

(7) 奥羽分水嶺……………中部……………

(8) 那須火山脈……………中部……………恐山、八甲田山、岩手山、藏王山、吾妻山、磐梯山等。

(三) 奥羽地方に於ける重要な河川

- (1) 太平洋斜面……………北上川(六二) 阿武隈川(五〇) 鳴瀬川(三二) 馬淵川(二六)
- (2) 日本海斜面……………最上川(五五) 阿賀川(四二) 御物川(三八) 能代川(三四)

就中北上川(流域六九五方里、灌漑地五萬六千町歩)、最上川(流域四八〇方里、灌漑地五萬七千町歩)、阿武隈川(流域三萬五千町歩)を奥羽の三大河といふ。最上川は、日本三急流の一なり。

(四) 奥羽地方に於ける著名なる湖沼

八郎湖(面積二八六方里、猪苗代湖(面積一〇八)、小河原沼(面積一〇七)、十和田湖(面積一七六)の四大湖ありて、率ね火成湖に属す。猪苗代湖(海抜一〇尺)、十和田湖(同二〇尺)は、高地湖にして、八郎湖は、帝國第二、猪苗代湖は、第五、小河原沼は、第六の大湖なり。

(五) 奥羽地方の著るしき低原

北上低原、阿武隈低原、津輕低原(岩木川の流域)、仙北低原(御物川の流域)、庄内低原(最上川の流域)、能代低原、馬淵低原の七大低原ありて、農業、牧畜業、養蠶業盛なり。

(六) 奥羽地方の著るしき温泉

- 東山(岩代類泉) 飯阪(同上類泉) 遠刈田(磐城類泉) 鬼首(陸前類泉) 鉛(陸中類泉)
- 浅蟲(陸奥類泉) 湯田(陸奥類泉) 上ノ山(羽前類泉) 湯温海(同上類泉) 黒湯(羽後類泉)

(七) 奥羽地方の海岸

東西北の三面は、海に臨み、太平洋面には、牡鹿半島斗出して、仙臺灣、石ノ巻灣を擁す。灣中松島(日本の三)の絶景あり。本州と十州との間に在る津輕海峡面には、斗南下北及び津輕の兩半島斗出して、陸奥灣を包む。その口を平館海峡といふ。灣の南部に夏泊岬ありて野邊地灣と青森灣とを分つ。青森(開港)及び大湊(海軍要港)の良港あり。日本海面は、屈曲少く、島嶼なければども男鹿半島及び八郎湖には、絶景あり。太平洋岸の閉伊崎は、本州の東極にして、津輕海峡面の大間岬は、本州の北極なり。

太平洋面の金華山附近に於て、千島寒流親潮は、日本暖流黒潮と會合して消滅す。日本海面には、對馬暖流あり。津輕海峡には、その支派と千島寒流と相會合するを以て、往々海霧を生ず。

(八) 奥羽地方の交通

(甲) 陸路

主要なる普通道路及び鐵道は、率ね山脈と相並びて南北走す。

(1) 主要なる普通道路

東部には、奥羽街道及び濱街道あり。西部には、奥羽街道あり。

(2) 主要なる鐵道

- 東北本線(上野—青森) 鹽釜線(岩切—鹽釜) 八戸線(尻内—湊)
 - 常磐線(日暮里—岩沼) 岩越線(郡山—喜多方) 奥羽本線(福島—秋田—青森間)
 - 能代線(機織—能代)
- 大館、小坂間には、小坂鐵道、福島地方には、輕便鐵道の設あり。

(乙) 水路

日本郵船會社の神戸小樽東廻線の汽船は、荻ノ濱陸前に寄港し、青森室蘭線の汽船は、本州と十州とを連絡し、大阪商船會社のウラヂポストク廻航線の汽船は、青森に寄港す。日本西廻汽船は、酒田、土崎港、船川港能代港等に寄港す。北上川には、小汽船の便あり。

(九) 奥羽地方に於ける主要なる海底電線及び燈臺

(1) 海底電線……津輕半島及び斗南半島より渡島に通ず。

(2) 燈臺……尻屋崎(陸奥) 金華山(陸前) 鹽屋崎(磐城)

(一〇) 奥羽地方の氣候

金華山島以北の太平洋には、千島寒流あり。以南には、日本暖流あり。日本海には、對馬暖流の流るゝあり。これが爲めに奥羽地方の北部は、東面に寒くして、西面に暖く、雨雪は、西面に多し。

(一一) 奥羽地方の主要なる蠶業地

奥羽地方第一の養蠶業地は、福島縣とし、製絲戸數三萬餘戸ありて、繭約二十餘萬石、生絲十餘萬貫を産し、帝國五大蠶業地の一なり。山形縣の二萬七千餘戸これに次ぎ、爾十餘萬石、生絲十餘萬貫を産す。また福島縣は、蠶卵紙の産出極めて多し。

(一二) 奥羽地方の主要なる織物産地

奥羽地方に於て、一ヶ年百萬圓以上の織物を産するは、福島縣及び山形縣にして、四百餘萬圓の産額あり。織物の種類は、絹織を主とす。

川俣(岩) 二本松(上) 小高(磐) 仙臺市(陸前) 盛岡市(陸中) 弘前市(陸奥) 秋田市(羽後)

新莊(羽前) 米澤市(上) 鶴岡(上)

(一三) 奥羽地方の主要なる工業地

福島縣……若松市(織漆器) 川俣(生絹織) 小高(上) 二本松(上) 郡山(生絲)

中村(器陶) 本郷(器陶) 福島(織絹) 飯野(上)

宮城縣……仙臺市(埋木絹織工) 白石(布紙) 金山(生絲)

岩手縣……盛岡市(織鐵器) 千厩(生絲) 水澤(網漁)

青森縣……弘前市(工漆器、織細)

秋田縣……秋田市(生絹織) 能代港(漆器) 大館(上) 横手(生絲)

山形縣……米澤市(金織器、生絹織) 新莊(生絹織) 鶴岡(上)

(一四) 奥羽地方の主要なる鑛山

(1) 石炭……福島縣に最も多くして、日本本部の第二に位し、平附近に入山、内郷、好間等の炭坑あり(餘萬噸)。

(2) 銅……秋田縣は、帝國第一の産地にして、日本本部總産額の約三分の一を産す。

福島縣これに次ぐ。

重要なる銅山には、小阪(秋田縣) 尾去澤(上) 加納(福島縣) 阿仁(秋田縣) 荒川(上) 松岡(上) 院内(上)

等あり。

(3) 銀……秋田縣は、帝國第一の銀産地にして、總額の約三分の二を占め、樺、小阪、日三市、阿仁、松岡、尾去澤、院内等よりこれを産す。福島縣これに次ぎ、半田、加納は、その産地なり。

(4) 金……秋田縣は、日本本部の第四位を占め、小阪、松岡は、その主産地なり。福島縣の加納、半田、岩手縣の鷹巣等これに次ぐ。

(5) 硫黄……福島縣は、北海道に次ぎ、帝國第二にして、北部の沼尻より産す。岩手縣(帝國第六)これに次ぐ。

(6) 鐵……岩手縣は、日本本部第一にして、その六分の五を産し、釜石、仙人の鑛山あり。

(7) 鉛……秋田縣は、岐阜縣に次ぎ、帝國の第二位を占め、その八分の一を産す。小阪、太良は、その主産地なり。

(8) 滿俺マンガン……青森縣は、北海道に次ぎ、帝國第二。深浦、岩崎よりこれを産す。

(9) アスファルト……秋田縣は、帝國第一。北部地方よりこれを産す。

(一五) 奥羽地方の馬の主産地。

奥羽地方は、北海道及び南九州と共に帝國の三大牧馬地にして、馬の産出多し。殊に

岩手縣(西北部の中山地方)、福島縣(三春、白河地方)は、各約八萬頭を算すべし。青森縣の五戸、七戸地方、秋田縣の能代川流域もまた牧馬場を以て名高し。

(一六) 奥羽地方の區劃。

(一七) 奥羽地方の縣廳所在地。
奥羽地方は、古の陸奥(明治二年磐城、岩代、陸前、陸奥の五ヶ國に分つ)及び出羽(明治二年羽前、羽後、羽前、羽後の二國に分つ)の地にして、東山道北部の總稱なり。この地域は、關東の約二倍大の面積を有すれども、人口は、約その四分の一に過ぎざるが故に、我が國の中、南樺太、北海道に次ぎて、人口少き地方とす。行政上これを六縣に分つ。

縣名	管轄	面積	一方里の人口	縣廳所在地
福島	磐城の大部、岩代	八九五 <small>カ</small>	一三七九	福島市
宮城	陸前の大部、磐城の一部	四八三	一八四六	仙台市
岩手	陸中の大部、陸前及び陸奥の各一部	一〇三九	七四七	盛岡市
青森	陸奥の大部	六三六	一一三四	青森市
秋田	羽後の大部、陸中の一部	七三四	一一一五	秋田市
山形	羽後の一部、羽前	五九七	一五二九	山形市

(一八) 奥羽地方の市制地。

(一九) 奥羽地方に於ける人口五萬以上の都會。

- (1) 仙臺市(九七)
- (2) 青森市(四七)
- (3) 山形市(四二)
- (4) 若松市(三九)
- (5) 弘前市(三七)
- (6) 秋田市(三六)
- (7) 盛岡市(三六)
- (8) 米澤市(三五)
- (9) 福島市(三三)

(乙) 各論

○福島縣

(一) 福島縣の地勢及び海岸。

阿武隈山脈(靈山大瀧根山等)は、東部に那須火山脈(明治二十一年七月破裂せし磐梯山)は、中部に越後山脈(神樂岳等)は、西部に在り。かく三條の縦断山脈あるが故に、山地多く、會津(大産命、武侍川別命)は、遺跡低原の盆地を成す。磐梯山附近には、温泉多く、東山飯坂(類泉)殊に名高し。猪苗代湖(海抜一八〇尺、面積一〇一六里)の水は、日橋川(下流阿賀ノ川)となり、また湖水を郡山地方に引きて、灌漑に供す。阿武隈川(五〇)の河谷地(侵蝕低原)及び東海岸地方には、低地あり。

(二) 福島縣の重要産物及び産地。

- (1) 工産……生絲(阿武隈川下流地方の伊達本場)絹織(主に川俣、小高の羽二重、福井縣と共)陶器(本郷の相馬燒)會津塗(松若)會津蠟燭(上)。
- (2) 農牧産……繭及び蠶卵紙(野縣と共に名高し)馬(三春、白河地方)煙草(須賀)會津米(會津地方)馬鈴薯(中)。
- (3) 鑛産……銀(加納)銅(上)金(上)硫黃(北部沼尻地)石炭(磐城炭平)。
- (4) 林産……會津炭(會津地方)杉材(上)。

(三) 福島縣の都邑。

(1) 福島市(三三)……縣の北部。阿武隈川の畔に在る縣廳所在地。東北本線及び奥羽本線兩鐵道の接續地にして、織物、生絲、繭、蠶卵紙の集散多し。附近に信夫文字摺石あり。北東の靈山には、靈山神社(別格官幣社、北島)あり。

(2) 若松市(三九)……岩越線鐵道に沿ひ、米産多き會津盆地の中心に位せる縣下第一の名邑にして、會津燒、會津塗、會津蠟燭、會津米の取引多し。飯盛山に白虎隊の墓あり。東山温泉に程近し。

(3) 川俣……縣の北部。福井市と共に羽二重の産出を以て名高し。

(4) 郡山(一八)……二本松と共に東北本線鐵道に沿へる名邑にして、生絲の産多し。

(5) 須賀川(一四)……白河(一四)と共に東北本線鐵道に沿へる福島縣南部の名邑にして、前者は煙草の集散地、後者は三春と共に馬市を以て著はれ、松平樂翁の碑あり。附近に勿來の關と共に奥羽の南關たりし白河關の址あり。

(6) 平(一四)……縣の南東部海岸に在る磐城第一の名邑にして、石炭、水産物の取引多し。

○宮城縣

(一) 宮城縣の地勢

西部には、那須火山脈ありて、藏王山、刈田岳、舟形山これに屬し、附近に温泉多し。北西部には、中山牧場、鬼首間、欒泉あり。北上川(六二)鳴瀬川(三二)阿武隈川(五〇)の流域は、土地率ね低平にして、陸前米の産多く、北上運河、貞山堀(約八里)あり。

(二) 宮城縣の海岸

海岸は、奥羽地方中、屈曲に富み、牝鹿半島の前に金華山(花崗岩より成り、近海は千島の勝地を控え、左に女川灣、右に日本三景の一松島(第三紀凝灰岩より成り、海水を有する仙臺灣あり)。

(三) 宮城縣の重要産物及び産地

- (1) 工産……絹織(仙臺市の仙臺、埋木細工(仙臺市にて名取川産)生絲(北部の奥仙臺、北東南緯、金山は、味噌(仙臺)紙布(白縣下第一)
- (2) 水産……鮭及び鮭節(東海岸第一地方、海苔(氣仙、鮭川、北上、鯨(金華山沖)
- (3) 農牧産……仙臺米(主として、馬(地方、蘿蔔(仙臺第一、馬鈴薯(仙臺、北、上、低原)
- (4) 鑛産……鉛(部北西)、硫黃(部南西)、石炭(部北西)、銅(同上)、雄勝石(半島)

(四) 宮城縣の都邑

(1) 仙臺市(九七)……仙臺低原に位する奥羽第一の都會、東北地方の大藩たりし伊達氏(三萬六千)の舊城地にして、縣廳、第二師團司令部、控訴院、東北帝國大學、第二高等學校、高等工業學校、醫學專門學校、瑞鳳殿(伊達政宗)、林友直及び支倉常長の墓あり、仙臺平、八橋織、埋木細工は、その主産物にして、東方の宮城野に多賀城碑(日本三古)あり。西方廣瀬川の畔に大年寺(日本三聖)あり。

(2) 石巻(二九)……北上川の口に在る宮城縣第二の商業地にして、古來米の取引多く、陸中一ノ關地方と汽船の便あり。

(3) 荻ノ濱……牡鹿半島の西海岸に在る宮城縣第一の良港にして、神戸小樽東廻汽船の寄港地なり。附近の月浦は、支倉常長の歐洲渡航の際、出發せし所なり。

(4) 鹽釜……仙臺灣に臨める港にして、鹽釜線鐵道ここに終り、伊達政宗の開鑿せし貞山堀これより阿武隈の河口に通ず。この地に鹽釜神社(國幣神社、祭神武甕槌神)ありて、松島の絶景前面に横はる。

(5) 松島……仙臺灣に臨み、宮城縣第一の伽藍瑞巖寺(真言宗)ありて、伊達政宗の木像を安置す。前には、八百八島と稱せられ、日本三景の一たる松島の絶勝あり。

○岩手縣

(二) 岩手縣の地勢及び海岸

岩手縣は、我が國諸府縣中面積最も廣大なるも、人口は稀薄なり。東部に北上山脈(早池峯及び釜石鐵礦山あり)西部に那須火山脈(南部富士といへる岩手山、仙人鐵礦あり)あり。北上川六二は、史上に名高き厨川及び衣川の水を集め、兩山脈の間を南流し、河邊は自ら楔狀の低原を成す。その東部を、外南部といひ、西部を内南部といふ。

海岸は、屈曲少く、閉伊崎(本州の東極)宮古港、大船渡港等あるのみ。

(三) 岩手縣の重要産物及び産地

- (1) 工産……南部(織器、盛岡鐵器、同地、南部鐵瓶、南水澤網、水生絲、同)
- (2) 農産……南部(桐、部、林、檜、上、種、北、上、低、原、馬、鈴、薯、同、大豆、同、米、同、煙草、同)

(3) 鑛産……鐵(釜石、仙人、日本本部、第一、其六分の五を占む)、硫黃(岩手山)

(4) 水産……南部(鮭、川、鮎、近、東、海、岸)

(5) 畜産……南部(駒、山、地、方、中、南、部、牛、北、東、部、岩)

(四) 岩手縣の都邑

(1) 盛岡市(三、六)……北上川及び東北本線鐵道に沿ひ、縣廳、高等農林學校あり。南部織南部鐵器、南部駒、南部鮭、林檎の取引多く、附近に厨川柵址、安倍館址あり。

(2) 水澤……縣の南部、北上川の西に位し、臨時緯度觀測所あり。その公園は、魚網の産と共に東北地方に聞ゆ。高野長英は、この地の人なり。

(3) 一ノ關……縣の南部、鐵道及び汽船の便ありて、生絲、米の集散地なり。附近に平泉、衣川の古蹟あり。平泉は、藤原清衡、基衡、秀衡三代の據りし所にして、中尊寺(天台宗)の金色堂、判官館の址あり。衣川は、安倍賴時、貞任の據りし所なり。

○青森縣

(一) 青森縣の地勢

青森縣は、本州の最北端にして、中央部に那須火山脈、中央火山脈ありて、恐山(宇賀、八甲田山等これに屬し、高地湖たる十和田湖、面積七、八方、周、一三、〇〇尺)またこの脈中に在り。

西部に岩木火山脈(鳥海火山脈)ありて、津輕富士岩木山(國幣小社あり)これに屬し、共に本縣河川の分水界をなす、岩木川(二三)の流域は、津輕低原といひ、馬淵川(二六)及び小河原沼(面積一〇七方)の灌域も、また土地低平にして、三本木原の牧場あり。

(三) 青森縣の海岸。

北東部に斗出せる斧形の斗南半島(下北半島)には、北面に尻屋崎(近海暗礁海霧多)、大間岬(本州の北極)あり、南面に大湊(海軍要港)あり、北西部の津輕半島には、龍飛岬(その近海は中のなり)十三潟の出入あり、この兩半島は、津輕海峡を隔て、十州の渡島半島と相對し、海底電線の設あり、兩半島の包圍する陸奥灣の入口を平館海峡といひ、夏泊岬によりて野邊地灣(東部)青森灣(西部)の二灣に分たる。

(三) 青森縣の重要産物及び産地。

- (1) 工産……津輕塗(弘前市)、津輕織(同上)、蓼細工(弘前市)、蓼細工(南部)。
- (2) 農牧産……津輕米(津輕)、林檎(同上)、馬鈴薯(同上)。
- (3) 鑛産……滿俺(海西)、昆布(近海)、鮎(同上)、硫黃(中部)。
- (4) 水産……昆布(近海)、鮎(同上)、鮎(同上)。
- (5) 林産……杉、桧材、斗南半島。
- (6) 畜産……五七馬、三本木原。

(四) 青森縣の都邑。

- (1) 青森市(四、七)……青森灣に臨める奥羽第二の名邑、東北本線及び奥羽本線兩鐵道の接續地にして、函館、ウラチポスト、室蘭等との間に汽船の便あり、また開港場にして、縣廳あり、市民、水産物の鑑詰を製するもの多く、その東に淺蟲の溫泉(鹽類)あり。
- (2) 弘前市(三、七)……縣の南部、津輕低原に位する本縣南部第一の名邑にして、津輕塗、津輕織、蓼細工、蓼細工、津輕米、林檎の集散多く、第八師團司令部あり。
- (3) 八戸(二、六)……縣の南部、馬淵川に沿ひ、小南部の稱あり、八戸支線によりて、鮫湊に通ず、共に水産物の取引行はる。

○ 秋田縣

(一) 秋田縣の地勢及び海岸。

那須火山脈、岩木火山脈(國幣中社大物忌神社あり)連りて、山地多く、銅、銀、アスファルト(asphalt)の産出多きこと、及び生保内森林の廣大なること、帝國に冠たり、金、鉛、滿俺硫黃もまた頗る多く、帝國屈指の鑛業地とす、能代川(三四)御物川(三八)子吉川(二〇)の流域は、低原を

- (5) 本莊(一、〇)……縣の南西海岸に在る一邑にして、子吉川の流域、由利低原より牛を産す。その南方海岸にもと松島と共に奥羽地方の二名勝たりし象潟の址あり。
- (6) 小阪(一、四)……縣の北東部に位し、帝國屈指の銀銅鉛金の産地なり。

○山形縣

(一) 山形縣の地勢

那須火山脈(藏王、岩木火山脈、越後山脈(朝日岳、飯)等連りて、山地七分を占む。岩木火山脈(山脈海火)には、鳥海山(山脈火)の出羽宮土、國幣中社)の外、月山(山脈火)の官幣中社あり。湯殿山(山脈火)の國幣小社あり。羽黒山(山脈火)の國幣中社あり。所謂羽前三山ありて、附近に上ノ山温泉(山脈火)の湯温泉(山脈火)等の温泉散在す。日本三急流の一なる最上川(山脈火)の流域には、最上低原(山脈火)庄内低原(山脈火)あり。

(二) 山形縣の重要産物及び産地

- (1) 工産……絹織(山脈火)、米澤(山脈火)、生絲(山脈火)、金屬器(山脈火)、黒柿細工(山脈火)。
- (2) 農産……薄荷(山脈火)、薄荷(山脈火)、紅花(山脈火)、米(山脈火)。
- (三) 山形縣の都邑

(1) 山形市(四、二)……縣の東部、山形盆地に在り。舊名を最上または山方といひ、縣廳、千歳公園あり。米、薄荷、紅花の取引行はれ、銅鐵器、黒柿細工等を産す。附近に縣下の古

刹、立石寺(山脈火)及び上ノ山温泉(山脈火)あり。

(2) 米澤市(三、五)……縣の南東部、米澤盆地に在る養蠶製絲及び織物業の中心にして、秋田市、仙臺市、盛岡市、川股と共に奥羽の五大機業地と稱せられ、米澤絲織の名は、上杉鷹山公治憲の事蹟と共に聞ゆ。高等工業學校、上杉神社(山脈火)あり。

(3) 新莊(一、三)……縣の北東部、最上低原に位し、織物、蠟燭を産す。その東方に小國大工の稱ある向町あり。

(4) 酒田(二、三)……縣の西海岸、最上川の口に近き所に在る兩羽第一の商港にして、米の集散多く、これより最上川は、約三十里の間、舟楫の便あり。

(5) 鶴岡(二、一)……縣の南西部、舊名庄内、庄内低原に位する米の集散地にして、羽二重、花蠟燭を産す。その南西に念珠ヶ關の址あり。

第三章 中本州地方

(甲) 總論

- (一) 中本州地方の地勢
- (二) 本州中部高地

本州中部の地域たる中本州の内部は、率ね山地、高原にして、海岸及び太平洋及び日本海に注ぐ河域に低原あるのみ。富士火山脈は、樺太、日本崑崙兩山系の接合點に起りて、本州を横斷し、豆南七島に向ひて南走す。越後山脈は北より、那須火山脈は北東より、關東山脈は南東よりこゝに彙集す。富士火山脈の西に、飛驒山脈、御岳火山脈、立山火山脈、木曾山脈、赤石山脈の並行山脈(故にこの地方には、縦谷多し)ありて、中本州の脊骨をなす。西部地方には、寶達山脈、白山火山脈、中國山脈、鈴鹿山脈あり。要するに、甲斐、信濃地方には、海拔一萬尺以上の高峯多く、處々に盆地(甲府盆地、諏訪盆地の如し)、高原(濃飛高原の如し)ありて、本州中、土地最も高く、幅員最も廣し。これを本州中部高地といふ。河流は、日本海斜面の信濃川(流長九四七、流域七、六、里、流域五、九、〇、方)、これに次ぐ。また越後低原と濃尾低原とは、この地方屈指の大低原なり。

(三) 中本州地方の山脈。

- (1) 富士火山脈……東部……妙高山、焼山、八ヶ岳、富士山、天城山等。
- (2) 那須火山脈……東部……淺間山等。
- (3) 越後山脈……北東部……飯豊山等。
- (4) 關東山脈……南東部……甲武信岳、金峯山等。

- (5) 御岳火山脈……中部……立山、鈴ヶ岳、乗鞍ヶ岳、御岳等。
- (6) 木曾山脈……中部……駒ヶ岳、信濃、惠那山等。
- (7) 能登火山脈……北西部……寶立山等。
- (8) 寶達山脈……北西部……寶達山等。
- (9) 白山火山脈……西部……白山等。
- (10) 中國山脈……西部……三國山等。
- (11) 鈴鹿山脈……西部……伊吹山等。

要するに、中本州には、並行山脈多し。

(四) 中本州地方に於ける一萬尺以上の重要な山岳。

- 富士火山(一、三三八七) 赤石山(一、〇二二四) 白嶺(一、〇二二二)
- 鈴ヶ岳(一、〇二〇四) 御岳火山(一、〇二二八) 大逆華山(一、〇〇〇〇)

(五) 中本州地方に於ける重要な河川。

- (1) 太平洋斜面……木曾川(七六) 天龍川(五四)
- 富士川(四一) 矢作川(三〇)
- (2) 日本海斜面……信濃川(九四) 阿賀ノ川(四二)
- 神通川(三二) 九頭龍川(二八) 黒部川(三七)

就中信濃川は、本州第一の長流にして、流域七九五方里、灌漑地七萬六千餘町歩あり。木曾川(流域五九〇方里)、天龍川(流域一萬七千方里)と共に中本州地方の三大河と稱せらる。富士川は、日本三急流の一なり。

(六) 中本州地方の著名なる湖沼

太平洋岸の低地には、鹹湖に屬する濱名湖(面積二六六方里)あり。中部の諏訪盆地には、高地湖に屬する諏訪湖(海拔二五七四尺、周囲四里)あり。淡水湖にして、冬季氷滑を以て著はる。その他、富士山附近に富士の八湖あれども、規模みな小なり。

(七) 中本州地方の著るしき低原

日本海面には、越後低原、越中低原、加賀低原、越前低原あり。太平洋面には、濃尾低原、三河低原、遠江低原、富士川低原あり。殊に越後低原と濃尾低原とは、中本州地方の二大低原なり。

(八) 中本州地方の高原

飛騨信濃には、高原多く、信濃は、峻峯四繞して、率ね海拔四千尺以上の高地を成す。

(九) 中本州地方の著るしき盆地

山梨縣には、甲府盆地、郡内盆地あり。長野縣には、諏訪盆地あり。岐阜縣には、高山盆地あり。

あり。

(一〇) 中本州地方に於ける著るしき温泉

鹽山 <small>(甲斐類泉)</small>	熱海 <small>(伊豆類泉あり)</small>	伊豆山 <small>(同類泉)</small>	蓮臺寺 <small>(同上)</small>
土肥 <small>(同上)</small>	吉奈 <small>(同上類泉)</small>	修善寺 <small>(同類泉)</small>	志太 <small>(駿河類泉)</small>
淺間 <small>(信濃類泉)</small>	澁ノ湯 <small>(同上類泉あり)</small>	白骨 <small>(同類泉)</small>	上諏訪 <small>(同類泉)</small>
澁ノ湯 <small>(同上類泉)</small>	松ノ山 <small>(越後類泉)</small>	赤倉 <small>(越後類泉)</small>	瀬波 <small>(越後類泉あり)</small>
椋尾 <small>(越後類泉)</small>	小川 <small>(越中類泉)</small>	出枝原 <small>(同上類泉)</small>	和倉 <small>(能登類泉)</small>
粟津 <small>(加賀類泉)</small>	山代 <small>(同類泉)</small>	山中 <small>(同上)</small>	片山津 <small>(同上)</small>

(一一) 中本州地方の海岸

(1) 太平洋面……屈曲に富み、良港灣多し。東部には、伊豆半島(最南端の岬を)斗出して、遠江の御前崎との間に、帝國の近海中、最も深き駿河灣(深き所は約六六〇〇尺)を形成す。西部には、渥美半島(南西端を伊良)と知多半島(最南端を幡)との間に三河灣(西部を知多、東部を渥美と)あり。知多半島の西に伊勢海あり。遠州灘は、帝國中名高き險洋にして、日本海流これを通ず。

(2) 日本海面……比較的屈曲に乏し。中部には、能登半島(北東端の嶽剛岬、珠洲岬)斗出

して、七尾灣(北兩湖にたりて南)と富山灣(春夏の候、盛氣樓現)とを形勢し、遙に佐渡島と相對す。南西部には、敦賀灣(ツルガ)若狹灣(ワカサ)あり。對馬海流は、これ等海灣の沖を流る。

(二二) 中本州地方の交通

(甲) 陸路

主要なる普通道路及び鐵道は、率ね海岸及び河邊に在り。

(1) 主要なる普通道路

南部の海岸に近く東海道あり。中部に中山道あり。北部の海岸に近く、北陸街道あり。

(2) 主要なる鐵道

東海道本線(新橋—神戸) 伊豆鐵道(三島—大仁) 豊川鐵道(豊橋—長篠)

武豊線(大府—武豊) 關西本線(名古屋—奈良) 尾西鐵道(彌富—一ノ宮)

中央本線(昌平橋、甲府、鹽尻、名古屋) 篠ノ井線(鹽尻—篠ノ井) 信越線(高崎—新潟)

北陸本線(米原、金澤、泊間) 中越鐵道(伏木—城端) 七尾線(津幡—七尾)

小田原熱海間、静岡清水間、濱松地方、長岡地方には、輕便鐵道。藤澤江ノ島、鎌倉地方、三島沼津地方、瀬戸地方、關地方、名古屋地方、岩村地方には、電氣鐵道の設あり。

(乙) 水路

太平洋面には、大阪商船會社の大阪名古屋線、横濱打狗線、横濱大連線、米國線及び日本郵船會社の香港シアトル線、横濱北清線、横濱大連線等の汽船寄港するあり。日本海面には、大阪商船會社の浦鹽斯德廻航線、敦賀浦鹽斯德線及び日本西廻汽船會社の神戸小樽西廻線等の汽船寄港するあり。信濃川には、河上汽船の便あり。

(二三) 中本州地方の重要なる燈臺所在地

(1) 太平洋面……石廊崎(伊豆) 神子元島(同上) 御前崎(遠江)

(2) 日本海面……立石岬(越前) 綠剛岬(能登) 伏木(越中) 新潟(越後)

龍王崎(佐渡)

一四) 中本州地方に於ける重要なる海底電線

伊豆半島大島間 伊勢尾張間 越後佐渡間

(二五) 中本州地方の氣候

太平洋岸は、黒潮暖流の近く洗ふあるを以て氣候溫暖なり。殊に静岡縣の海岸を以て然りとす。日本海には、對馬暖流流るゝも、太平洋岸の如く暖ならず。季候風の爲めに

太平洋面には夏季雨量多く、日本海面には冬季雨量多し。加能越地方は、本州中の最多雨地を以て知られ、高田地方は、帝國第一の深雪地なり。また長野縣地方は、本州中の最乾燥地とす。

(一六) 中本州地方の著名なる工業地。

- 山梨縣……谷村(生絹織) 甲府市(生絹、水)
- 静岡縣……大宮紙類 静岡市(漆器、竹)
- 愛知縣……瀬戸(陶磁) 常滑(同上)
- 岐阜縣……岐阜市(生絹織) 多治見(陶磁)
- 長野縣……諏訪(生絹、天産地中心) 上田(生絹織)
- 新潟縣……小千谷(織物) 十日市(同上)
- 三條(金屬器) 相川(陶器)
- 富山縣……富山市(漆器、銅器) 高岡市(漆器、銅器)
- 石川縣……金澤市(織物、陶磁) 小松(織物)
- 山(同上) 七尾(酒)
- 濱松(漆器、樂器)
- 名古屋市(綿織、織物)
- 一ノ宮(生絹織物)
- 高山(漆器)
- 松本(生絹)
- 五泉(同上)
- 新潟市(漆器)
- 輪島(漆器)
- 大聖寺(同上)
- 城端(生絹織物)
- 生(同上産地) 小濱(漆器)

福井縣……福井市(織物、紙類)

(一七) 中本州に於ける水産業地。

富山縣及び福井縣は、日本海面に於て著はれ、静岡縣(日本第三)は、太平洋面に於て著はる。

(一八) 中本州地方に於ける著るしき米産地。

新潟縣(日本第一) 愛知縣 富山縣(以上百五十萬石)

(一九) 中本州地方に於ける著るしき蠶業地。

長野縣(第一) 愛知縣 岐阜縣

(二〇) 中本州地方著名の鑛産地。

(1) 銀……岐阜縣は、秋田縣に次げる大産地にして、神岡、平金、畑佐の鑛山あり。金北山(佐渡)、倉谷(加賀)、面谷(越前)の鑛山もまた著はる。

(2) 金……新潟縣は、鹿兒島縣、北海道に次ぎ、金北山(日本第一)よりこれを産す。富來(加賀) 倉谷(同上)の鑛山もまた著はる。

(3) 石油……新潟縣は、帝國第一の石油産地にして、長嶺、小口、東山、新津、尼瀬、浦瀬等の石油坑あり。

(4) 銅……石川縣に最も多くして、尾小屋、遊泉寺よりこれを産す。平金(飛)面谷(越)草倉(越)もまた著はる。

(5) 鉛……岐阜縣は、帝國第一の鉛産地にして、神岡よりこれを産す。

(6) 黒鉛……岐阜縣は、帝國第一の黒鉛産地にして、神岡よりこれを産す。

(7) 硫黄……長野縣に多くして、淺間火山地方よりこれを産す。

(三二) 中本州地方の區劃

(三三) 中本州地方の縣廳所在地

中本州地方は、東海道西部(甲斐、伊豆の大部、駿河、遠江、三河、尾張の六國)、東山道の南西部(飛騨、美濃、信濃)及び北陸道の全部(若狹、越前、加賀、能登、越中)十六ヶ國を含有す。これを九縣に分つ。

縣名	管轄	面積	一方里の人口	縣廳所在地
山梨	甲斐	二九七	一九二九	甲府市
静岡	伊豆の大部、駿河、遠江	四九五	二七七八	静岡市
愛知	三河、尾張	三一九	五九一二	名古屋市
岐阜	美濃、飛騨	七〇六	一四六一	岐阜市
長野	信濃	八七八	一五九六	長野市

縣名	管轄	面積	一方里の人口	縣廳所在地
新潟	越後、佐渡	八二七	二二〇一	新潟市
富山	越中	二五九	二九七四	富山市
石川	加賀、能登	二七二	二八六三	金澤市
福井	越前、若狹	二五七	二四五三	福井市

(三四) 中本州地方の市制地

(三五) 中本州地方に於ける人口五萬以上の都會

- (1) 名古屋(三七、八)
- (2) 金澤市(一一、〇)
- (3) 新潟市(六、二)
- (4) 富山市(五、七)
- (5) 静岡市(五、三)
- (6) 福井市(五、〇)
- (7) 甲府市(四、九)
- (8) 豊橋市(四、三)
- (9) 岐阜市(四、一)
- (10) 長野市(三、九)
- (11) 松本市(三、五)
- (12) 長岡市(三、五)
- (13) 高岡市(三、三)
- (14) 高田市(二、八)

(三五) 中本州地方に於ける開港場

- (1) 太平洋面……清 水(駿河) 武豊(尾張) 名古屋(同上)
- (2) 日本海面(五)……敦賀(越前、露國領事館あり) 七尾(能登) 伏木(越中) 新潟(越後) 夷(佐渡)

(乙) 各論

○山梨縣

(一) 山梨縣の地勢

(二) 甲府盆地

關東山脈に屬する甲武信岳、金峯山(産品の)富士火山脈に屬する八ヶ岳(甲斐駒の牧
 なられたる廣大)富士山、赤石山脈に屬する駒ヶ岳、白嶺、身延山(日蓮宗本山)七面山(同典の
 なる裾野あり)等四境を圍繞して、甲府盆地(水底の隆起せ)を有す。蓋し甲斐(峽)の國名起りし所以なり。
 笹ヶ峠(帝國最長の隧道)天目山(附近の泉徳院境内)以東は郡内と稱せられ、別に小盆地
 を成す。富士山の北面(登山の北口)には、山中、河口、西本栖、精進、四尾連の六湖(富士八湖)
 ありて、芙蓉峯と共に風景絶佳なり。桂川(馬入川)は、山中湖より發し、猿橋の峽谷に猿橋
 (日本三奇)の奇橋あり。東京電燈會社の水力發電所は、その附近に在り。西部には、日本三
 急流の一たる富士川(四一)あり。

(三) 富士川

富士川(四一)の上流を笛吹川、釜梨川、荒川といふ。笛吹川の畔に武田氏の菩提所惠林

寺あり。荒川の上流には御嶽の名勝あり。その昇仙峽附近は、關東の耶馬溪と稱せらる。
 富士川は、猷澤以下舟楫の便あり。早川の合流する所に、屏風岩の奇景ありて、水流速き
 こと矢の如し。岩淵駿河まで約十八里の間、約六時間に過ぎざれども、上りは二晝夜を
 要すべし。實に日本三急流の一なり。

(三) 富士山

富士山は、甲斐駿河の境に峙てる帝國第二の高山(複成)にして、高さ一、二、三、八、七、尺、頂
 上の中央に舊噴火口ありて、劍峯等の八峯(外輪)これを圍繞し、形恰も倒扇に似たり。頂
 上には、觀測所、淺間神社ありて、これより約五十六里の地平面、即ち十三州を望み得べ
 し。山腹には、寶永四年(1707)の破裂(延暦十九年の破)によりて、生じたる寄生火山、寶永山
 あり。北麓に風穴、西麓に人穴(岩隧道)あり。南麓の大斜面を富士の裾野といひ、白糸ノ瀧
 あり。源頼朝の狩と共に世に知らる。夏日、吉田口(北口)、須走口(東口)、須山口(南口)、大宮口(西
 口)より登山するもの多し。これを富士登山の四口と稱す。(富士山頂上温度は、盛夏平均五
 度一〇)。

(四) 山梨縣の重要産物及び産地

(1) 工産………甲斐絹(郡内地方、谷村はその大)、生絲(府内甲)、紙(市川、大門)、葡萄酒(勝沼甲)、水晶

細工(甲)

- (2) 鑛産……水晶(山金峯) 兩畑硯石(兩畑地方)
- (3) 林産……薪炭、木材(北西部)

(五) 山梨縣の都邑

- (1) 甲府市(四九)……甲府盆地の中心に位する縣廳所在地にして、生絲、繭、水晶細工の集散多し。附近に武田氏の古城址及び墳墓善光寺、酒折宮等あり。その西、龍王は、山縣大貳の出でし所にして、煙草の産地なり。
- (2) 勝沼……甲府盆地に在る甲州葡萄酒の本場にして、その附近に鹽山温泉(鹽類)石和(武田氏の故地)あり。
- (3) 鮎澤……富士川の畔に在る南甲第一の名邑にして、富士川渡船場あり。この邊三極の栽培盛に行はれ、また木材、薪炭の産多し。附近の市川大門は、紙を産し、もと甲斐源氏の據りし所を以て著はる。
- (4) 谷村……郡内盆地に位する東甲の名邑にして、甲斐絹、生絲の集散地なり。

○静岡縣

(一) 静岡縣の地勢及び海岸

富士火山脈は、東部に連りて、富士山(御殿場は、夏目登山) 愛鷹山(南西に富士八湖) 天城山(木村氷) 等を起し、伊豆半島より豆南七島に達す。この脈の通ずる所、石材の産出多し。修善寺(磯類泉、修善寺、源類) 熱海(夜六回噴出する間歇、磯類泉にして) 等の温泉頗る多し。赤石山脈は、西部に連りて、秋葉山(火鎮の神、秋) あり。駿河灣は、帝國近海の最深海にして、深き所六千六百尺。北方には、芙蓉峯ありて、灣岸到る所、景勝に富む。田子、浦、千本、松原、清水、海、三保、松原(港、清水を控ゆ) 久能山(別格官幣社) 等は、殊に名高し。富士川(四一里、日本) 狩野川、安倍川(河邊茶) 大井川(四四里、昔時遊台) は、この灣に注ぎ、天龍川(五四) は、遠江灘に注ぐ。河域及び海岸には、低地あれども、天龍川の流域最も廣く、三形ヶ原、濱名湖あり。

(二) 濱名湖

濱名湖は、遠江の南西部低原に位する鹹湖にして、周圍二十三里、面積六十六方籽。その形、枝出する珊瑚に類し、湖岸風景宜しく、夏日、海水浴客のこゝに來るもの多し(海水浴)。この湖は、地震の爲めに生ぜし陥落湖に屬し、もと淡水湖にして、遠淡海(國名の) と稱せられしが、永正中の地震によりて、湖口切れ、今切を以て、遠江灘と海水相通するに至れり。附近に三形ヶ原の古戰場(徳川家康、武田) 井伊谷宮(官幣中社、祭) 方廣寺(禪宗) あり。

(三) 静岡縣の重要産物及び産地

(1) 工産……駿河半紙(近傍)、洋紙(同上)、紡績絲(小山)、漆器(静岡、濱松)、竹細工(静岡)、樂器(濱松)、帽子(同上)、遠州表(同地)。

(2) 水産……(北海道、千葉縣、長崎縣と共に著はる)伊豆節(伊豆海岸地)、石花菜(同上)、興津鯛(興津の)。

(3) 農産……茶(阿倍、大井、天龍、諸川の畔、帝國第一)、絲瓜(帝國第一その分を占む)、薑(同上その三分を占む)、山葵(天城山地方、濱名納豆)。

(4) 林産……椎茸(天城山地方、帝國第一)、木材(同上及及び)。

(5) 鑛産……石材(天城山地方)、石油(相良地方)、銅(鐵山)。

(四) 静岡縣の都邑。

(1) 静岡市(五、三)……駿河の南西部、安倍川の東に在り。縣廳所在地にして、徳川家康の退隱せし駿府城址、寶臺院(浄土)、淺間神社(中社、祭神、木花咲耶姫)あり。駿府塗、竹細工、駿河半紙、茶の取引多く、山田長政は、この地の人なりといふ。附近の臨濟寺(宗)に今川氏の墓あり。その南西には、日本武尊の故事を以て知らるゝ焼津あり。

(2) 濱松(三、二)……遠江の南西部に位する縣下第二の都會にして、樂器、帽子、漆器、壺表、繭の取引多く、納豆の産あり。

(3) 清水……駿河灣の北西、清水灣に臨める開港場(輸出品は茶等)にして、縣下第一の良港なり。附近には、久能山東照宮(別格官幣社、徳川家康を祀る)、三保、松原、興津、清見寺、清見、關址、薩埵峠等あり。

(4) 大宮(一、三)……富士山麓に在りて、登山の西口に當たり、淺間神社(官幣大社、祭神、木花咲耶姫)あり。三極栽培の中心にして、駿河半紙、洋紙の産夥し。

(5) 沼津(一、三)……駿河灣の北東岸に在る勝地にして、縣下第三の名邑なり。附近の三島(一、二)には、三島神社(官幣大社、祭神、伊弉諾、伊弉册)ありて、電車の便あり。

(6) 熱海……伊豆の北東海岸に在る温泉(噴出する間歇泉)地にして、東京との間、汽船の便あり。雁皮紙を産す。南方、伊東氏の出でし伊東は、海水浴場を以て著はれ、南西の韭山は、北條氏の起りし地にして、蛭小島(源頼朝の)あり。

(7) 下田……伊豆の南東海岸に在る良港にして、大島との間、汽船の便あり。伊豆節の産出多し。この地は、嘉永年間、ペルリの渡航せし所にして、古の開港場の一たり。

(五) 静岡縣下の著るしき舊蹟。

伊豆……修善寺、韭山、蛭小島、下田、伊東、駿河……富士、裾野、御殿場、薩埵峠、静岡、焼津、遠江……三形ヶ原。

(六) 静岡縣下の著るしき勝地。

伊豆……修善寺 熱海 伊東 三島
駿河……富士山 沼津 田子浦 興津 三保、松原 久能山。
遠江……濱名湖。

(七) 静岡縣下に於ける著るしき温泉。

熱海(伊豆類泉) 伊豆山(同上) 逆臺寺(同上) 土肥(同上) 吉奈(同上)
修善寺(同上) 志太(同上)

○愛知縣

(一) 愛知縣の地勢及び海岸。

北東部には、木曾山脈連りて山地をなし、段戸山、鳳來山(塊状火山にして煙巖山)等あり、南西部は、濃尾低原に屬し、渥美、知多の兩半島斗出して、三河灣(東部は渥美灣といひ、伊勢海を成す。三河には、豊川、矢作川、三〇、太平川の三川あり。尾張には、庄内川、木曾川、七六あり。)

(二) 愛知縣の重要産物及び産地。

(1) 工産……陶磁器(瀬戸、常滑、犬山、名)、生絲(一、宮地方、長野群、馬、兩縣に次ぐ)、木綿織(一、宮地方、鳴海、有松、知多、半島、白及び織色、木)

綿(一、帝、綿絲、名、古屋、帝、第五、帝、國、燐寸、第三、同上、帝、國、扇子、第一、同上、帝、國、毛織、第三、同上、帝、國、瓦、第一、同上、帝、國、樂器、地、時計、同上、酒類、半田、酢、同上、醬油、第三、同上、帝、國、味噌、阿)

(2) 農産……米(主として濃尾低原、新瀉、兵庫、福岡、三縣に次ぐ)、麥(本州第一)、黍(同地方、第二、帝、國)、蘿蔔(宮重地方、第二、帝、國)、胡蘿蔔

(同地方、第一、帝、國、第一、地方、古、屋、名、古、屋、地方)

(3) 鑛産……名倉砥(北東部)、雲母(同上)、花崗石(同上)

(4) 水産……鮭(三河)、海鼠腸(三河、瀬、産、を、豊、橋、にて、製、す)

(三) 愛知縣の都邑。

(1) 豊橋市(四、三)……三河の南東、豊川の下流に沿へる本縣第二の商業地にして、第五師團司令部あり。この地は、豊川鐵道(沿線に豊川、妙、殿、寺、俗、稱、豊、長、篠、古、殿、場、あり)及び東海道本線鐵道の接續地にして、納豆を産す。その南の田原(一、二)は、渡邊華山の山でし所にして、穀類の取引行はる。

(2) 岡崎(二、四)……三河の西部、矢作川に沿へる本縣第三の名邑、徳川家康創業の地にして、味噌を産す。その北東に徳川氏の故地松平、南東に海水浴地蒲郡(一、〇)あり。

(3) 武豊……知多半島の南東部に在る開港場(大豆の輸)にして、龜崎(一、四)と共に酒類

酢、醬油、織物の産多し。

- (4) 名古屋市三七八……尾張の南部、庄内川に沿へる中日本第一の都會、徳川三家の一尾張侯(徳川義直始封)の舊城地にして、中京の名あり。南部の熱田(魚類の集散地)は、開港場の(陶磁器、綿布)にして、大阪との間、汽船の便あり。市は、中央本線、東海道本線、關西本線、三鐵道の集合點にして、電氣鐵道あり。商工業(絹糸、時計、樂器、陶器、七)、榮え、縣廳、第三師團司令部、離宮(名城の天守閣、そ)、高等工業、第八高等醫學專門の諸學校、熱田神宮(神草、薙劍)等ありて、東西中南の四區に分たる。
- (5) 一ノ宮(一、八)……尾張の北部に位する製絲織物業の大中心にして、その布帛の市場(毎月)は、熱田の魚市、枇杷島の蔬菜市と共に名高く、尾西鐵道及び東海道本線鐵道の便あり。その南西には、尾西第一の名邑津島(一、三)あり。
- (6) 瀬戸(一、四)……大山(一、〇)と共に尾張の北部に位し、陶磁器(瀬戸)の産出を以て著する。

(四) 愛知縣の著るしき舊蹟。

- (1) 長 篠……三河の北東部、徳川家康、織田信長が武田勝頼の軍を破りし所。
- (2) 岡 崎……三河の西部、松平と共に徳川氏創業の地。
- (3) 桶狭間……尾張の東部、織田信長が今川義元の軍を破りし所。
- (4) 長久手……尾張の北東部、徳川家康の豊臣秀吉と戦ひし所。
- (5) 小牧山……尾張の北部、徳川家康、織田信雄と豊臣秀吉と對陣せし所。
- (6) 熱 田……名古屋市の日本武尊の故事を以て名高く、源賴朝の生地。
- (7) 名古屋城址……名古屋市の徳川三家の一、尾張侯の城居せし所。
- (8) 中 村……名古屋市の西、豊臣秀吉、加藤清正の生地。
- (9) 清 洲……名古屋市の北西、斯波(足利三管)織田兩氏の據有せし所。

○岐阜縣

(一) 岐阜縣の地勢。

東境に飛驒山脈、御嶽火山脈(鈴ヶ岳、乗鞍ヶ岳、御岳等)、木曾山脈(其材を産す)あり。西境に白山火山脈(白山)、中國山脈(三國)、鈴鹿山脈(伊吹)ありて、北部は濃飛高原をなし、諸水これより發源す。神通川(三、上流)、庄川(三、上流)は、白川といひ、白川郷には麻は、北流して越中に入り、飛驒川(上流地に水松樹)は、南流して、信濃より來たる木曾川(七、六)と合し、鶺鴒を以て名高き長良川、根尾谷斷層地(明治二十四年十月二十八日)附近を流る、揖斐川、糸貫川等の水を集めて、尾張伊勢に向ふ。これ等諸川の通ずる掌狀の濃尾低原は、その廣きこと關東

低原に次ぐべし。

(二) 岐阜縣の重要産物及び産地。

(1) 工産……岐阜縮緬(岐阜地方)美濃縞(附近)美濃焼(多治地方愛知縣)美濃紙類(板取川、武儀川地方、帝)生絲(岐阜高山)一位細工(高山)飛騨春慶(上)岐阜團扇(岐阜)岐阜提燈(上同)。

(2) 農産……美濃米(低原)長良蘿蔔(長良川地方、美)真桑瓜(岐阜市の西)蜂屋柿(北東、蜂屋地方、茶(美濃の))。

(3) 鑛産……銀(秋田縣に次ぎ、神)銅(平)鉛(帝國第一、神岡)黒鉛(同上)大理石(赤阪)。

(4) 林産……杉、檜材(赤山、七)水松樹(地方)。

(5) 水産……鮎(長良川)。

(三) 岐阜縣の都邑。

(1) 岐阜市(四、一)……美濃の南部、鶺鴒を以て名高き長良川の畔に位し、東に織田氏の城居せし岐阜城(井口)址ある金華山、稻葉山あり。縣廳所在地にして、美濃米、生絲、織物、提燈、團扇傘の取引多し。その東、關地方に電氣鐵道の設あり。

(2) 大垣(二、一)……美濃の南西部、揖斐川の畔に在る岐阜縣第二の名邑(大垣城の一部存す)にして、桑名地方と舟運の便あり。米穀の取引多く、名工後藤祐乘、勇士稻葉一徹、詩人梁川星巖は、この地の人なり。

大垣の南西、養老山には、養老瀧あり。また西方には、不破、關(上、古三)址ありて、關ヶ原は、慶長五年(1600)九月、徳川氏と豊臣黨との劇戦せし所を以て著はれ、南宮神社(國幣中社、祭)あり。

(3) 高山(一、七)……飛騨の中部、濃飛高原の高山盆地に位し、古來飛騨匠の出でし所にして、生絲、春慶塗、一位細工を産す。

○ 長野縣

(一) 長野縣の地勢。

(二) 長野縣の雨量少き理由。

長野縣は、岩手縣に次ぐ帝國第二の大縣にして、八縣十國と境を接す。越後山脈、富士火山脈、那須火山脈(淺間)關東山脈(甲武信)赤石山脈(赤石)木曾山脈(駒ヶ岳、惠)飛騨山脈、御嶽火山脈(御嶽、御岳等)四境に連亘するが故に、本州中、雨量最も少く、飛騨地方と共に本州中の最高地(率以上)を成す。されば高山峻峯頗る多く、中には氷河を有するものあり。温泉、噴汽孔(湯の場)等、淺間火山の附近に在り。

冬季、氷滑を以て名高き諏訪湖(海抜二五七四)の水を受くる天龍川(五四、天龍峽あり)、木曾川(七、六、犀川(信濃川の上流)、千曲川(上同))等は、率ね中央高地の分水嶺より發源して、南或は北に向ひて流れ、水力の利用甚だ多く、河邊に狹長なる六大平地を形成す。

(三) 淺間山

淺間山(八二三〇尺)は、信濃の東部に位す。那須火山脈に屬する本邦屈指の活火山にして、天明三年(1788)八月の大破裂によりて、寄生火山小淺間山を噴起す。近年再び活動力を加へつゝあり。附近に温泉、噴氣孔、輕井澤の避暑地等あり。

(四) 長野縣に於ける三峻阪路

碓氷峠(日本武尊の故跡とアプト式鐵道あり)、鹽尻峠、鳥居峠は、中山道地方に於ける屈指の峻阪とす。

(五) 長野縣に於ける一萬尺以上の高山

赤石山(二、〇二二四) 鎗ヶ岳(二、〇二〇四) 御岳(二、〇二二八) 大蓮華山(白馬山、二、〇〇〇〇)

(六) 長野縣に於ける名高き温泉

淺間(泉、純) 澁の湯(酸性泉、噴) 白骨(炭酸泉) 上諏訪(硫酸) 諏訪澁の湯(同)
高瀬川の上流地には、高大なる石灰質の沈澱物あり。

(七) 長野縣に於ける六大平地

善光寺平(千曲川、犀川の合流地方) 佐久平(千曲川の流域) 松本平(犀川の流域) 諏訪平(諏訪湖)

伊那谷(天龍川の流域) 木曾谷(木曾川の流域)

(八) 木曾地方

(九) 木曾山林

長野縣の南西部、木曾川の上流地方の總稱にして、木曾谷といへる小盆地を成す。中山道(文武天皇の大寶二年)及び中央本線鐵道これを通ず。木曾山林は、帝國屈指の大山林にして、廣さ約十五萬町歩に互り、本木と呼ぶる、檜(ヒノキ)の外、榎(エノキ)、樺(カハバシ)、明檜(アカマツ)、檜(ヒノキ)等の良材を産出す。またこの地方より良馬、木曾櫛、蔓細工の産出多し。名邑福島は、往古關所の設ありし所にして、その南方木曾川の峽谷には、寢覺床(ネガサドコ)の勝地あり。北東の宮越には、木曾義仲の城址あり。また西方に御嶽火山(山上に御嶽神社あり)ありて、夏時登山するもの多し。

(二〇) 長野縣の重要産物及び産地

- (1) 工産……生絲(主産地は、諏訪、須坂、松代の三地方、帝國第一)、真綿(同上、帝國第一)、上田縮(上田地方)、漆器(飯田、飯山、木曾地方)、蔓細工及び櫛(木曾地方)、水豆腐(諏訪地方)
- (2) 農産……繭(生糸産地に同)、蠶卵紙(松本、小縣地方)、人蔘(木曾地方)、蕎麥(更級地方)

- (3) 林産………**檜材**(木曾地方)
- (4) 水産………**寒天**(諏訪地方)
- (5) 鑛産………**硫黄**(淺間山地方)

(一) 長野縣の都邑

- (1) 飯田(二七)………伊那谷に位する南信の名邑にして、天龍川に沿ひ、漆器、生絲、元結等を産す。
- (2) 上諏訪(二三)………諏訪盆地(諏訪平)に位する南信の名邑にして、火山性の八ヶ岳を望み、諏訪湖を控へ、風景佳なり。湖畔より天然瓦斯を噴出す。附近に諏訪神社(上二下社あり、官幣中社)あり。岡谷は、帝國第一の蠶業地にして、生絲の産額は、帝國總額の約五分の一を占む。附近地方より産する諏訪寒天また名あり。
- (3) 松本市(三五)………縣の殆んど中部、松本平に位する縣下第一の商業地(松本城の)にして、繭の大集散地なり。その北東には、靦月の勝地(楢ヶ山)南方には、桔梗原の古戰場あり。松本市の南、鹽尻は、中央本線及び篠井線鐵道敷設以來、繁盛に赴けり。
- (4) 上田(二三)………縣の東部に位する本縣第三の都邑。上田繭繭産地の中心にして、蠶絲専門學校、上田城址(真田昌幸父子徳川秀忠の軍と戦ひし所)あり。その南東小諸は、繭蠶卵紙の集散地を以て著はる。

地を以て著はる。

- (5) 長野市(三九)………縣の北部、善光寺平に在る縣廳所在地にして、巨刹善光寺(淨土宗、昔時市を善光寺町といへり)あり。附近の川中島は、武田、上杉兩雄の交戦地を以て、世に聞え、松代(佐久間象山)須阪は、諏訪地方と共に縣下の三大蠶業地なり。

○ 新潟縣

(一) 新潟縣の地勢

新潟縣(古の古志)は、南東部に越後山脈(飯豊山等)富士火山脈(妙高山等)連りて、山地をなすも、海岸及び本州第一の長流信濃川(九四、俗に八千八百水河の名あり)阿賀川(四二)の流域には、越後低原(長約四十里)あり。地勢上、越後は、上越後(彌彦山、山脈)中越後(米山、山脈)及び下越後(彌彦山)に分たる。赤倉の温泉(鹽類)は、本縣第一の靈泉にして、瀬波温泉(鹽類)は、間斷なく熱湯を約九十尺の高さに噴騰す。如法寺の火井、田代七ツ釜の瀧また名高し。

(二) 新潟縣の海岸

海岸は、出入少なく、加ふるに日本内帯固有の絶壁を爲す所多く、親不知の險(約二里、壁今は崖上に、新道を通す)海府浦の岩濱あり。鯨波は、北國屈指の海水浴地とす。信濃川の口は、上流より吐出する土砂の堆積によりて海水淺し。

(三) 佐渡島

佐渡(大八州のあり)は、日本海に於ける大島にして、その形法瑪(コダマ)の如く、内地には、日本本部第一の金鑛金山等の山多けれども、海岸は、率ね低地なり。東には、新潟縣下第一の良灣夷灣(開港)あり。その北海岸を内浦といひ、西方眞野灣の北海岸を外浦といふ。赤泊及び寺泊(越後)兩地方の間(約三)に、海底電線の設あり。

(四) 新潟縣の重要産物及び産地

- (1) 農産……越後米(越後低原)、煙草(高田地方)。
- (2) 工産……越後縮(小千谷)、透綾(十日町地方、帝國の第一)、五泉平(五泉村)、羽二重(五)、山邊黒織(上村、枋尾、紬、尾、桐、陶器、相川、漆器、新潟村上、金鑛器、高田、燕、葡萄酒、高田地方)。
- (3) 鑛産……金(日本本部第一の金鑛、金山、鹿兒島縣に次ぐ)、石油(長岡附近の長嶺、小口、東山、新津、尼瀬、浦瀬等より産す。寶田及び日本の兩石油會社あり。帝國第一)、銅(草、鐵、赤、八幡)。
- (4) 水産……柔魚、鮑、鰯(長崎縣北海、道に次ぐ)、鮭(三面、川)。

(五) 新潟縣の都邑

(1) 高田市(二、八)……上越後の名邑、帝國の最深雪地、北越の最大藩榊原氏の舊城地にして、葡萄酒、金屬器、織物、煙草の取引多く、第十三師團司令部あり。西方春日山には、

上杉氏の城址あり。

(2) 直江津(一、二)……上越後の良港、南越、北信地方に於ける貨物の集散地にして、汽車汽船の便あり。

(3) 十日町……小千谷と共に信濃川に沿へる上越後の機業地にして、前者は、透綾織(帝國)、後者は越後縮の本場とす。附近より石油を産し、南に田代七ツ釜の奇勝あり。

(4) 柏崎……出雲崎(一、〇)と共に日本海に沿へる名邑にして、附近に尼瀬石油坑あり。柏崎は、石油、米、織物等を取引し、出雲崎は、佐渡(小木)に渡る要津なり。

(5) 長岡市(三、五)……中越後第一の商業地、石油及び織物業の中心にして、信越線鐵道に沿ひ、新潟(七、十)と汽船の便あり。石油、米、織物、漆器の取引多く、寶田石油會社あり。この地方は、所々に天然瓦斯(火井)噴出し、その利用少からず。

(6) 三條(一、四)……五泉(一、〇)と共に信濃川の下流地方に在る工業地にして、三條の金物、五泉の五泉平、羽二重世に著はる。五泉附近の新津(石油業の中心)は、信越線及び岩越線兩鐵道の接續する所なり。

(7) 新潟市(六、一)……信濃川口の左岸に在る北陸道第二の都邑にして、對岸に信越線鐵道の終點沼垂(一、二)あり。縣廳、醫學專門學校ありて、漆器の産出多し。この地は、古

き開港(舊五港)なれども、船舶の碇泊に不便なるが故に、貿易振はず。その南西、彌彦山に彌彦神社(越後の一の宮、國幣)あり。

(8) 新發田(二、八)……村上(織物、漆器)と共に、下越後の名邑なり。

(9) 相川(一、〇)……佐渡第一の名邑にして、無名異焼を産す。その北に帝國屈指の金産地、金北山(産す)あり。南東、新町の附近に順徳天皇御火葬所(野)及び日野資朝の墓あり。

(10) 夷……佐渡の東海岸に於ける縣下第一の良港(開港)にして、新潟(三十二、三)の副港の觀あり。

(六) 信濃川に沿へる名邑。

松本市、上田、松代、長野市(以上長野縣)、十日町、小千谷、長岡市、三條、沼垂、新潟市。

○富山縣

(一) 富山縣の地勢

御嶽火山脈(立山)、白山火山脈相連りて、東西南の三面には、山地多く、大逆華山(一、〇〇〇)、立山(八五〇〇)の高山あり。黒部川(二、五、日本三奇橋)、常願寺川(一、七、神通川)、古舟橋(あり)、庄川(三、七)等の諸川殆ど相並行して流れ、越中低原を成す。庄川の上流地は、五箇山中と呼ばれ、釣橋の奇橋あり。西境の俱利伽羅峠は、源義仲が平氏の軍を破りし所なり。

(二) 立山

立山(八五〇〇)は、御嶽火山脈に屬する北陸道屈指の火山にして、十二峯に分たる。雄山に雄山神社(祭神、天手力男命等)あり。山中に四十八地獄とて鳥地獄(炭酸孔)あり。山麓に出枝原温泉(硫黄泉)あり。その北西、大岩日石寺附近の地は、北陸の耶馬溪と謂ふべき景勝の地なり。附近の地より、貝化石を産出す。

(三) 富山縣の重要産物及び産地。

(1) 工産……藥劑(富山市、四)、銅器(高岡市、京都)、漆器(高岡市、城)、生絲(同)。

(2) 農産……越中米(越中)。

(3) 水産(北陸屈指)……鱈、鱒、鰻、柔魚、乾鰻(帝國)、烏賊、黒作(以上水見、魚津地方)、鮎(神通)。

(四) 富山縣の都邑

(1) 魚津(一、三)……滑川(一、〇)と共に越中灣岸に在る水産業地にして、黒作、珊瑚蝦等を産す。魚津の沖には、春夏の頃、蜃氣樓(海市)の現出することあり。

(2) 富山市(五、七)……神通川の下流に沿へる北陸道第三の名邑にして、縣廳、藥業専門學校あり。越中米、肥料の取引行はれ、藥劑製造地の中心に當たり、附近に吳服山

(戦国時、佐々成政の)の勝地及び東岩瀬港あり。

(3) 高岡市(三三)……庄川の西北陸本線鐵道及び中越鐵道の交叉點に位する富山縣第二の都邑にして、銅器の産出は、京都市に次ぎ、漆器、羽二重の産また多し。

(4) 伏木(開港)……富山灣に臨み、中越鐵道の北部終點に當たり、越中米を輸出す。近傍に氷見(二二)及び新湊(一六)の水産業地あり。

(5) 城端……中越鐵道の南部終點に在る機業地にして、蠶業盛なり。五箇山中の釣橋は、黒部川の愛本橋と共に奇橋の稱あり。城端の西、加越の界に俱利伽羅峠あり。

○石川縣

(一) 石川縣の地勢及び海岸。

縣内、白山火山脈(白山は、越の白嶺といひ、高さ八千六百餘尺、北陸の秀峰にして、菊理(寶達山脈)等相連りて山地多く、本州中、雨量に富める地方なり。火山脈の近傍には、和倉(寶達山代)山中(上)片山津(上)粟津(硫黄)等の温泉あり。

海岸は、率ね低平にして、加賀には、河北潟(七里)柴山潟等の海跡湖多く、手取川、犀川等の河流あれどもみな小なり。能登半島は、その形風折鳥帽子の如く、北東端に綠剛岬、珠洲岬あり。近海暗礁多くして、北陸第一の險海と稱せらる。その南西に能州景とて名

高き九十九灣の絶勝あり。七尾灣には、能登島ありて、南灣及び北灣に分たる。南灣に開港七尾あり。北灣には、穴水港あり。

(二) 石川縣の重要産物及び産地。

(1) 工業(北陸道第一)……絹織(帝國中、福井、京都、群馬の諸府縣に次ぎ、金澤、小松、大聖寺、生糸(同地)陶磁器(金澤、山代、小松、大聖寺等より)漆器(山中、塗これに次ぐ、和歌山縣に次ぎて)、金銀箔(金澤)銅器(上)七尾酒(七尾)。

(2) 鑛産……金(富來、倉、尾、小、屋、遊、泉、寺、滿、俺、能、登、倉、谷、金、平、銅、倉、谷、北、陸、第、一、滿、俺、能、登、地方)。

(3) 林産……漆汁(加賀の南東部)。

(4) 水産……(北陸道第一)鹽(四海)海參(海近)。

(三) 石川縣の都邑。

(1) 輪島(一一)……能登の北西部に位する帝國著名の漆器産地なり。

(2) 七尾(一二)……七尾南灣に臨める開港場にして、浦鹽斯徳と汽船の便あり。七尾酒を産す。附近に和倉温泉(鹽)及び畠山氏の城居せし七尾城址(上杉謙信の時)あり。

(3) 金澤市(一〇)……北陸第一の都會、前田氏、百餘萬石の舊城地(第九師團司令部所在地)にして、犀川、淺野川に跨り、縣廳、第四高等醫學專門の諸學校、兼六公園(日本三公園の第一)、尾山神社(別格官幣社、祭)等あり。工業(羽二重、絹、手巾、刺繍品)の盛なること、北陸に冠絶

し、金石港と相通じ、米穀の取引多きこと、東京、大阪、下關、神戸に次ぐ。貿易家、錢屋、五兵衛はこの地方の人なり。

(4) 小松(一、四)……石川縣第二の名邑にして、大聖寺と共に加賀絹、羽二重、九谷焼を産す。附近に篠原(源平古戰場、寶藤)あり。安宅關址はその沖合の海底に没せり。東方には、尾小屋等の鑛山、南方には、中山、山代の温泉(共に鹽類)あり。

○福井縣

(一) 福井縣の地勢及び海岸。

南東部には、白山火山脈、中國山脈相連りて、山地多けれども、北東部は、率ね低原をなし、九頭龍川及び支流、足羽川、日野川これを貫流す。湖には、北潟(周圍三、方湖)あり。越前の海岸は、西に越前岬、南西に立石岬、敦賀灣等の外、屈曲に乏し。若狹の國は、屈曲多く、若狹灣、小濱灣等の灣入あり。

(二) 福井縣の重要産物及び産地。

- (1) 工産……羽二重(福井市、大野、勝山)、生絲(同上)、絹手巾(福井市)、奉書紬(福井市、丸岡、武生、國に冠)、紙類(福井市、武生地方、越前)、越前蚊帳(武生)、鐵器(同上)、漆器(小濱の産、武生、若狹より)、銅器(大野)。

(2) 農産……煙草(大野、勝山、越前米(九頭龍川流域))。

(3) 水産……越前雲丹(越前岬近海産)、若狹鯛(若狹)、若狹鱈(同上)。

(三) 福井縣の都邑。

(1) 福井市(五、〇)……足羽川の畔に位し、昔時柴田勝家の城居せし北、莊の地にして、越前侯松平氏(萬石三十二)の舊城地なり。羽二重(第一帝國)奉書紬、絹手巾、越前雲丹を産し、藤島神社(別格官幣社、祭、足羽公園)の像あり。附近の地には、藤島燈明寺、古戰場あり。東方には、北國の巨剎永平寺(曹洞宗)、北西に三國港(井港)あり。

(2) 武生(一、七)……越前の名邑にして、蚊帳、紙類、鐵器、漆器産地の中心なり。

(3) 敦賀(一、七)……福井縣第一の港(出石港にして、蜜柑の輸入多し)にして、浦鹽、斯德及び日本海諸港と汽船の便あり。金ヶ崎城址、金ヶ崎宮(官幣中社、神皇御魂)氣比神宮(官幣大社、神皇御魂)は、この地方に著はる。

(4) 小濱……若狹第一の名邑にして、若狹塗を産し、魚類の取引多し。

第四章 近畿地方

(甲) 總論

- (一) 近畿地方の地勢。
- (二) 近畿地方に於ける主要なる山川。
 北部の白山火山脈、中國山脈(大江山、三)は、南部の高峻なる紀伊山脈(彌山、山上)と殆んど並走し、鈴鹿山脈(鈴鹿山、伊)東部に連りて、これを連結す。その間に我が國の最大湖にして景勝に富む琵琶湖(周囲約六十里、面積六八六方里)岸の近江低原、近畿地方の大河たる淀川(延長里流域五四五方里)河域の山城低原、大阪低原、大和川流域の奈良低原あり。これ等を幾内低原と總稱す。河流の著るしきものには、北部に由良川(三五)、朝來川(四)あり、中部に淀川(二〇)、大和川、加古川(二三)、市川(二〇)、揖保川、千種川あり。南部には、紀の川(三三)、有田川(二六)、日高川(四〇)、新宮川(四一)あり。東部伊勢の低原には、宮川(二九)、柳田川(二五)、雲出川あり。
- (三) 近畿地方の交通。
 日本海面には、丹後半島(その岬角を經)斗出し、舞鶴、宮津の二小灣あり。宮津灣には、日

本三景の一たる天橋立(約一里)あり。瀬戸内海面には、白沙青松の勝地多く、淡路島は、大阪灣、明石海峡、播磨灘、鳴門海峡、紀淡海峡(山、紀伊水道を分つ。太平洋面には、紀伊半島あり。湖岬の近海は、日本海面の經ヶ岬近海と共に航海危険の所なり。熊野灘の海岸は、屈曲に富み、熊野九十九浦の稱あり。志摩半島もまた大王崎等の出入ありて、伊勢灣の口に當たり、黒潮その沖を東流す。

(四) 近畿地方の海岸

有馬(攝津) 湯峯(紀伊) 龍神(同上) 鉛山(同上) 城崎(但馬)

(五) 近畿地方に於ける著るしき温泉

(甲) 陸路

(1) 普通道路

普通道路は、昔時久しく帝都たりし京都市を大中心として、東海道、中山道、山陰道、山陽道等四出す。

(2) 主要なる鐵道

東海道本線(新橋—神戸) 北陸本線(米原—直江津) 近江鐵道(彦根—貴生川)
 京都線(京都—綾部) 西成線(梅田—櫻島) 阪鶴線(神崎—新舞鶴)

山陽本線(神戸—下關) 播但線(飾磨—城崎) 關西本線(名古屋—奈良—淡町間)
 參宮線(龜山—山田) 草津線(柘植—草津) 奈良線(木津—京都)
 櫻宮線(木津、網島、櫻宮間) 櫻井線(奈良—高田) 和歌山線(王寺—和歌山)
 城東線(天王寺—梅田) 河南鐵道(柏原—長野) 高野鐵道(沙見橋—長野)
 南海鐵道(難波—和歌山)

電氣鐵道には、京都電氣鐵道(主として市内)、大阪電氣鐵道(主として市内)、京阪電氣鐵道、阪神電氣鐵道の外、和歌山、龍野、津宇治、山田地方にも少距離の電氣鐵道あり。

(乙)水路。

神戸、大阪の二大開港場を大中心とし、外國及び内地各港との間に汽船の便あり。淀川には、小汽船の上下するあり。琵琶湖各港間にも、また汽船往來す。

(1)大阪汽船會社。

大阪名古屋線	大阪三輪崎線	大阪由良線	大阪德島線
大阪下關線	大阪内海線	大阪山陰線(大阪—安)	大阪四國門司線
大阪高松線	大阪高知線	大阪甲浦線	大阪沖繩線
大阪沖繩基隆線	大阪鹿兒島線	大阪宿毛線	横濱打狗線

(2)日本郵船會社。

大阪仁川線	大阪清津線	神戸基隆線	米國線(香港—マニラ)
大阪安東縣線	大阪大連線	横濱大連線	大阪天津線
歐洲線(横濱—アムステルダム)	濠洲線(横濱—メルボルン)	香港シアトル線	
ボンペー線(神戸—ボン)	横濱上海線	神戸浦鹽斯德線	
神戸牛莊線	横濱牛莊線	神戸朝鮮牛莊線	
神戸上海線	横濱大連線	神戸基隆線	
神戸小樽東廻線			

(3)東洋汽船會社。

香 桑 線(香港—桑) 南 米 線(香港—バルバ)

その他宇和島運輸會社の宇和島大阪間、住友汽船の新居濱大阪間を航するあり。琵琶湖には、大湖汽船會社の大津鹽津線、大津長濱線、大津能登川線あり。

(六)近畿地方の著るしき燈臺所在地。

四日市(伊勢) 白 神(志摩) 安乘崎(同上) 櫻野崎(紀伊) 潮 岬(同上)
 比井岬(同上) 堺 (和泉) 安治川口(攝津) 和田岬(同上) 松尾崎(淡路)

經ヶ岬(丹後)

(七) 近畿地方の主要なる海底電線

播磨淡路間 淡路阿波間 伊勢尾張間

(八) 近畿地方の氣候

日本海に面する地方及び中部山地は、氣候寒冷を覺ゆるも、瀬戸内海面地方、太平洋面地方は、溫和なり。殊に紀伊半島は、高温にして雨多し。

(九) 近畿地方の著名なる工業地

滋賀縣……長濱(生織物)	八幡(麻織)	大津市(麻織、菜種油)
京都府……京都市(織物、陶磁器、漆器、銅器、京扇等)	龜岡(生絲)	峯山(織物)
奈良縣……奈良市(漆器)	高田(織物)	吉野(紙)
三重縣……四日市市(菜種油等)	津市(織物)	松阪(同上)
宇治山田市(漆器)	上野(傘)	
和歌山縣……和歌山市(織物)	黒江(漆器)	湯淺(醬油)
大阪府……大阪市(絲織、金屬器、織物、漆器、硝子、玻璃、セメント、菜種油等)	岸和田(瓦)	堺市(織物、金屬器)

兵庫縣……神戸市(樟腦、紙、絹)

伊丹及び西宮(酒)

明石(織物)

姫路市(革)

龍野(醬油)

豊岡(柳行)

出石(陶磁器)

(一〇) 近畿地方の名高き水産業地

三重縣(第一)……桑名(蛤、蝦)

鳥羽(真珠、貝、鹿角)

尾鷲(鰻)

和歌山縣……新宮(鰻)

串本(同上)

兵庫縣……赤穂(鹽)

明石(鯛、蛸)

福良(鯛、和)

(一一) 近畿地方の區劃

(一二) 近畿地方の府縣廳所在地

近畿地方は、畿内(山城、大和、河内、和泉、攝津の五ヶ國)全部と、その附近に位する東山道の近江、東海道の伊賀、南海道の紀伊、淡路、山陰道の丹波、丹後、但馬、山陽道の播磨との十四ヶ國を含有す。これを京都、大阪の二府及び五縣に分つ。

府縣名	管轄	面積	一方里の人口	縣廳所在地
滋賀	近江	二二六	三〇七〇	大津市
京都	山城、丹波、丹後の一部	二九二	三九四六	京都市
奈良	大和	二五八	二二〇五	奈良市

三	重	伊賀伊勢紀伊の一部	三五二	津市
和歌山	紀伊の大部	二九二	和歌山市	
大	阪	河内和泉攝津の東部	一七〇	大阪市
兵庫	庫	攝津の西部丹波の一部 播磨但馬淡路の一	五三五	神戸市

(一三) 近畿地方の市制地

(一四) 近畿地方に於ける人口五萬以上の都會

(1) 大阪 中(四區二二、六) (2) 京都市(四區二) (3) 神戸市(三區七、八) (4) 和歌山市(七七)

(5) 堺 市(六、一) (6) 大津市(四、二) (7) 姫路市(四、一) (8) 津市(四、一)

(9) 宇治山田市(三、七) (10) 奈良市(三、二) (11) 四日市市(三、〇)

(一五) 近畿地方に於ける開港場

四日市 神戸(帝國) 大阪(帝國) 宮津

(一六) 近畿地方に於ける外國領事館所在地

神戶(一、八)	北米合衆國	ペルー	ブラジル	アルヘンチナ	チレ
イギリス	ロシア	オランダ	ポルトガル	ドイツ	
フランス	ベルギー	イタリア	デンマーク	イスパニア	
スウェーデン	ノルウェー	清			

大阪(四).....イギリス ベルギー ポルトガル 清

(乙) 各論

○滋賀縣

(一) 滋賀縣の地勢

中國山脈(三國)鈴鹿山脈(山吹)等に屬する伊吹山(明治四十二年八月十日比叡山(史に所)比良山(近江一)三上山(近江)等の山岳、縣の四周を圍繞して野洲川、愛知川、姉川等の河川分水系をなす。帝國の最大湖たる琵琶湖(周圍約六〇里)これ等の水を受け、再び勢多川(或は治川上流)となりて南西流す。また琵琶湖疏水を京都市に通ず。湖東には沃土多し。これを近江低原といふ。

(二) 琵琶湖

琵琶湖は、滋賀縣(近江)の中部に位する本邦の最大湖(琵琶湖、河湖、淡)にして、國名これより起り、その形琵琶に似たるが故にその名あり。周圍約六十里、面積六八六方疋(面積約五分の)海面上約二百八十五尺に位し、その深き所は三百十八尺に達すべし。湖中には、竹生島の勝ありて、湖岸の近江八景と共に名高く、湖中より鱧、鮠、源五郎鮒を産し、湖

上汽船(大津、津、能登川、長)の便あり。近江低原を流る、野洲川等の水を受け、南西流して勢多川(宇治川、流)となり、また疏水を京都市に通ず。

(三) 滋賀縣の重要産物及び産地

- (1) 工産………濱縮緬(長濱、京都と) 生絲(長濱等の湖東地方) 麻織(近江生平等、近江晒といひ、八幡蚊帳、大津地)
- (2) 農産………江州米(近江、茶(信樂))
- (3) 水産………鮭、鯉、源五郎鮒(琵琶湖)

(四) 滋賀縣の都邑

- (1) 長濱(一)………琵琶湖の東岸に位する都邑にして、濱縮緬、生絲の取引多く、汽車及び汽船の便あり。明治四十二年八月十四日の江濃地震の際には、頗る災害を蒙れり。
- (2) 米原………琵琶湖の東岸に位して、北陸本線及び東海道本線兩鐵道の接續地なり。
- (3) 彦根(二、〇)………江東第一(本縣)の名邑、東海道本線及び近江鐵道の接續地にして、汽船の便あり。井伊氏の城居(天主閣を存す)せし所にして、その公園は、世に名高く、附近に石田三成の佐和山城址あり。

(4) 八幡………湖東の商業地にして、蚊帳、麻織、壘表の集散繁く、その北東に織田信長の全盛を極めし安土城址あり。南東に日野の商業地あり。八幡と共に古來、近江商人の名を得し所なり。

(5) 草津………東海道本線及び草津線の兩鐵道、東海道及び中山道の分岐點なるを以て、世に知らる。

(6) 大津市(四、二)………琵琶湖の南西岸に位し、縣廳、大湖汽船會社あり。麻織、江州米、菜種油の取引多く、近江八景を控へ、大津宮址、園城寺(天台)に程近し。

(五) 滋賀縣の著るしき史蹟

- (1) 伊吹山………鈴鹿山脈に屬する近江の最高山にして、日本武尊の事蹟を以て聞ゆ。
- (2) 彦根………井伊氏の舊城地にして、附近に石田三成の佐和山城址あり。
- (3) 姉川………織田信長の淺井、朝倉兩氏と戦ひし所なり。
- (4) 賤ヶ岳………豊臣秀吉が柴田勝家の軍を破りし所にして、七本槍の名と共に著はる。
- (5) 安土………織田信長の城居して、全盛を極めし所なり。
- (6) 栗津………木曾義仲戦歿の所にして、膳所の義仲寺境内に彼れ及び芭蕉(松尾桃青)の墓あり。

- (7) 滋賀……大津市の北に在りて天智弘文兩帝の近江朝廷ありし所なり。
- (8) 青柳……近江聖人中江藤樹の出でし所にして、今尚ほ藤樹書院を存す。樺太の探検を以て名を知られたる近藤重藏守重の墓、附近の大溝に在り。
- (9) 逢坂山……古昔、關塞の設ありし所なり。
- (10) 比叡山……史に所謂、北嶺にして近江山城の國境に跨れる名山(高さ二千七百餘尺)なり。山上に延暦七年(788)僧最澄(傳教)の建立せし天台宗の本山延暦寺あり。園城寺(天台)と共に古來名高し。山麓には、日吉神社(官幣大社、神祇祭あり)あり。
- (11) 石山寺……大津市の南東、勢多川の畔に在る名刹(真)にして、紫式部の源氏物語を編述せし所なりといふ。

○京都府

(一) 京都府の地勢

北東部には、中國山脈、白山火山脈等に屬する比叡、鞍馬、粟宕の諸峯連れども、南東部は、山城低原にして、淀川(上流は勢多川、宇治川、淀川)これ貫流し、大堰川(桂川とも)賀茂川(鴨川)これに合し、琵琶湖疏水運河(延長約七里)鴨川新運河(京都市より伏見に至る二里餘)高瀬川(角以の川)と共に運輸、灌溉及び工業上に利便を與ふること少からず。南東の笠置山は、後醍醐天皇の行在所ありし所、北西の大江山は、兩丹地方の高山を以て著はれ、由良川(三五)は、京都府の最長流なり。

(二) 京都府の海岸

北西部、丹後の國は、日本海に面し、丹後半島の岬角を經岬といふ。その附近は、山陰道第一の險海と稱せらる。半島の南に宮津灣或は與謝海(明港宮津あり)あり。舞鶴灣(軍港あり)と共に船舶の碇泊に宜し。日本三景の一天橋立は、宮津灣に斗出すること約一里の沙嘴にして、風光明媚、成相山よりの眺望殊に佳なり。

(三) 京都府下の三運河

- (1) 琵琶湖疏水運河……琵琶湖の南西岸、三保ヶ崎より西方、京都市中に通ずる運河にして、明治十八年起工し、同二十三年に至りて成れり。幹支線を合して延長約七里、約百三十萬圓の工費を要したり。處々に洞道、インクラインの設あり。
- (2) 鴨川新運河……琵琶湖疏水運河と相連絡し、京都市より南方、伏見に通ずる運河をいひ、明治二十三年起工し、同二十七年竣功せり。延長二里餘、工費約十五萬圓。
- (3) 高瀬川……賀茂川と殆んど相並行する運河にして、徳川時代角倉了以の開鑿せしものとす。高瀬の曳舟とて古來名高し。

- 南禪寺(舊京五山の臨濟宗) 天龍寺(同上) 建仁寺(同上) 相國寺(同上)
- 泉涌寺(真言) 清水寺(法相宗、洛東第一の靈場) 智恩院(浄土宗) 本能寺(日蓮宗、織田信長遺書の所)
- 銀閣寺(慈照寺、足利義政建立、浄土宗) 方廣寺(天台宗) 三間堂(平忠盛建立、得長壽院) 延暦寺(天台宗)
- 金閣寺(足利義滿建立、鹿苑寺、禪宗) 大覺寺(神宗、龜山天行在所) 仁和寺(真言宗、洛西第一の靈場) 等持院(神宗、足利尊氏の墓あり)
- 佛光寺(真言、佛光寺派の本山) 東本願寺(大谷派、真言宗、本山) 西本願寺(本山派、真言宗)
- (5) 伏見(二、四)……京都市の南。高瀬川、淀川、電車、汽車の便ありて、京阪地方と相通ず。稻荷、桃山城址(豐臣秀吉の所)等ありて、伏見人形を産す。
- (6) 宇治……宇治川の畔に位する茶産地にして、平等院(源賴政自、源賴朝の自、源賴朝の自)、萬福寺(黄檗宗、本山)あり。巨椋池(大池とも、豐臣秀吉の開墾、周回四里餘)に程近し。西に男山の石清水八幡宮(官幣大社、應神、山崎、豐臣秀吉の破りし所)、天王山(豐民秀吉の古戰場)等あり。
- (7) 木津……山城の南部。木津川に沿ひ、諸鐵道の接續地なり。
- (8) 龜岡……保津川に沿ひ、園部と共に丹波東部の名邑にして、附近地方より生絲、寒天を産す。
- (9) 福知山……由良川に沿へる西丹波の商業地にして、將來鐵道の一中心たるべき所なり。

- (10) 宮津……宮津灣(與謝海)に臨める開港にして、天橋立の絶景に近し。
- (11) 舞鶴(一、四)……舞鶴灣に臨める軍港(餘部に第四海軍鎮守府あり)にして、新舞鶴(一、〇)と共に阪鶴線鐵道によりて、交通自在なり。
- (12) 釜山……丹後の北部。丹後縮緬の産地にして、東部標準時線(東經一三五度)は、その西方水産業地の久美濱との間を通ず。
- (六) 京都府下に於ける主要なる鐵道。
 東海道本線 京都線 阪鶴線 關西本線 奈良線 櫻宮線(以上蒸氣鐵道)
 京都電氣鐵道 京阪電氣鐵道

○奈良縣

- (一) 奈良縣の地勢。
- (二) 吉野山地。

北部大和川の流域は、奈良低原をなすも、南部には、鈴鹿山脈、紀伊山脈連亘し、吉野十二峯の峻嶺あり。これを吉野山地といひ、近畿地方中の最高地をなす。彌山(彌山、山上ヶ岳、大峯山高き共、六千餘尺)、吉野山(金峯、山上に葎あり)、殊に著はる。吉野川(下流は、十津川、北山に六千餘尺共)、源をこの分水嶺より發して、木材(杉、檜)運搬の要路を成す。西方、河内の堺に

伊勢平氏の住せし所にして、染形紙を産す。

(4) 松阪(一、五)……伊勢の南東部。絹木綿の産地にして、本居神社(本居宜長)あり。

(5) 宇治山田市(三、七)……伊勢の南東隅に位する神都にして、五十鈴川の畔の宇治に内宮(祭天神)あり。山田に外宮(祭神豊)あり。共にこれを伊勢の大廟といふ(便あり)。神宮司廳、神宮皇學館、豊宮崎文庫(足利金澤の文庫と共)、林崎文庫、徴古館等ありて、漆器、陶器を産す。宮川口に近き大湊は、我が國最古の造船業地にして、附近に二見ヶ浦、朝熊山の勝地あり。

(6) 鳥羽……志摩の北部。遠州熊野兩灘の間に在る良港にして、造船所あり。水産物の取引盛なり。

(7) 尾鷲(一、〇)……紀伊の北東海岸に在る港にして、木材、水産物の集散多し。

(8) 上野(一、六)……伊賀の名邑にして、伊賀焼(丸橋)傘の取引多し。その公園は、規模宏大なるを以て著はれ(東京上野公園の名、これより來たる)。南西、名張地方に赤目四十八瀧の名勝あり。

○和歌山縣

(一) 和歌山縣の地勢

紀伊山脈連りて、到る所山地横谷多し。高野山(空海の開きし眞言宗、本山金剛峯寺あり)、龍門山(紀州宮土)、大塔

峯、那智山(直下八十餘丈、殊に著はる。河流には、紀伊川(吉野川とも)、三流(紀)、有田川(二六里、河柑を産す)、日高川(四〇)、新宮川(熊野川とも、四一里)等あり。新宮川の上流域は、所謂熊野森林にして、高野山地方と共に、杉、檜、高野槇の良材を産出す。蓋し古來本國の木國と稱せられし所以なり。北山川には、瀨八町と稱する峽谷(横谷に)ありて、頗る絶景を呈す。

(二) 和歌山縣の海岸

黒潮の影響を蒙りて、氣候温暖、雨量に富める紀伊半島の海岸は、屈曲多し。殊に險海熊野灘の海岸を然りとし、熊野九十九浦の稱あり。本州島の最南端をなす潮岬(附近に信局あり)の近海は、波荒くして、舟行危険を以て稱せらる。紀伊水道、大阪灣との間の狭き所を紀淡(由良)海峡といひ、要塞(友ヶ島)海底電線の設あり。明光浦(和歌)、浦(和歌)は古來勝地を以て世に聞え、田邊は、縣下第一の良港なり。

(三) 和歌山縣の重要産物及び産地

- (1) 工産……紀州(和歌山)漆器(黒江、帝)、樽油(湯)。
- (2) 農産……紀州蜜柑(右田川の流域、全園第一、紀州侯徳)。
- (3) 林産……木材(杉、檜、高野槇等、高野地方)、薪炭(上)、漆汁(同上、帝)。
- (4) 鑛産……無煙炭(南東部、地方)。

(5) 水産……鯉、節、鱈、鯨(南東部)。

(四) 和歌山縣の都邑。

(1) 新宮(一、八)……新宮川の口に近き縣下第二の名邑にして、木材、薪炭、水産物の集散多く、熊野神社(國幣神社、神祖熊野大神等を祀る)の三社(本宮、新宮、那智山)に詣づるものこゝに來集す。

(2) 田邊……田邊灣に臨める良港にして、貨物の出入多く、紀伊汽船會社あり、附近に鉛山温泉(鹽類)あり。

(3) 湯淺(一、〇)……西海岸に在り、北淡と共に紀州蜜柑の大集散地にして、醬油の産あり。

(4) 黒江……有田川、紀川の間に在る黒江塗の産地なり。

(5) 和歌山市(七、七)……紀川の口附近に在り、徳川三家の一、紀州侯(徳川頼宣始封)の舊城地、近畿南部の大都會、和歌山線及び南海鐵道の接續地にして、また電車の便あり、綿フランネル(帝國第一)雲齋織紋羽織、燐寸を産し、木材の取引多し、北東に根來寺(新眞音宗)の古刹あり、附近には、名勝和歌浦、紀三井寺(名草山)、庵山神社(官幣神社、祭本山)あり。

○大阪府

(一) 大阪府の地勢。

(二) 大阪府の史蹟。

北東南の三面は、山地多けれども、大阪灣斜面を流る、淀川(下流安治、木津に分る)大和川の流域は、大阪低原を形成し、海岸地方もまた土地低平なり、最高峯金剛山(高き四)には、楠正成の千早城址あり、金胎寺山には、赤阪城址あり、飯盛山麓には、四條畷神社(別格官幣社、小楠公を祀る)ありて、櫻井と共に楠氏の忠烈を想はしむ、生駒山には、孔舎衛(日下)阪の古戰場あり、箕面山の公園は、紅葉を以て著はる。

(三) 大阪府の海岸。

大阪灣(海)は、瀬戸内地溝帯に連る大阪灣盆地に屬す、堺は、足利時代以來、同灣唯一の良港たりしが、神戸、大阪の兩大港開かれしに及びて、その勢振はざるに至れり、安治川口の天保山は、河村安治の事業によりて名高し。

(四) 大阪府の重要産物及び産地。

大阪市は、帝國の大商工業地にして、東京市と共に南北兩日本に冠たり、堺市これに次ぎ、大阪府の二大工業地と稱せらる。

(1) 工業……綿絲(帝國第一)、金、銅器(同上)、木綿織(主として大阪市、河内、木綿に次ぐ)、莫

○兵庫縣

(一) 兵庫縣の地勢

白山火山脈と並走せる中國山脈は、本縣を南部(海峽内)及び北部(日本海)の二部に分つ。南部には、加古川(三三)、市川(二〇)、揖保川、千種川等の河川ありて、播磨低原を成す。舊湊川(楠氏の)は、土砂堆積の爲めに、その一部高き公園地と成れり。北部は、朝來川(圓山川)流域の外、率ね山地なり。殊に播但の境上は、頗る險峻を極む。南東部には、武庫山(六甲山とも)、北麓に馬温泉あり。南西部には、摩耶山あり。共に赤松則村の城きし所なり。

(二) 兵庫縣の海岸

日本海面及び瀬戸内海面共に屈曲に乏し。南海面の遠淺の所は、製鹽(赤穂より)に適し、須磨(須磨寺、敦)、舞子、明石附近は、白沙青松にして、淡路島を望み、風景佳なり。加古川の口に近く、尾上、高砂、曾根の松石、寶殿等の名所あり。播磨廻りとして遊覽するもの多し。靴形の淡路島(周回三)は、大阪灣、明石海峡、播磨灘、鳴門海峡(深き所は約六百六十里、潮流の速きこと帝國第一)、紀伊水道、紀淡山良海峡を劃する瀬戸内海の最大島にして、中部に先山あり。

淡路島行きあふ瀬戸の沙さきに、安くも渡る友千鳥かな(藤原爲家)

(三) 兵庫縣の重要産物及び産地

- (1) 工産……燐(神戸市地方)、酒(灘五郷及び伊)、綿(神戸市、尼ヶ崎、西ノ宮)、精製樟腦(同上)、第一國船(同)、醬油(龍野、帝)、明石縮石(明)、姫路草(姫路)、柳行李(柳)、素麵(揖保川邊)、無(受知縣)、瓦(次大)、陶磁器(出石、淡路、燒)、生絲(丹波、但)、洋紙(神戸市、高砂)、帆布(明)
- (2) 鑛産……銀(帝國第三の銀山、生野産)、銅(野)
- (3) 農産……米(攝津、播磨、淡路)、蜜柑(淡路)
- (4) 畜産……牛(主として但馬の西部、村)
- (5) 水産……鹽(赤穂鹽は帝國の最良鹽)、鯛(明石、鳴門)、假蛸(明石)、鱈(但馬)、和布(鳴門)

(四) 兵庫縣の都邑

- (1) 西ノ宮(一、八)……縣の南東海岸に近き所に在り。御影(御影石、即ち花崗)等と共に灘地方と稱せられ、灘酒の本場とす。北東の伊丹は、伊丹酒、由多加織を産す。南東の尼ヶ崎(一、九)には、綿絲工場及び汽船會社あり。
- (2) 神戸市(三七、八)……攝津の南西部、大阪灣に臨める帝國第二の開港場(五港の一)。輸入港、横濱港を距、東海道、山陽兩本線鐵道の接續地にして、内海航路の大中心に當たり。和田岬には、燈臺の設あり。商業活潑にして、綿絲、銅、燐寸、麥稈及び經木真田

綿織、米(五百萬)等を輸出し、棉花、鐵類、機械類、油糟(五百萬)等を輸入す。市は、後に山を負ひ、南北に狭く、東西に長し。神戸(舊東部)及び兵庫(舊西部)の二部を分ちて、六區(西、林田、淡東)とし、綿絲、燐寸、洋紙の産多く、縣廳、税關、高等商業學校、小野濱及び川崎の造船所、樟腦精製所、淡川神社(別格官幣社、祭神楠正成)、生田神社(生田森古戰場に在る官幣社、祭神中社、祭神布引瀧に在り)、諏訪山公園、福原宮址、平清盛の塚、楠寺等あり。市の北西には、鶴越、南西海岸に近く一ノ谷あり、共に源平の古戰場とす。

(3) 明石(二五)……播磨の南東部。縣下第三の名邑にして、四近景勝に富む。人丸山には、歌聖柿本人麿を祀れる柿本神社(丸神社)あり。明石縮、帆木綿、鯛、飯蛸を産す。

(4) 姫路市(四一)……播磨の中央南海岸に近き所に在る縣下第二の都邑にして、市川に沿ひ、第十師團司令部(白鷺城址)あり。革細工、綿絲を産す。山陽本線及び播但線の兩鐵道こゝに交叉す。北西の書寫山には、圓教寺(天台)あり。後醍醐天皇の行幸ありし所なり。

(5) 龍野……揖保川の西岸に位する南日本第一の醬油産地にして、素麵の取引多し。南方の室津(古の室)は、徳川時代榮えし港なり。

(6) 赤穂……播磨の南西部、千種川の西に在り、帝國最良の鹽を産し、淺野長矩、大石良雄の名と共に聞ゆ。その北西、備前の境に兒島高徳の事蹟を以て著はるゝ、舟阪峠(山陽本線鐵道)あり。北方の白旗山は、赤松、佐用と共に赤松氏の事蹟につきて名高し。

(7) 生野……但馬の南部。播但線鐵道に沿ふ。帝國第三の銀山ある所にして、また銅、鉛を産出す。

(8) 豊岡……但馬の北東部。朝來川(山川とも)の畔に在り。柳行李の産地を以て世に知らる。北方に玄武洞(火成岩の玄武岩より成る洞窟にして、柱狀節理は地、城崎温泉(泉類)あり。南東の出石は、出石焼を産し、西方の村岡は、但馬牛産地の中心なり。

(9) 洲本……淡路島の東海岸。本島第一の都邑にして、神戸、大阪と汽船の便あり。淡路焼(淡路紙、綿絲)の取引多し。

(10) 由良……淡路島の南東海岸に在りて、福良と共に要塞の設あり。福良は、鳴門、鳴門和布、鳴門蜜柑の取引地にして、附近の地より淡路焼を産す。南東の賀集には、淳仁天皇の陵あり。洲本の北西都志は、貿易家高田屋嘉兵衛の出でし所。多賀の伊弉諾神社(官幣大社、伊弉)は、太古の史上に名高き所なり。

第五章 中國地方

(甲) 總論

(一) 中國地方の地勢。

(二) 中國地方の河川湖沼。

中國地方(古昔畿内及び近畿を上國といひ、關前以西長門)は、近畿地方の西部に位する地域にして、白山火山脈(大山、三瓶山等)と併走する中國山脈(蛭山、三國山等)中央部を貫通して、域内を山陰(古の田庭或は丹波地)及び山陽(古の中國の大部にして、瀬戸内海斜面)の二部に分つ。されば中國地方の河流は、南或は北に向ひて流るゝもの多し。瀬戸内海面には、吉井川(大川)四、旭川(西三、大)高梁川(二八)、蘆田川(三三)、太田川(三〇)、岩國川(三三)等あり。日本海面には、日野川(二八)、斐伊川(二七)川、江川(五〇)、阿武川等あり。殊に江川(流域二七一方里、瀧を以て、この地方の巨浸とす。これ等河川の流域は、低原を成すも、吉備低原を最とし、斐伊川低原(神門低原)これに次ぐ。

湖沼の大なるものには、海跡湖の中海湖(周囲十六里)、宍道湖(周囲十二里)、湖山池(周囲四里)、東郷池(周囲半)あり。

(三) 中國地方の海岸。

(四) 瀬戸内海。

北部日本海面には、島根半島(長さ約十一里、地蔵、夜見、濱(弓ヶ濱、天橋)の)の大沙嘴の外、屈曲に乏しく、島嶼もまた少けれども、隠岐島最大なり。瀬戸内海面には、屈曲出入夥しく、兒島半島、兒島灣、水島灘、備後灘、瀬戸(音戸)海峽、廣島灣(安藝多)、大島瀬戸、室津半島(室積)、周防灘、長豊海峽(下關海峽とも、狭き所)等あり。倉橋島、江田島、大島(屋代島)の三大島の外、島嶼の數極めて多し。

要するに日本海面は、單純にして趣味少く、冬季風浪荒きも、船舶を停泊すべき良港に乏し。瀬戸内海面は、複雑にして、風光明媚の地多し。日本海面に於ける良港を境、濱田(共に)とし、瀬戸内海面には、絲崎、下關(共に)、吳(港)、宇品(日清日露の兩役、軍隊等)等あり。

(五) 中國地方の交通。

(甲) 陸路。

(1) 普通道路。

主要なる道路は、海岸に在り。瀬戸内海面の山陽道、日本海面の山陰街道は、その重なるものとす。

